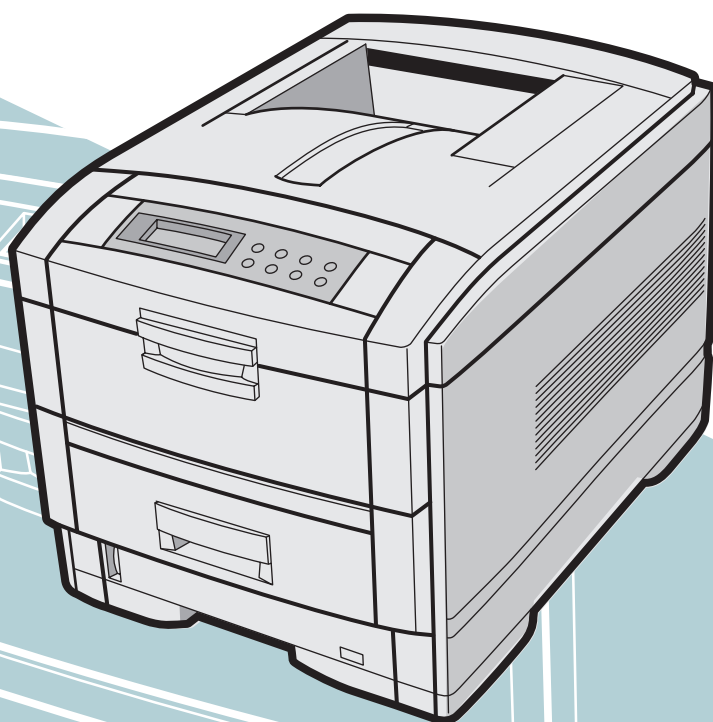
OKI

オキカラーページプリンタ

MICROLINE 7300

ユーザーズマニュアル（リファレンス編）

◯このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
◯本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル（本書）をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。 高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。

⚠警告

	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 7300 → ML7300
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0 の総称→ Windows

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　刑法　第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法　第1条、第2条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

MICROLINEは株式会社沖データの商標です。
Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
平成明朝体、平成角ゴシック体は、(財)日本規格協会　文字フォント開発·普及センターと使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
その他各社名、製品名は各社の登録商標または商品名です。

本書について

1.本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2.本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4.本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

以下に記載されているものは､お客様がプリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読み下さい。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ（以下「沖データ」といいます）は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア（ただし、Adobe Acrobat Reader は除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます）を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1. 使用範囲
お客様は､本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り､当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを一部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権､版権､所有権は沖データまたは沖データのサプライヤーにあります。本ソフトウェアの構成､編成､コードは沖データの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており､書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2) 第 1 条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3) お客様は本ソフトウェアを､修正､改変､翻訳､リバースエンジニアリング､逆コンパイル､逆アセンブルしないことに同意します。
(4) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には､沖データは､お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には､お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し､本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1) 沖データは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても､また､それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ､その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ､お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 契約の有効性
本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には､本契約の他の部分の有効性には影響を与えず､他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

7. 輸出管理
本ソフトウェアは、日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。お客様は、適切な日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

8. 完全な合意
お客様は､本契約を読んでこれを理解したこと､および本契約がお客様に対する本件ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭､書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は､本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

なお､本ソフトウェアには､個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが､個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※ Adobe Acrobat Reader の使用について
Acrobat Reader は沖データがアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Acrobat Readerに含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより､アドビシステム社からAcrobat Readerの使用を許諾されることになります。

目　次

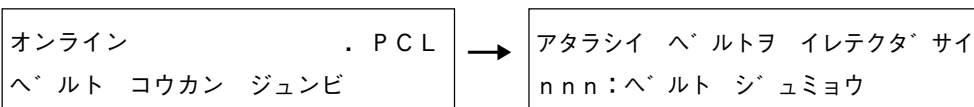
1 メンテナンスをします

メモ 以下の項目は、「ユーザーズマニュアル（セットアップ編）」の「3　メンテナンスをします」をご覧ください。

・トナーカートリッジを交換します
・イメージドラムカートリッジを交換します

ベルトユニットを交換します

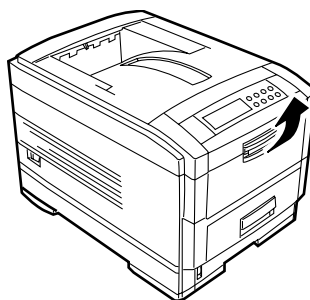
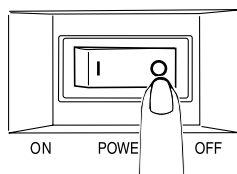
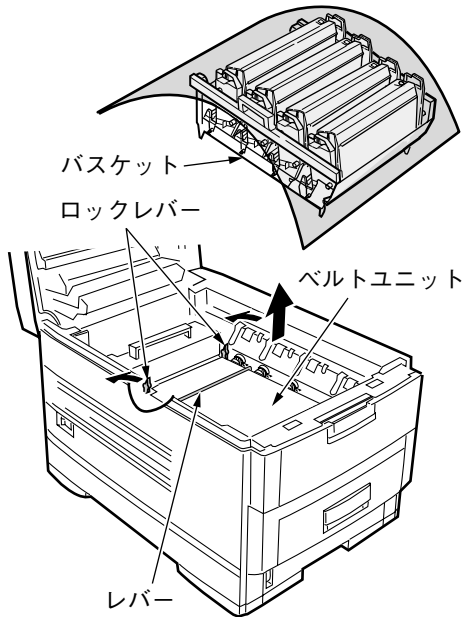
ベルトユニット交換の目安

ベルトユニットの交換時期になると、操作パネルに［ベルト　コウカン　ジュンビ］のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると［アタラシイ　ベルトヲ　イレテクダサイ］のメッセージを表示して印刷を停止します。
ベルトユニット交換の目安は、A4サイズの用紙（片面印刷時）で約60,000枚です。ただし、これは一般的な使用状況で印刷した場合（一度に3枚ずつ）の枚数です。1枚ずつ印刷する場合には、約半分でベルトユニットの寿命になります。

ベルトユニットを交換します

1　プリンタの電源をOFFにし、トップカバーを開けます。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのベルトユニットを取り出します。

❶ イメージドラムカートリッジ（4個）をバスケットごと取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

❷ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

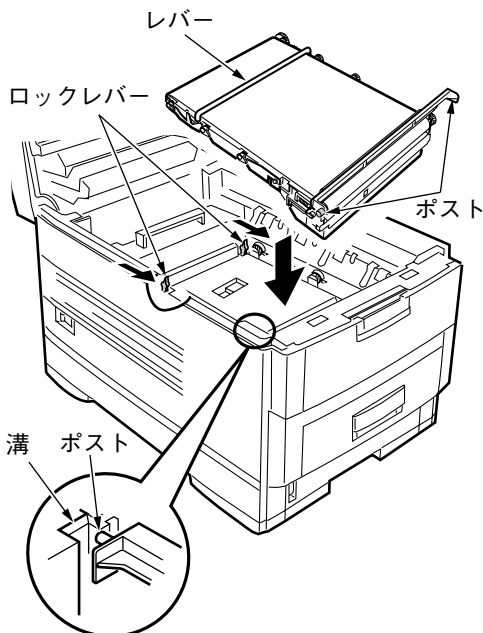
❸ 左右のロックレバー（青色）を矢印の方向に倒し、レバー（青色）を持ち、ベルトユニットを取り外します。

- 使用済みベルトユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（セットアップ編）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

注

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

⚠警告	使用済みベルトユニットは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

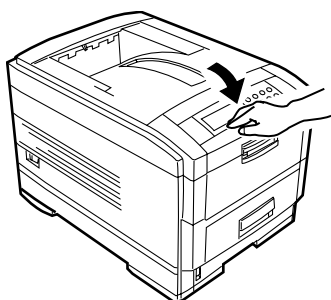
3 新しいベルトユニットをセットします。

❶ 新しいベルトユニットを包装袋から取り出します。

❷ ベルトユニットのレバー（青色）を持ち、ポストをプリンタの溝に合わせ、ベルトユニットをセットします。

❸ 左右のロックレバー（青色）が矢印の方向に倒れ、ベルトユニットが確実に固定されたことを確認します。

❹ イメージドラムカートリッジ（4個）をバスケットごと静かにプリンタに戻します。

1
章

4 トップカバーを閉じます。

定着器ユニットを交換します

定着器ユニット交換の目安

定着器ユニットの交換時期になると、操作パネルに［テイチャクキ　コウカン　ジュンビ］のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると［テイチャクキヲ　コウカンシテクダサイ］のメッセージが表示されますので、新しい定着器ユニットに交換します。
定着器ユニット交換の目安は、A4 サイズの用紙（片面印刷時）で約 60,000 枚です。

定着器ユニットを交換します

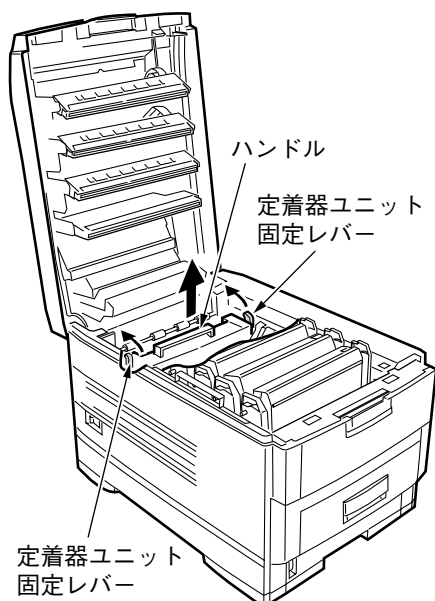
1 プリンタの電源を OFF にし、トップカバーを開けます。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

⚠注意　やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

1章

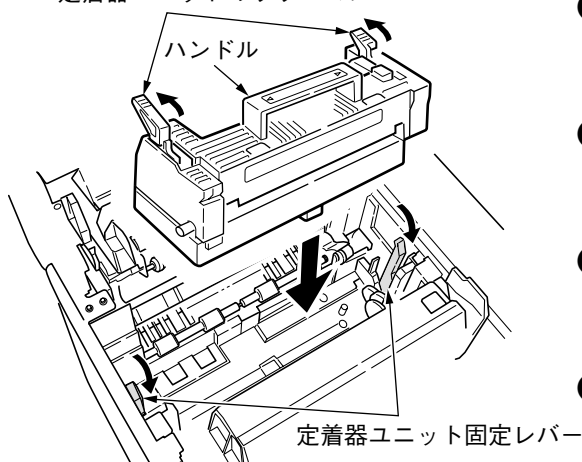
2 使用済みの定着器ユニットを取り出します。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないよう十分注意をしてください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。

❶ 定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を矢印の方向へ倒します。

❷ 定着器ユニットのハンドルを持ち、取り出します。

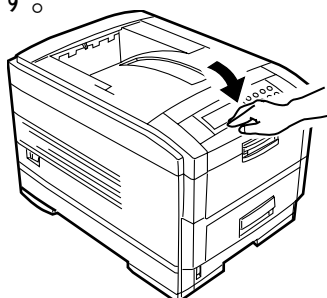
メモ
- 使用済みの定着器ユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（セットアップ編）をご覧ください。
- 使用済みの定着器ユニットは不燃物として処理してください。

3 新しい定着器ユニットをセットします。

❶ 新しい定着器ユニットを包装袋から取り出し、リリースレバーを固定しているテープをはがします。

❷ 定着器ユニットのハンドルを持ち、定着器ユニットをプリンタの中へ静かに入れます。

❸ 定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）で固定されるまで、しっかりと押し込みます。

❹ 定着器ユニットのリリースレバー（青色2ヶ所）が矢印方向へ倒れていることを確認します。

4 トップカバーを閉じます。

注 プリンタの電源をONにしたとき、操作パネルに［サービスコール／173：エラー］または［サービスコール／177：エラー］が表示された場合は、定着器ユニットを取り付け直してください。

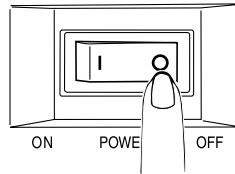
給紙部品を交換します

給紙部品交換の目安は、A4 サイズの用紙で約 120,000 枚（使用状況により異なります）です。
給紙不良が頻繁に起こるような場合、交換してください。

用紙カセットの分離片を交換します

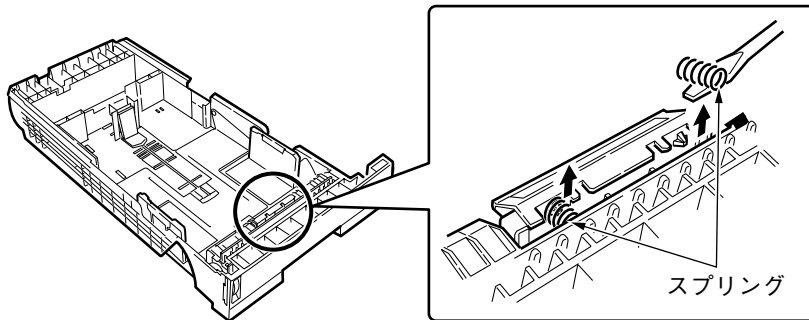
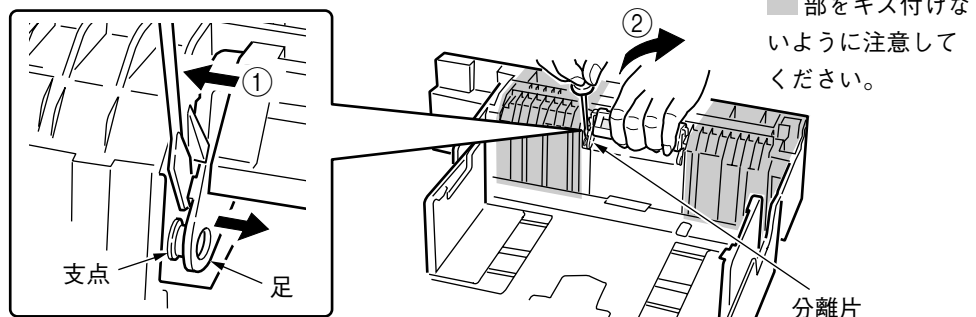
オプショントレイの用紙カセットの分離片も下記手順で交換します。

古い分離片を取り外します

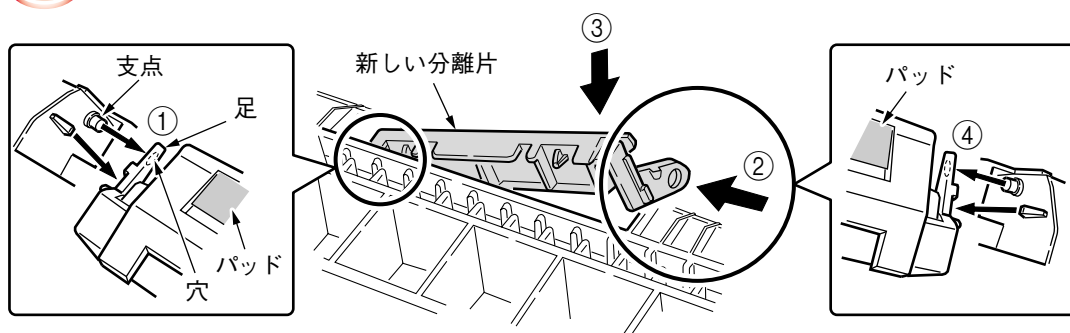
1 プリンタの電源を切ります。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

2 プリンタから用紙カセットを引き抜き、用紙を取り出します。

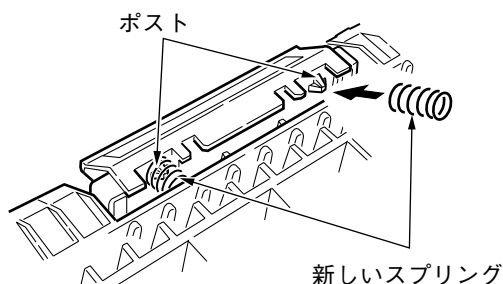
3 指で軽く押さえながら、マイナスドライバ等で下からすくうようにして、スプリングを外します。（2 か所）

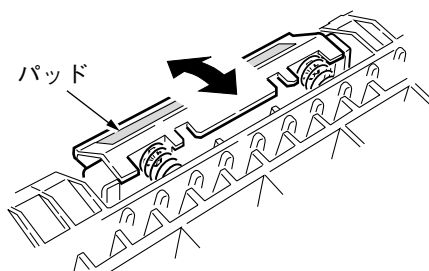
注　スプリングがとばないよう、注意してください。

4 分離片を図のように持ち、マイナスドライバ等で片方の足が支点より外れるまでたわませ（①）、分離片を矢印 ② の方向に持ち上げるようにして外します。

新しい分離片を取り付けます

5 新しい分離片の片方の足の穴を支点に入れ、もう一方の足をたわませながら足の穴に支点が入るように真上から押しこみます。

注 パッド部分にさわらないよう注意してください。

6 両方の足の穴に、支点が入っていることを確認します。

7 新しいスプリングを分離片のポストに差し込んで取り付けます。(2か所)

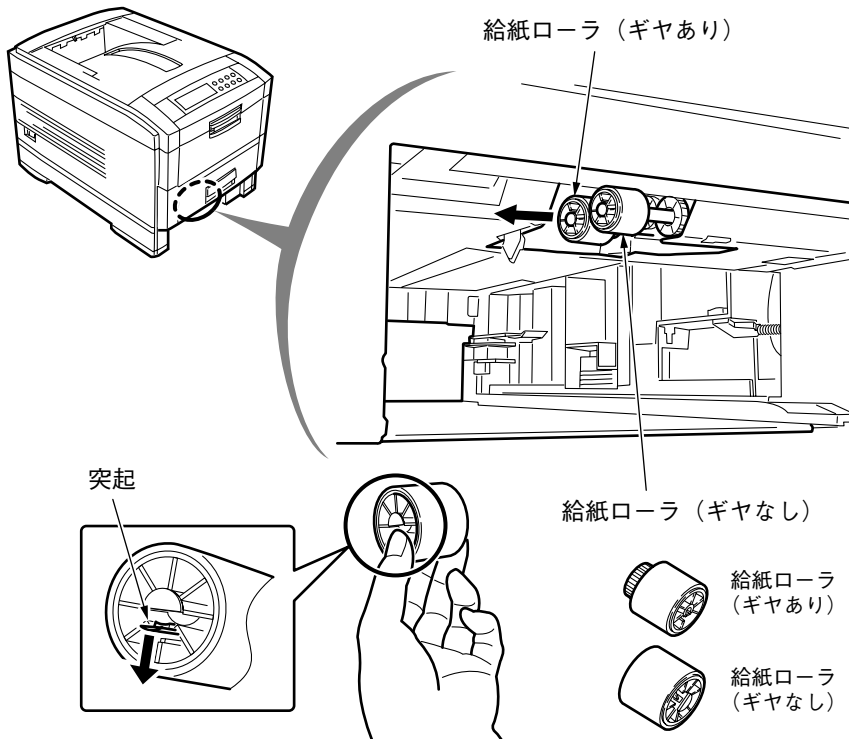
注
- スプリングがとばないよう、注意してください。
- 先に取り外したスプリングも使用可能です。

8 支点を中心に分離片がなめらかに動くことを確認します。

- 動かすときにパッド部分をさわらないよう、注意してください。
- もしパッド部分にさわってしまった場合、水でしめらせたやわらかい布等で拭いてください。

給紙ローラを交換します

オプショントレイの給紙ローラも下記手順で交換します

9 作業を始める前に、腕時計やブレスレット等を外します。

10 古い給紙ローラ（ギヤなし）, 給紙ローラ（ギヤあり）を外します。

下図ローラの突起を矢印方向に倒すとロックが外れますので､突起を倒したままローラを横（左方向）に引き抜きます。

11 新しい給紙ローラ（ギヤあり）を奥側, 給紙ローラ（ギヤなし）を手前側に取り付けます。

❶ 給紙ローラ（ギヤあり）を奥側の軸にカチッと音がするまで差し込みます。（奥まで入らない場合は、ローラを少し回して押し込んでください）

❷ ロックが掛かっているか確認してください。（突起をさわらずにローラを左右に軽く動かしてください）

❸ ❶と同様に給紙ローラ（ギヤなし）を手前側の軸にカチッと音がするまで差し込みます。

❹ ❷と同様にロックが掛かっているか確認してください。

注
- ローラ表面のゴムをさわらないでください。
- 汚れが付着したときは、水でしめらせたやわらかい布等で拭き取ってください。

12 分離片交換の完了した用紙カセットに用紙を入れ､プリンタに取り付けます。

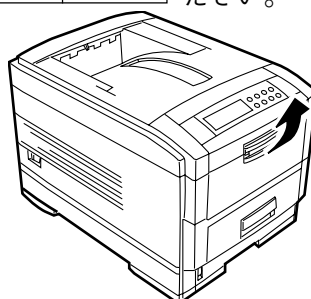
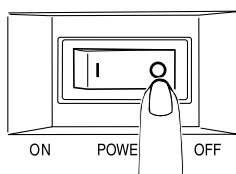
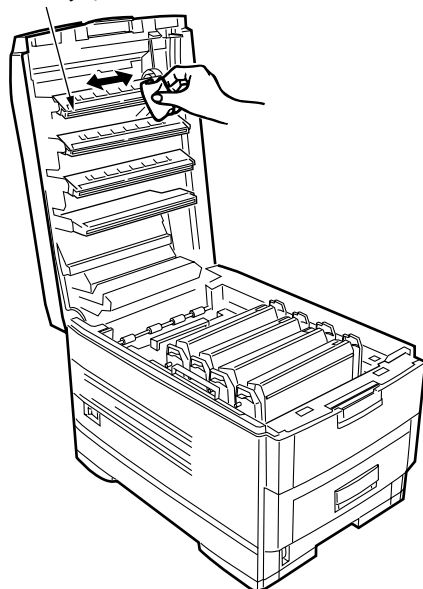
LED ヘッドを清掃します

印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりする場合に行ってください。

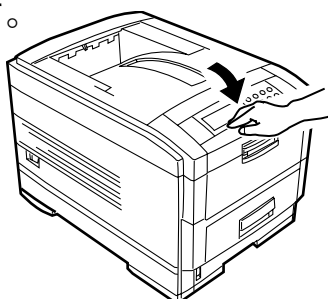
1 プリンタの電源を OFF にし、トップカバーを開きます。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

⚠注意　やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパでLEDヘッド（4ヶ所）全体を軽く拭きます。

注　メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

メモ　LED レンズクリーナは、別売の交換用トナーカートリッジにも添付されています。

3 トップカバーを閉じます。

色ずれ補正調整をします

プリンタは電源をONにしたときやトップカバーを開閉したとき、また連続して印刷しているとき定期的に自動で色ずれ補正調整を行いますが、色ずれが気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

❶ 0 を数回押し、[カラー　メニュー] を表示します。

❷ 1 または 5 を数回押し、[ジドウ　イロズレ　ホセイ／ジッコウ] を表示します。

❸ 3 を押します。

[オンライン／カラー　チョウセイチュウ] と表示して、色ずれ補正調整動作が開始されます。調整が終了すると、自動的に [オンライン] を表示します。

メモ　操作パネルで色ずれ補正調整をしても、色ずれが改善されない場合は、下記手順でレジストセンサーの清掃を行ってください。

❶ プリンタの電源を OFF にします。

電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

❷ イメージドラムカートリッジ（4個）をバスケットごと取り外し、平らなテーブルの上に置きます。

❸ 取り外したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

注
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

❹ 左右のロックレバー（青色）を矢印の方向に倒し、レバー（青色）を持ち、ベルトユニットを取り外します。

❺ センサーシャッターを矢印方向に引いて開けます。

❻ 柔らかいティッシュペーパーで、左右（2ヶ所）のレジストセンサー表面の汚れを拭き取ります。

❼ ベルトユニットとイメージドラムカートリッジ（4個）をプリンタに戻します。

濃度補正調整をします

プリンタは電源をONにしたときや新しいイメージドラムカートリッジ、新しいトナーカートリッジを取り付けたとき、また連続して印刷しているとき定期的に自動で濃度補正調整を行いますが、印刷濃度が気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

❶ (0)を数回押し、[カラー　メニュー] を表示します。

❷ (1)または(5)を数回押し、[ノウド　ホセイ／ジッコウ] を表示します。

❸ (3)を押します。

[オンライン／ノウド　ホセイチュウ]と表示して、濃度補正調整動作が開始されます。調整が終了すると、自動的に [オンライン] を表示します。

メモ　操作パネルで濃度補正調整をしても、濃度が改善されない場合は、下記手順で濃度センサーの清掃を行ってください。

❶ プリンタの電源を OFF にします。

電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

❷ イメージドラムカートリッジ（4個）をバスケットごと取り外し、平らなテーブルの上に置きます。

❸ 取り外したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

注
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

❹ 左右のロックレバー（青色）を矢印の方向に倒し、レバー（青色）を持ち、ベルトユニットを取り外します。

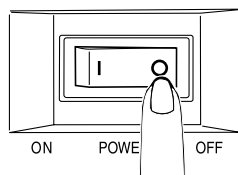
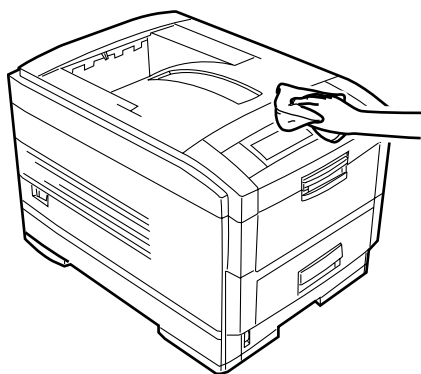
❺ センサーシャッターを矢印方向に引いて開けます。

❻ 柔らかいティッシュペーパーで、中央の濃度センサー表面の汚れを拭き取ります。

❼ ベルトユニットとイメージドラムカートリッジ（4 個）をプリンタに戻します。

プリンタ表面を清掃します

1 プリンタの電源をOFFにします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

2 プリンタの表面を拭きます。

❶ 水または中性洗剤を含ませて、かたく絞った布で拭きます。

❷ 柔らかい乾いた布で拭きます。

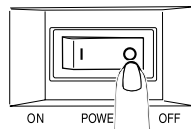
・ 水または中性洗剤以外は使用しないでください。
・ 本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。

1章

プリンタを輸送するとき

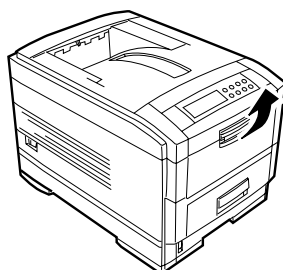
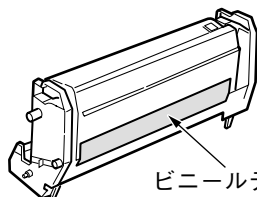
プリンタは精密機器ですので、梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。次の手順で輸送してください。

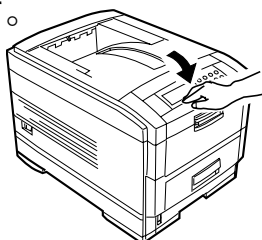
1 プリンタの電源を OFF にし、次の部品を取り外します。

- 電源コード、アース線
- プリンタケーブル
- 用紙カセットに入っている用紙

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

2 トップカバーを開け、イメージドラムカートリッジ（4 個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの接合部分をビニールテープで止めて、プリンタに戻します。

プリンタにイメージドラムカートリッジを同梱して輸送します。トナーがこぼれないようにビニールテープで密封してください。

4 トップカバーを閉じます。

5 緩衝材でプリンタを保護し、梱包箱に入れます。

注　プリンタ購入時に付いていた梱包箱と緩衝材を使用してください。

メモ　プリンタを輸送後、再度設置するときには、イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジを止めたテープをはがしてください。

2 その他のソフトウェア

ストレージデバイスマネージャ

プリンタのハードディスクの設定、フォームデータの登録や削除、スプールジョブの管理をするユーティリティです。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版の動作するコンピュータ
InternetExplorer4.0 以上がインストールされていること

インストール

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROM のアイコンを開きます。

〈WindowsXP の場合〉
[スタート] - [マイコンピュータ] - [リムーバブル記憶域があるデバイス] の [ML_COLOR] アイコンをダブルクリックして開きます。

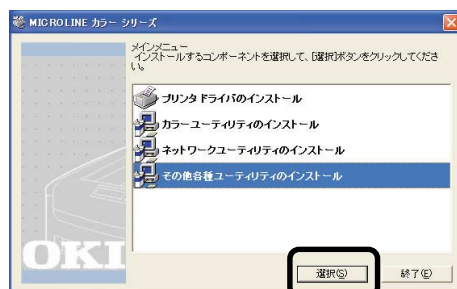
〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0 の場合〉
[マイコンピュータ] を開き、[ML_COLOR] アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ [SETUP] アイコンをダブルクリックします。

setup.exe

セットアッププログラムが起動します。

❹ 「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

❺ [その他各種ユーティリティのインストール] を選択し、[選択] をクリックします。

❻ [ストレージデバイスマネージャ] を選択し、[インストール] をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってセットアップします。

❽ 「MICROLINE カラーシリーズ」画面で [終了] をクリックします。

起動方法

❶ [スタート] - [プログラム] (WindowsXP では [すべてのプログラム]) - [沖データ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] を選択します。

詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

色見本印刷ユーティリティ

プリンタでRGB色の見本を印刷するためのユーティリティです。印刷された色見本を見て、希望する色をアプリケーションでどのようなRGB色の指定をすれば良いか確認することができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/2000/NT4.0 日本語版の動作するコンピュータ

インストール

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート] - [マイコンピュータ] - [リムーバブル記憶域があるデバイス] の [ML_COLOR] アイコンをダブルクリックして開きます。

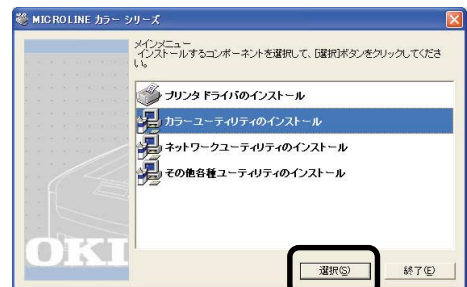
〈WindowsMe/98/2000/NT4.0の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[ML_COLOR] アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ [SETUP] アイコンをダブルクリックします。

setup.exe

セットアッププログラムが起動します。

❹「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

❺ [カラーユーティリティのインストール] を選択し、[選択] をクリックします。

❻ [色見本印刷ユーティリティ] を選択し、[インストール] をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってセットアップします。

❽「MICROLINE カラーシリーズ」画面で [終了] をクリックします。

起動方法

❶ [スタート] - [プログラム]（WindowsXPでは [すべてのプログラム]） - [沖データ] - [色見本印刷ユーティリティ] - [色見本印刷ユーティリティ] を選択します。

詳しくは「色見本印刷して希望色のRGB値を決めたい」（88ページ）をご覧ください。

カラー調整ユーティリティ

プリンタのカラーマッチングを調整するためのユーティリティです。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版の動作するコンピュータ

インストール

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROM のアイコンを開きます。

〈WindowsXP の場合〉
［スタート］-［マイコンピュータ］-［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

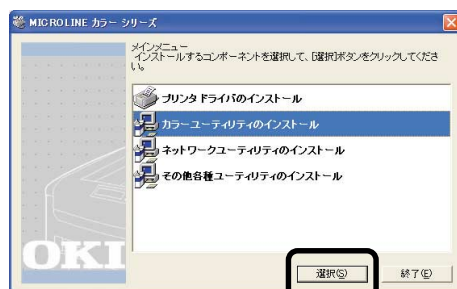
〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0 の場合〉
［マイコンピュータ］を開き、［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

❸［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup.exe

セットアッププログラムが起動します。

❹「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❺［カラーユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❻［カラー調整ユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってセットアップします。

❽「MICROLINE カラーシリーズ」画面で［終了］をクリックします。

起動方法

❶［スタート］-［プログラム］（WindowsXP では［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

詳しくはオンラインヘルプ、または「パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい」（79 ページ）、「ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい」（82 ページ）をご覧ください。

3 知っていると便利です

3
章

～いろいろな用紙に印刷するための設定について～

手動で用紙の厚さを設定したい

プリンタの操作パネルでメディアウェイト、メディアタイプを設定します。
メディアウェイトは用紙の厚さ、メディアタイプは用紙の種類に関する設定です。

- メディアウェイトは普通紙（一般に紙といわれるもの）やラベル紙において、その厚さの違いで切り替える設定です。
- メディアタイプはOHPやラベル紙のように、厚さだけでは管理できない印刷媒体と普通紙を切り分けるための設定です。フィルム系の媒体や二重に重ねられている媒体は、その特性から厚さだけでは最適な条件設定ができないため分けられています。（設定は各モードの推奨紙に合わせていますので、できるだけ推奨紙を使用してください。）
- 普通紙のメディアウェイトは出荷時に［ジドウ］に設定されています。プリンタは普通紙の厚さを測定して印刷条件を自動設定し印刷を行います。（紙厚自動設定）
- 通常使用される普通紙のほとんどは、厚さを検出することで定着温度等の印刷条件設定が可能です。しかし、普通紙も種類によってはその表面粗さ、構成成分の影響によって厚さだけでは最適条件に設定されない場合があります。このような場合はメディアウェイトを手動設定し、より良い状態で印刷できる設定に切り替えて使用してください。
- 紙厚自動設定の場合、使用する用紙の厚さにより印刷速度を自動的に切り替える場合があり、ファースト印刷時間が長くなることがあります。印刷速度を切り替えないで使用したい場合には、使用する用紙厚に合わせてメディアウェイトを手動設定してください。選択された用紙厚で印刷可能か事前にテストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。
- 紙厚自動設定は、電源投入またはトレイに用紙をセットした直後の給紙時に実行します。極端に厚さの異なる用紙を同一トレイに混在してセットした場合、混在する用紙に対し最適な定着温度が設定されません。同一トレイ内に極端に厚さの違う用紙が混在していたり、用紙搬送時に重送すると、アラームで停止します。
- メディアウェイト、メディアタイプを適切な値に設定しないと印刷品質が低下したり、定着器ユニットを傷めるおそれがあります。
- 用紙の種類と厚さにより、設定が必要な項目や設定値が異なります。

3
章

1 用紙の種類と厚さから、メディアウェイト、メディアタイプの設定値を確認します。

種　類	厚　さ	メディアウェイト（用紙の厚さ）	メディアタイプ（用紙の種類）*1	プリンタドライバの［給紙方法］の設定*2
普通紙*3*8	55〜172kg (64〜200g/m^2)	ジドウ*9	フツウシ	普通紙
	55kg (64g/m^2)	ウスイカミ*4		
	55〜64kg (64〜74g/m^2)	フツウシ		
	65〜77kg (75〜90g/m^2)	ヤヤアツイカミ		
	78〜89kg (91〜104g/m^2)	アツイカミ		
	90〜103kg (105〜120g/m^2)	ヨリアツイカミ		
	104〜172kg (121〜200g/m^2)	ゴクアツイカミ		
光沢紙*5	—	—	コウタクシ	光沢紙
はがき*6	—	—	—	—
封筒*6	—	—	—	—
ラベル紙	0.13〜0.17mm未満	ヤヤアツイカミ	ラベルシ	ラベル紙
	0.17〜0.2mm	ゴクアツイカミ		
OHPシート*7	—	—	OHP	OHPシート

*1：メディアタイプの工場出荷時の設定は［フツウシ］です。
*2：プリンタドライバの［給紙方法］ではトレイとメディアタイプを設定することができます。プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
*3：両面印刷できる用紙の厚さは連量 70 〜 90kg（81 〜 105g/m^2）です。
*4：普通紙でシワがでるときに設定します。
*5：光沢紙はメディアタイプのみ設定します。メディアウェイトの設定は必要ありません。メディアタイプの［コウタクシ］は、光沢紙など表面に光沢のある印刷媒体に適したモードです。光沢紙には、白地に薄くトナーが付着しやすいため、印刷品質など、事前にテストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。
*6：はがき、封筒はメディアウェイト、メディアタイプの設定の必要はありません。
*7：OHP シートはメディアタイプのみ設定します。メディアウェイトの設定は必要ありません。
*8：用紙カセットから給紙できる用紙の厚さは連量 55 〜 151kg（64 〜 176g/m^2）です。
*9：普通紙の厚さを自動測定して印刷を行います。普通紙以外では自動測定は行いません。メディアタイプとメディアウェイトを設定してください。

- メディアウェイトの［ゴクアツイカミ］、メディアタイプの［コウタクシ］、［ラベルシ］、［OHP］を設定すると、印刷速度が遅くなります。
- 出荷時の設定ではOHP自動検出機能が有効となっています。給紙時にOHPシートを検出し、自動的に印刷条件設定を切り替えて印刷を行うため、メディアタイプの設定は必要ありません。推奨紙以外のOHPシートを使用した場合、自動検出ができない場合があります。このような場合は、メディアタイプで［OHP］を設定してください。
- 部分印刷用紙などで誤ってOHPと判定され印刷速度が低下してしまう場合は、［インサツ　メニュー］の［OHP　ケンシュツ］を［ムコウ］に設定してください。
- トレイの抜き差しを行うと、紙厚自動設定が実行されます。この場合、直後の給紙時に若干の待ち時間が発生します。
- ［レターヘッド］、［ボンドシ］、［サイセイシ］、［アツガミ］、［アライカミ］の各メディアタイプは名称として設定できますが、印刷時の設定効果は［フツウシ］と同じです。

2 操作パネルでメディアウェイトを設定します。

注

- メディアウェイトは、給紙するトレイごとに設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。

ここでは、トレイ 1 で普通紙（70kg）に印刷するときの設定手順（[トレイ 1　メディアウェイト] を［ヤヤアツイカミ］に設定します）を説明します。

❶ 0 を数回押し、[メディア　メニュー] を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、[トレイ 1　メディアウェイト] を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、[ヤヤアツイカミ] を表示します。

❹ 3 を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4 を押し、[オンライン] にします。

3 操作パネルでメディアタイプを設定します。

- メディアタイプの工場出荷時の設定は［フツウシ］です。普通紙に印刷する場合はそのまま使用してください。
- メディアタイプは、給紙するトレイごとに設定してください。
- 光沢紙、ラベル紙は必ず設定してください。
- OHP シートは自動検出できない場合に設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。
- メディアタイプは［フツウシ]、[コウタクシ]、[ラベルシ]、[OHP］以外は設定しないでください。

ここでは、マルチパーパストレイで OHP シートに印刷するときの設定手順（[MP トレイ　メディアタイプ］を［OHP］に設定します）を説明します。

❶ 0 を数回押し、[メディア　メニュー] を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、[MP トレイ　メディアタイプ] を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、[OHP] を表示します。

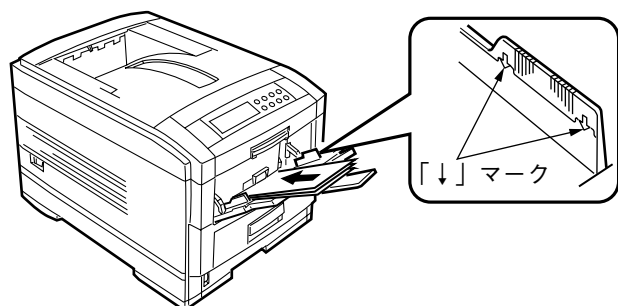
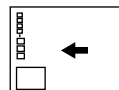
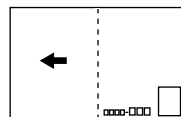
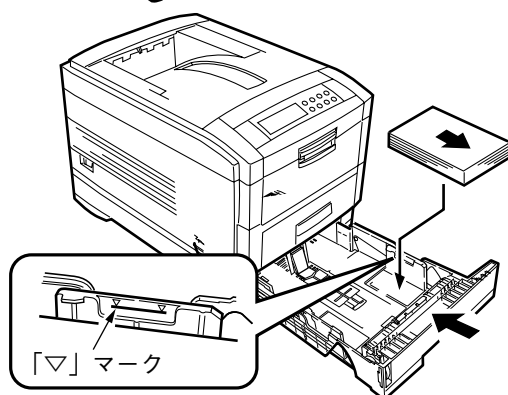
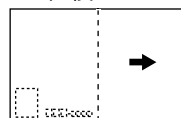
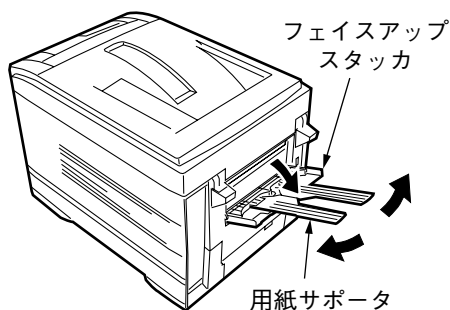
❹ 3 を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4 を押し、[オンライン] にします。

はがき、往復はがきに印刷したい

1 用紙をセットします。

はがき、往復はがきはマルチパーパストレイ、トレイ 1 から印刷することができます。
用紙のセット方法は「3　印刷します」（セットアップ編）をご覧ください。

メモ　マルチパーパストレイから手差しで 1 枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「手差しで 1 枚ずつ印刷します」（セットアップ編）をご覧ください。

2 フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルでプリンタ側の用紙サイズの設定を確認します。

メモ Webブラウザからも設定できます。詳しくは「コンピュータからプリンタの設定を変更したい」（105ページ）をご覧ください。

〈マルチパーパストレイの場合〉

❶ 0 を数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を数回押し、［MPトレイ　ヨウシサイズ］を表示します。

❸ 2 または 6 を数回押し、［ハガキ］または［オウフクハガキ］を表示します。

❹ 3 を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

〈トレイ1の場合〉

❶ 0 を数回押し、［システム　ホセイ　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、［トレイ1　A5／A6　ヨウシ］を表示します。

❸ ［ハガキ］と表示されていることを確認します。

❹ 4 を押し、［オンライン］にします。

4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

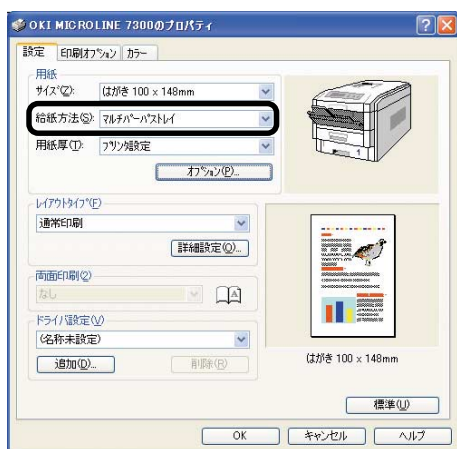
3章

5　プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］または［往復はがき］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

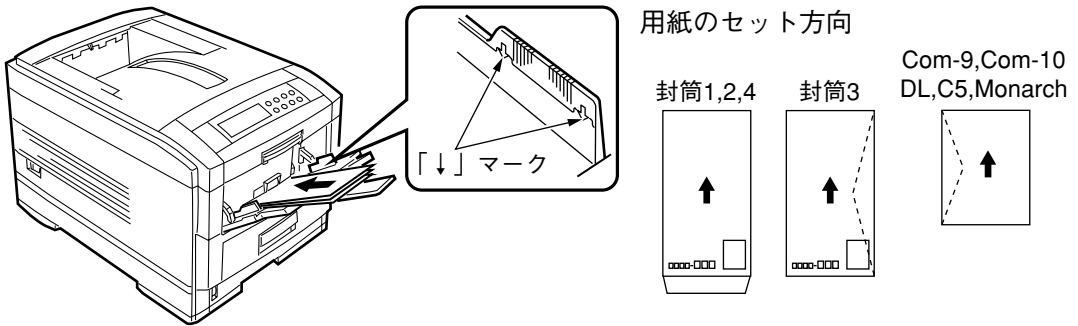
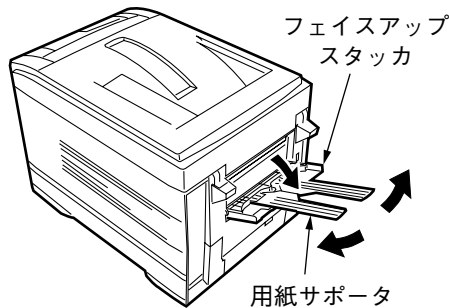
❹［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］または［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❻「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

封筒に印刷したい

1　用紙をセットします。

封筒はマルチパーパストレイから印刷することができます。
用紙のセット方法は「3　印刷します」（セットアップ編）をご覧ください。

メモ　マルチパーパストレイから手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「手差しで1枚ずつ印刷します」（セットアップ編）をご覧ください。

2　フェイスアップスタッカを開きます。

3　操作パネルでプリンタ側の用紙サイズの設定を確認します。

メモ　Webブラウザからも設定できます。詳しくは「コンピュータからプリンタの設定を変更したい」（105ページ）をご覧ください。

❶ 0 を数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を数回押し、［MP トレイ　ヨウシサイズ］を表示します。

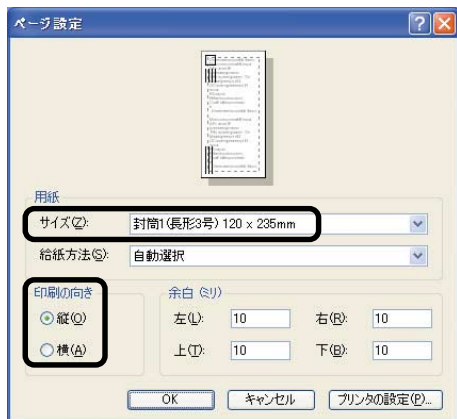
❸ 2 または 6 を数回押し、［フウトウ1　タテオクリ］（フウトウ1〜フウトウ4）を表示します。

❹ 3 を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［封筒1］～［封筒4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

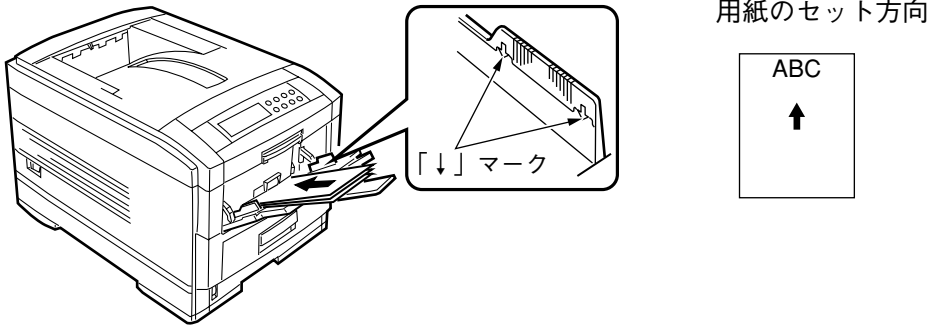
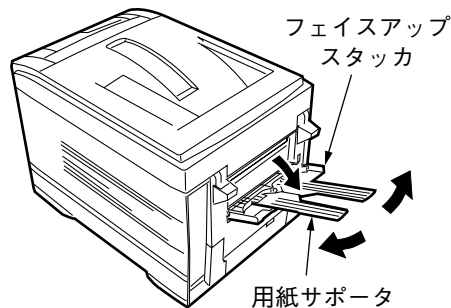
❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❻ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

ラベル紙に印刷したい

1 用紙をセットします。

ラベル紙はマルチパーパストレイから印刷することができます。
用紙のセット方法は「3　印刷します」（セットアップ編）をご覧ください。

メモ　マルチパーパストレイから手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「手差しで1枚ずつ印刷します」（セットアップ編）をご覧ください。

2 フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルでメディアウェイトを設定します。

注　メディアウェイトは、給紙するトレイごとに設定してください。

メモ　Webブラウザからも設定できます。詳しくは「コンピュータからプリンタの設定を変更したい」（105ページ）をご覧ください。

ここでは、MPトレイで0.1～0.17mm未満の厚さのラベル紙に印刷するときの設定手順（[MPトレイ　メディアウェイト]を[ヤヤアツイカミ]に設定します）を説明します。

❶ (0)を数回押し、[メディア　メニュー]を表示します。

❷ (1)または(5)を押し、[MPトレイ　メディアウェイト]を表示します。

❸ (2)または(6)を押し、[ヤヤアツイカミ]を表示します。

❹ (3)を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ (4)を押し、[オンライン]にします。

4 操作パネルでプリンタ側の用紙サイズの設定を確認します。

メモ Webブラウザからも設定できます。詳しくは「コンピュータからプリンタの設定を変更したい」（105ページ）をご覧ください。

❶ 0 を数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を数回押し、［MP トレイ　ヨウシサイズ］を表示します。

❸ 2 または 6 を数回押し、［A4］または［レター］を表示します。

❹ 3 を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

5 操作パネルでメディアタイプを設定します。

メモ Webブラウザからも設定できます。詳しくは「コンピュータからプリンタの設定を変更したい」（105ページ）をご覧ください。

❶ 0 を数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を数回押し、［MP トレイ　メディアタイプ］を表示します。

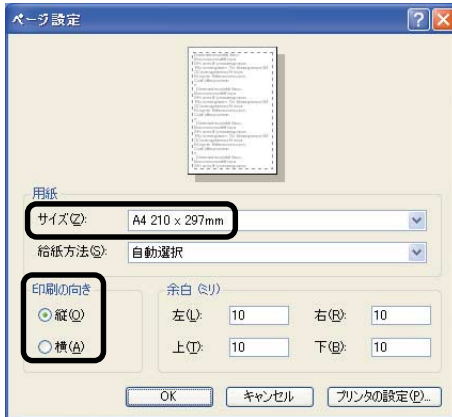
❸ 2 または 6 を数回押し、［ラベルシ］を表示します。

❹ 3 を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

6 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

7 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

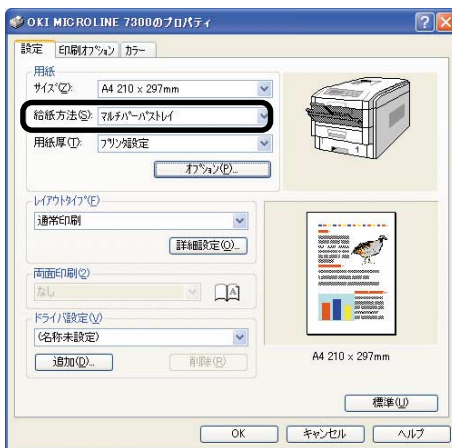
❷ ［サイズ］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

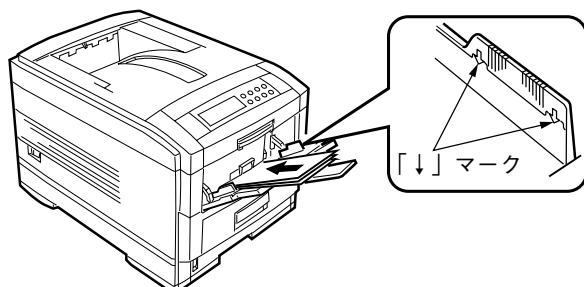
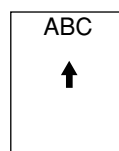
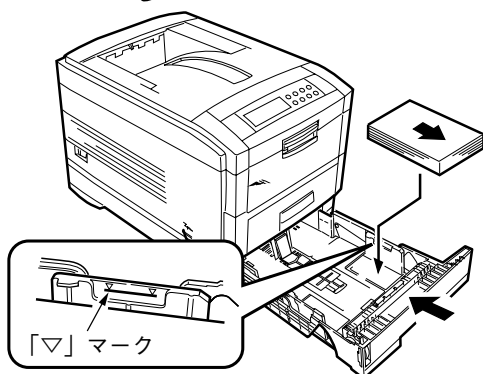
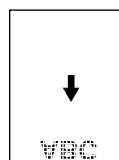
❻ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

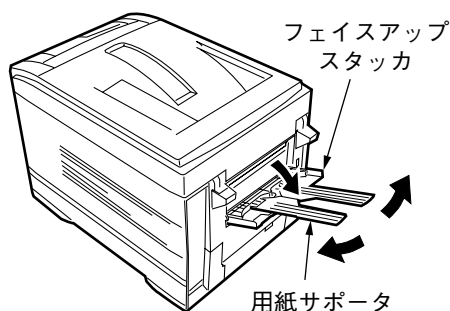
3章

OHP シートに印刷したい

1 用紙をセットします。

OHP シートはマルチパーパストレイ、トレイ 1 から印刷することができます。
用紙のセット方法は「3　印刷します」（セットアップ編）をご覧ください。

メモ　マルチパーパストレイから手差しで 1 枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「手差しで 1 枚ずつ印刷します」（セットアップ編）をご覧ください。

3
章

2 フェイスアップスタッカを開きます。

フェイスアップスタッカの開き方は、「3　印刷します」（セットアップ編）をご覧ください。

3　操作パネルでプリンタ側の用紙サイズの設定を確認します。

メモ　Webブラウザからも設定できます。詳しくは「コンピュータからプリンタの設定を変更したい」（105ページ）をご覧ください。

〈マルチパーパストレイの場合〉

❶ 0 を数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を数回押し、［MPトレイ　ヨウシサイズ］を表示します。

❸ 2 または 6 を数回押し、［A4］または［レター］を表示します。

❹ 3 を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

4　操作パネルでメディアタイプを設定します。

メモ
- 出荷時の設定ではOHP自動検出機能が有効となっています。給紙時にOHPシートを検出し、自動的に印刷条件設定を切り替えて印刷を行うため、メディアタイプの設定は必要ありません。推奨紙以外のOHPシートを使用した場合、自動検出ができない場合があります。このような場合は、メディアタイプで［OHP］を設定してください。
- 部分印刷用紙などで誤ってOHPと判定され印刷速度が低下してしまう場合は、［インサツ　メニュー］の［OHP　ケンシュツ］を［ムコウ］に設定してください。
- Webブラウザからも設定できます。詳しくは「コンピュータからプリンタの設定を変更したい」（105ページ）をご覧ください。

❶ 0 を数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を数回押し、［MPトレイ　メディアタイプ］を表示します。

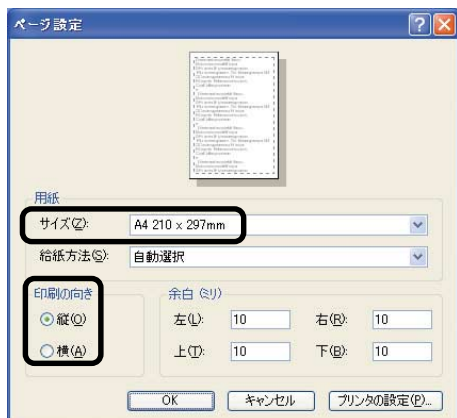
❸ 2 または 6 を数回押し、［OHP］を表示します。

❹ 3 を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

5　アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

6 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］または［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

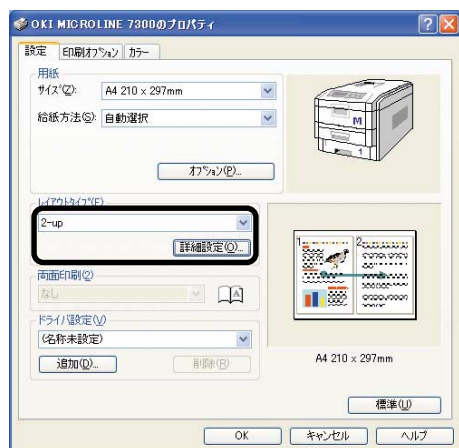
❻「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

3
章

～いろいろな印刷について～

複数ページを 1 枚に印刷したい

複数ページのデータを 1 枚の用紙に縮小して印刷できます。

- この機能はデータを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合があります。
- とじ代も設定できます。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［n-up］（n は 1 枚に印刷するページ数）を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［枠線］、［ページ配置］、［とじ代］を設定します。とじ代は上下左右に0～30mmまで設定できます。

複数枚に拡大して印刷したい（ポスター印刷）

元のデータを拡大し、複数枚の用紙に分割して印刷できます

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

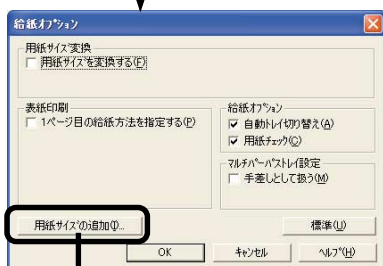
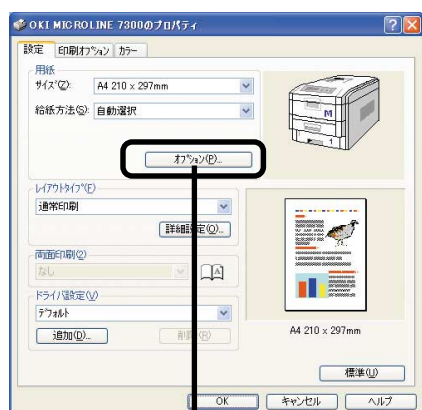
❹ ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［ポスター印刷］を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［拡大］、［トンボ］、［オーバーラップ］などを設定できます。

任意の用紙サイズに印刷したい（カスタムページ）

独自の用紙サイズを定義して通常の用紙サイズと同じように使用できます。

- マルチパーパストレイからのみ給紙できます。用紙カセットからは給紙できません。
- フェイスアップで排出してください。
- 用紙サイズは縦長に設定してください。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 長さが355.6mmを超える用紙の印刷品位は保証できません。連量110kg(128g/m²)の用紙を使用してください。
- 用紙サポータでサポートしきれない長さの用紙は手で支えてください。
- WindowsNT4.0プリンタドライバはコンピュータの管理者の権限が必要です。

［設定できるサイズ］
幅　　　　　：76.2～215.9mm
長さ(高さ)　：127～1200mm

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95の場合
　［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

WindowsXP/2000の場合
　［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

WindowsNT4.0の場合
　［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ ［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❹ 「給紙オプション」画面で［用紙サイズの追加］をクリックします。

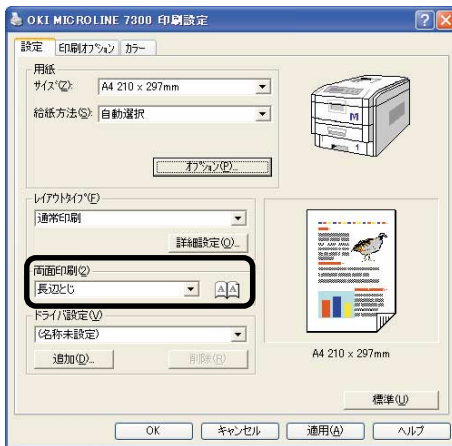
❺ 「用紙サイズの追加」画面で［名称］、［幅］、［長さ］を入力します。

❻ ［追加］をクリックします。

作成した用紙は、［設定］タブの［サイズ］リストの下の方に表示されます。合計32個まで定義できます。

両面印刷したい

用紙の両面に印刷することができます。

- オプションの両面印刷ユニットと増設メモリが必要です。
- プリンタドライバで両面印刷ユニットをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「両面印刷ユニット」（セットアップ編）をご覧ください。
- 両面印刷できる用紙サイズはA4、A5、B5、レター、リーガル(13インチ)、リーガル(13.5インチ)、リーガル(14インチ)、エグゼクティブのみです。A6用紙は使用できません。
- 両面印刷できる用紙の厚さは、連量70kg～90kg（81～105g/m²）です。それ以外の厚さでは紙づまりの原因になりますので使えません。

❶ アプリケーションを起動します。

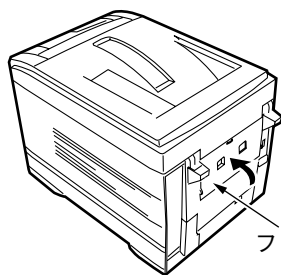
❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [設定] タブの［両面印刷］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

ページ順に取り出したい

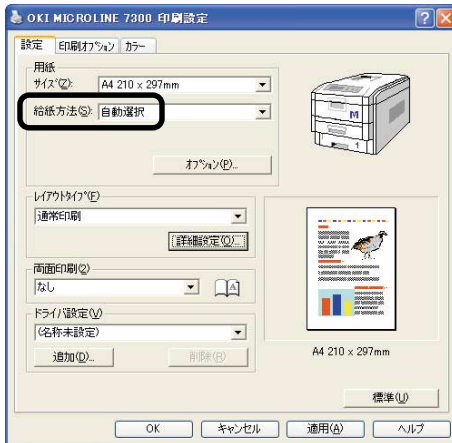
複数ページの文書を印刷するとき、ページ順で取り出せます。

フェイスダウンで排出する

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

注 紙づまりを避けるため、連量152kg以上の厚紙、A6サイズの普通紙、カスタムサイズの普通紙、はがき、往復はがき、封筒、ラベル紙、OHP、光沢紙は、フェイスアップスタッカを開いてフェイスアップで排出してください。

トレイを自動的に選択したい

プリンタドライバで設定した用紙サイズに一致するトレイ（用紙カセット（トレイ1～3）、マルチパーパストレイ）を自動的に選択して印刷できます。

- 必ず操作パネルで、マルチパーパストレイの用紙サイズを設定してください。
- 操作パネルで「メディアタイプ」を「フツウシ」以外に設定している場合は「自動選択」ではなく、直接トレイを選択してください。

❶ アプリケーションを起動します。

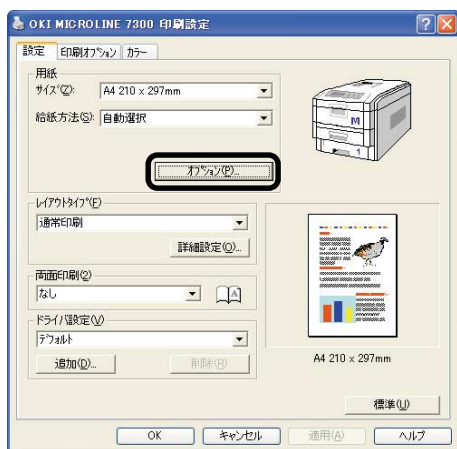
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

3章

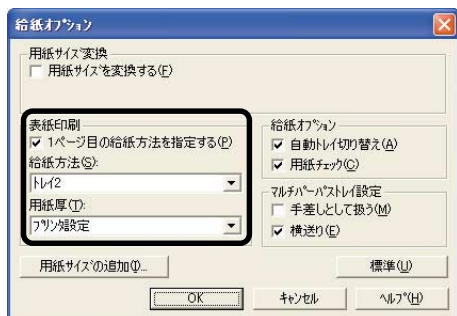
表紙のみを別のトレイから給紙したい(表紙印刷)

複数ページの印刷ジョブで 1 ページ目を別のトレイから給紙できます。1 ページ目の用紙の色や厚さを変えて表紙などを作成する場合に使用します。

❶ アプリケーションを起動します。

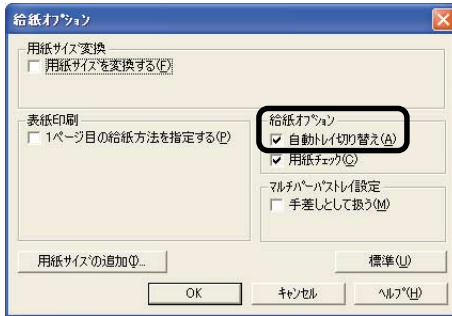
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❺ ［表紙印刷］の［1 ページ目の給紙方法を指定する］にチェックを付け、［給紙方法］をメニューから選択します。必要に応じて用紙厚を設定します。

同じ用紙サイズを大量に印刷したい

トレイ１～3、マルチパーパストレイに同じ用紙をセットしている場合に、印刷中のトレイの用紙がなくなったら、他のトレイから継続して印刷することができます。

注 必ず操作パネルで、各トレイのメディアウェイト、メディアタイプと、マルチパーパストレイの用紙サイズ、メディアウェイト、メディアタイプを一致させてください。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

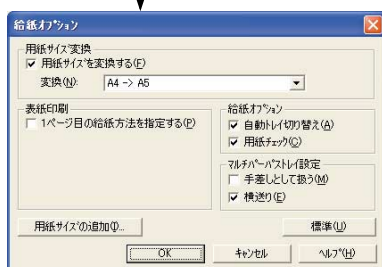
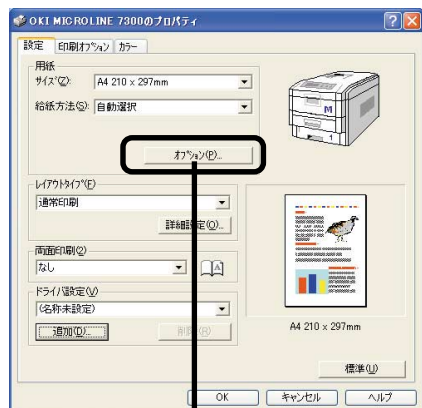
❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❺ ［自動トレイ切り替え］にチェックを付けます。

印刷する用紙サイズを変更したい

印刷データに手を加えることなく、異なる用紙サイズに印刷できます。

注 アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［サイズ］で編集する用紙サイズを選択します。

❺ ［オプション］をクリックします。

❻ ［用紙サイズを変換する］にチェックを付け、［変換］で印刷したい用紙サイズを選択します。

ウォーターマークを印刷したい

アプリケーションから印刷される内容とは独立して［見本］や［社外秘］などの文字を重ね印刷できます。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［ウォーターマーク］をクリックします。

❺ ［新規］をクリックします。

❻ 「ウォーターマークの編集」画面で［文字列］を入力し［サイズ］他を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。

文書を部単位で印刷したい（丁合印刷）

印刷ジョブをプリンタのメモリにスプールして部単位で印刷することができます。

・ 印刷ジョブをスプールするメモリの容量が不足した場合、[チョウアイ　エラー：ページガ　オオスギマス] を表示して一部のみ印刷を行います。プリンタに内蔵ハードディスクが装着されていると、メモリが不足しても内蔵ハードディスクにスプールして印刷します。
・ アプリケーションによっては利用できない場合があります。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXP では [詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション] タブで [部数] に印刷部数を入力し、[部単位で印刷] にチェックを付けます。

複数部数の文書を最初に確認してから印刷したい（確認印刷）

印刷ジョブをプリンタのハードディスクにスプールし、最初に一部のみ印刷して確認し、その後残りの部数を印刷することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスクが装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブをスプールする内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、[ディスク　ファイルシステム　フル］を表示して一部のみ印刷を行います。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「内蔵ハードディスク」（セットアップ編）をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。

3
章

1 アプリケーションから印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブで［部数］に印刷部数を入力します。

❺ ［印刷形式］で［確認印刷］を選択します。

❻ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
　印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。
パスワード
　4 桁の数字で設定します。

❼ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
　最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

2 印刷結果を確認します。

3 問題がなければ、プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ (0) を押し、[インサツ　ジョブ　メニュー] を表示します。

❷ (1) または (5) を押し、[パスワード　セッテイ] を表示します。

❸ (2) または (6) を押し、パスワードの最初の桁を入力します。

❹ (1) を押し、2 つめの桁にカーソルを移動します。

❺ 手順 ❷, ❸ を繰り返し、4 桁のパスワードを入力したら、(3) を押します。

❻ [ジョブ　セレクト] で (2) または (6) を押し、印刷するジョブ（手順 1 で入力したジョブ名）を選択します。

❼ (3) を押します。

❽ [SET COLLATING AMOUNT] が表示されたら、残りの印刷部数を確認し、(3) を押します。

残りの部数の印刷が行われます。

メモ

- パスワードを誤って入力した場合は、手順 ❹ で (1) または (5) を押すと手順 ❷ に戻ります。
- 印刷を行わない場合は、手順 ❺ で (7) を押すと、[ジョブ　サクジョ] と表示します。(3) を押すとジョブを削除できます。
  また、OKI ストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

OKI ストレージデバイスマネージャでジョブを削除する方法

❶ [スタート] - [プログラム]（WindowsXP では [すべてのプログラム]）- [沖データ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] を選択します。

❷「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、[開始] をクリックします。

❸ [閉じる] をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ] メニューから [スプールジョブの管理] を選択します。

❺ [確認印刷ジョブ] にチェックが付いていることを確認し、[ユーザジョブの参照] を選択し、パスワードを入力し [パスワードの適用] をクリックします。
[全てのジョブの参照] を選択し、管理者パスワード（デフォルトは PASSWORD）を入力し、[管理者パスワードの適用] をクリックすると、プリンタに格納されているすべての確認印刷ジョブが表示されます。

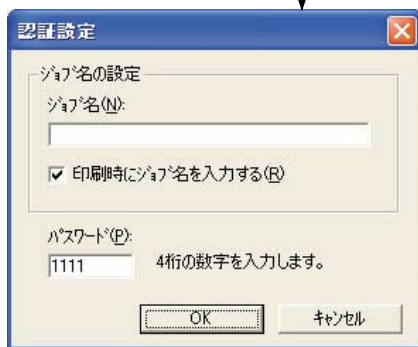
❻ リストから削除したいジョブを選択し、[削除] をクリックします。

❼ 完了画面で [OK] をクリックします。

パスワードを入力してから印刷したい（認証印刷）

印刷ジョブをプリンタのハードディスクにスプールし、プリンタの操作パネルでパスワードを入力してから印刷することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスクが装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブをスプールする内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、［ディスク　ファイルシステム　フル］を表示し、印刷は行われません。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「内蔵ハードディスク」（セットアップ編）をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。

1 アプリケーションから印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［認証印刷］を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
　印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。
パスワード
　4 桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
　最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

2 プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ (0) を押し、[インサツ　ジョブ　メニュー] を表示します。

❷ (1) または (5) を押し、[パスワード　セッテイ] を表示します。

❸ (2) または (6) を押し、パスワードの最初の桁を入力します。

❹ (1) を押し、2つめの桁にカーソルを移動します。

❺ 手順 ❷, ❸ を繰り返し、4桁のパスワードを入力したら、(3) を押します。

❻ [ジョブ　セレクト] で (2) または (6) を押し、印刷するジョブ（手順1で入力したジョブ名）を選択します。

❼ (3) を押します。

❽ [SET COLLATING AMOUNT] が表示されたら、印刷部数を確認し、(3) を押します。

認証印刷ジョブの印刷が行われます。

メモ

- パスワードを誤って入力した場合は、手順 ❹ で (1) または (5) を押すと手順 ❷ に戻ります。
- 印刷を行わない場合は、手順 ❺ で (7) を押すと、[ジョブ　サクジョ] と表示します。(3) を押すとジョブを削除できます。
  また、OKI ストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

OKI ストレージデバイスマネージャでジョブを削除する方法

❶ [スタート] - [プログラム]（WindowsXP では [すべてのプログラム]）- [沖データ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] を選択します。

❷「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、[開始] をクリックします。

❸ [閉じる] をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ] メニューから [スプールジョブの管理] を選択します。

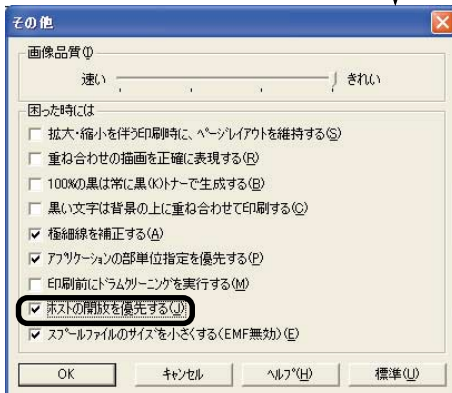
❺ [認証印刷ジョブ] にチェックが付いていることを確認し、[ユーザジョブの参照] を選択し、パスワードを入力し [パスワードの適用] をクリックします。
[全てのジョブの参照] を選択し、管理者パスワード（デフォルトは PASSWORD）を入力し、[管理者パスワードの適用] をクリックすると、プリンタに格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

❻ リストから削除したいジョブを選択し、[削除] をクリックします。

❼ 完了画面で [OK] をクリックします。

印刷ジョブをスプールして PC の開放を早くしたい（スプール印刷）

印刷ジョブをプリンタのハードディスクにスプールして、大容量のジョブや複雑なジョブの処理からコンピュータを早く開放することができます。

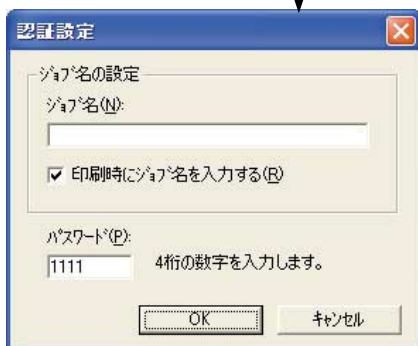
- プリンタに内蔵ハードディスクが装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブをスプールする内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、[ディスク ファイルシステム フル] を表示し、印刷は行われません。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「内蔵ハードディスク」（セットアップ編）をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。
- スプールしない場合と比較すると、印刷完了時間は遅くなります。

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。
3. [プロパティ]（WindowsXP では［詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. [印刷オプション] タブの [その他] をクリックします。
5. [ホストの開放を優先する] にチェックを付けます。

プリンタのハードディスクにジョブを保存して繰り返し印刷したい

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに保存し、プリンタの操作パネルでパスワードを入力して何度も繰り返しそのデータを印刷することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスクが装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブをスプールする内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、[ディスク　ファイルシステム　フル]を表示し、印刷は行われません。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「内蔵ハードディスク」(セットアップ編)をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。

3 章

1 アプリケーションから印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ] (WindowsXPでは [詳細設定]) をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション] タブの [印刷形式] で [プリンタに保存] を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、[OK] をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

パスワード
4桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
[印刷時にジョブ名を入力する] にチェックした場合、「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、[OK] をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

2 プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ (0) を押し、[インサツ　ジョブ　メニュー] を表示します。

❷ (1) または (5) を押し、[パスワード　セッテイ] を表示します。

❸ (2) または (6) を押し、パスワードの最初の桁を入力します。

❹ (1) を押し、2つめの桁にカーソルを移動します。

❺ 手順❷, ❸を繰り返し、4桁のパスワードを入力したら、(3) を押します。

❻ [ジョブ　セレクト] で (2) または (6) を押し、印刷するジョブ（手順1で入力したジョブ名）を選択します。

❼ (3) を押します。

❽ [SET COLLATING AMOUNT] が表示されたら、印刷部数を確認し、(3) を押します。

印刷が行われます。

メモ

- パスワードを誤って入力した場合は、手順❹で (1) または (5) を押すと手順❷に戻ります。
- 印刷を行わない場合は、手順❺で (7) を押すと、[ジョブ　サクジョ] と表示します。(3) を押すとジョブを削除できます。
  また、OKI ストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

OKI ストレージデバイスマネージャでジョブを削除する方法

❶ [スタート] - [プログラム]（WindowsXP では [すべてのプログラム]）- [沖データ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] を選択します。

❷「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、[開始] をクリックします。

❸ [閉じる] をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ] メニューから [スプールジョブの管理] を選択します。

❺ [認証印刷ジョブ] にチェックが付いていることを確認し、[ユーザジョブの参照] を選択し、パスワードを入力し [パスワードの適用] をクリックします。
[全てのジョブの参照] を選択し、管理者パスワード（デフォルトはPASSWORD）を入力し、[管理者パスワードの適用] をクリックすると、プリンタに格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

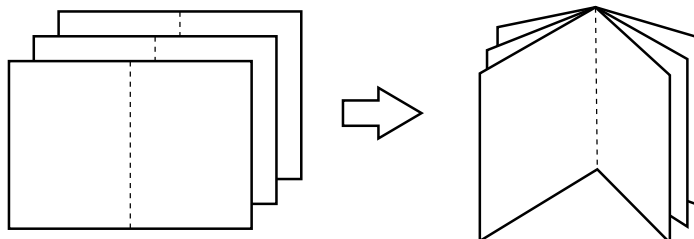
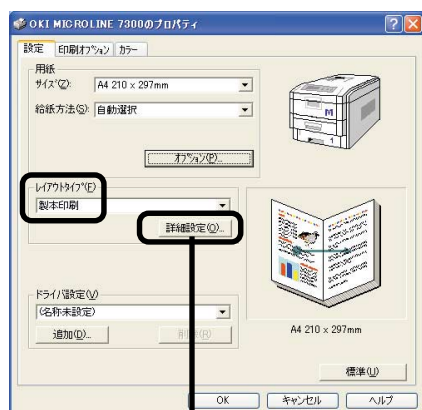
❻ リストから削除したいジョブを選択し、[削除] をクリックします。

❼ 完了画面で [OK] をクリックします。

3章

小冊子を作りたい（製本印刷）

パンフレットのような小冊子を作成できます。

- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- オプションの両面印刷ユニットと増設メモリが必要です。
- プリンタドライバで両面印刷ユニットをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「両面印刷ユニット」（セットアップ編）をご覧ください。

- Windows2000/NT4.0 でNetBEUIや別のコンピュータ上の共有プリンタでネットワークに接続している場合は利用できません。
- WindowsXP/2000 で［製本印刷］が選択できない場合は、［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］-［プリントプロセッサ］で［MLLAPP3］を選択してください。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［製本印刷］を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［折丁］、［2up］、［右開き］、［とじ代］を設定します。

折丁
製本するページの単位です。
右開き
小冊子が右開きになるよう印刷します。

❻ ［設定］タブの［サイズ］で用紙サイズを選択し、［オプション］をクリックして［用紙サイズを変換する］にチェックを付けて、［変換］で該当する値を選択します。

（例）A4 サイズの用紙を使用して A5 サイズの小冊子を作る場合

［詳細設定］の［用紙サイズ］で［A4］を選択します。

プリンタにフォームを登録したい（フォームオーバーレイ）

プリンタに帳票、ロゴなどをフォームとして登録し、重ね合わせて印刷することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスクが装着されている場合に利用できます。
- OKI ストレージデバイスマネージャのセットアップについては、「ストレージデバイスマネージャ」（28 ページ）をご覧ください。

1　フォームを作成します。

❶ ［印刷先のポート］を［FILE:］にします。詳しくは「印刷データをファイルに出力したい」（97 ページ）をご覧ください。

❷ アプリケーションでプリンタに登録したいフォームを作成します。

❸ 印刷します。

保存するファイル名を入力し、保存先を選択します。

❹ ［印刷先のポート］を元に戻します。

2　OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXP では［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸ ［閉じる］をクリックします。

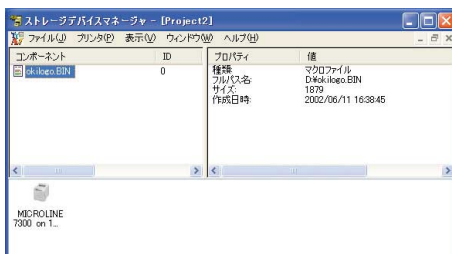
❹ ［ファイル］メニューから［プロジェクトの新規作成］を選択します。

❺ ［ファイル］メニューの［プロジェクトへファイルの追加］を選択し、手順 1 で作成したフォームのファイルを選択します。プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻ プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、［ID］に任意の数字を入力し、［OK］をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼ 下のウインドウでプリンタを選択し、［ファイル］メニューから［プロジェクトの送信］を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽ 完了画面で［OK］をクリックします。

❾ OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックします。

❺ 「オーバーレイ」画面の［オーバーレイを使用する］にチェックを付け、［オーバーレイの定義］をクリックします。

❻ ［オーバーレイ名］を入力し、［ID］にOKIストレージデバイスマネージャで登録したフォームのIDを入力します。

メモ　オーバーレイはフォームのグループです。1つのオーバーレイに3つのID（フォームファイル）を登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼ ［印刷するページ］でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「カスタム」を選択し、［ページを指定］に適用するページを入力します。

❽ ［追加］をクリックします。

❾ ［閉じる］をクリックします。

❿ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、［追加］をクリックします。

⓫ 印刷します。

高解像度で印刷したい

600 × 1200dpi の高解像度で印刷することができます。

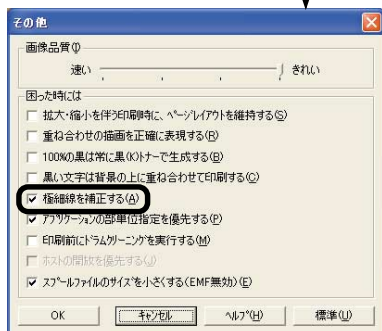
注 プリンタに 64MB 以上のメモリを追加（合計 128MB 以上）する必要があります。

1. アプリケーションを起動します。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［印刷オプション］タブの［印刷品位］で［きれい］を選択します。

極細線が細くなりすぎるのを防ぎたい

アプリケーションから極細線が指定されたとき、線がかすれて印刷されるのを防ぎます。この機能は標準でオンになっています。

メモ　アプリケーションによってはバーコードなどの間隔が狭くなることがあります。その場合はこの機能をオフにしてください。

1. アプリケーションを起動します。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
   （Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。
5. ［極細線を補正する］にチェックを付けます。

プリンタフォントに置き換えて印刷したい

TrueType フォントをプリンタ内蔵フォントに置き換えて印刷できます。

フォントの置き換え機能は、文書の体裁は保持しますが、フォントのデザインを再現させるものではありません。フォントのデザインを正確に印刷する必要がある場合は、フォントの置き換え機能を無効にしてください。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［フォント］をクリックします。

❺ 「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］にチェックを付けます。

❻ ［フォント置き換えテーブル］で TrueType フォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを指定します。

コンピュータのフォントで印刷したい

TrueType フォントを画面表示のまま出力できます。

印刷時間が長くなることがあります。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

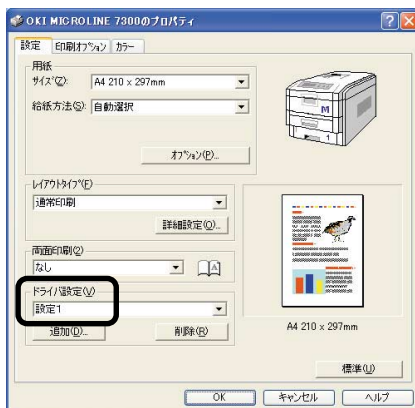
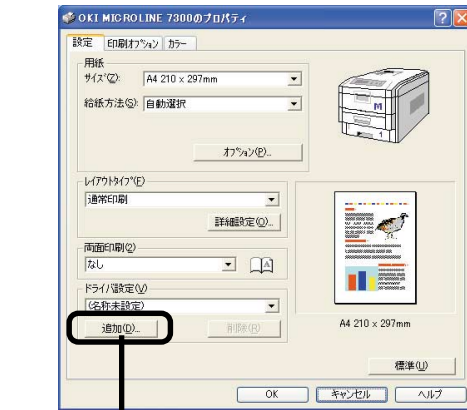
❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブで［フォント］をクリックします。

❺ 「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］のチェックを外します。

アウトラインフォントとしてダウンロード
　プリンタでフォントイメージを作成します。
ビットマップフォントとしてダウンロード
　プリンタドライバでフォントイメージを作成します。

プリンタドライバの設定に名前を付けて保存したい

プリンタドライバで設定した内容を保存することができます。

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95 の場合
　［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

WindowsXP/2000 の場合
　［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

WindowsNT4.0 の場合
　［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ 各設定を変更します。

❹ ［設定］タブの［ドライバ設定］で［追加］を選択します。

❺ ［設定名］に設定の名前を入力し、［OK］をクリックします。

用紙情報を保存する
チェックを付けると、［設定］タブの［用紙］の設定も保存します。

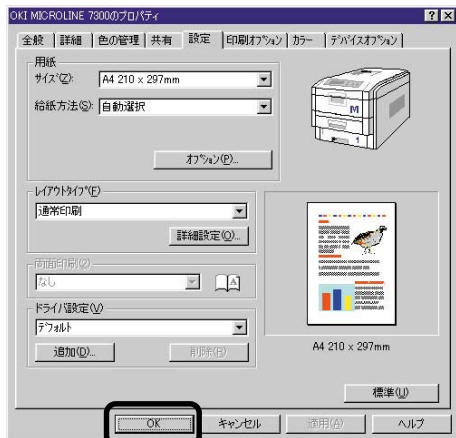
❻ ［ドライバ設定］で、使用する設定を選択し、［OK］をクリックします。

メモ　最大 14 個まで保存することができます。

3
章

プリンタドライバの初期設定を変更したい

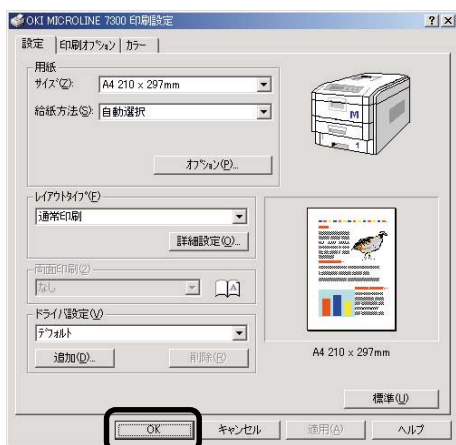
頻繁に変更する機能は初期設定を変更すると便利です。

WindowsNT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

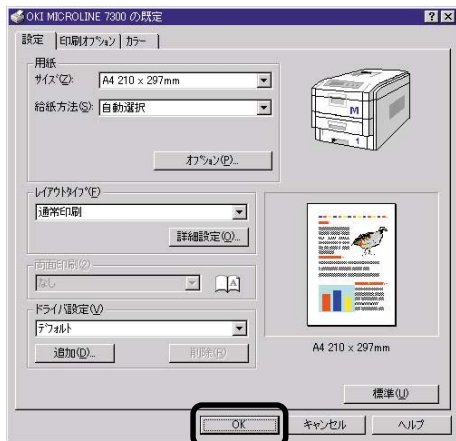
❷ ［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ 各設定を変更し、［OK］をクリックします。

WindowsXP/2000 プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

❸ 各設定を変更し、［OK］をクリックします。

WindowsNT4.0 プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ 各設定を変更し、［OK］をクリックします。

トナー消費をセーブして試し印刷したい

トナーの消費量を節約するように印刷します。全体の色を明るくすることでトナーの消費量を節約します。同時に 100%黒の色はそのまま保存することで、きれいな黒文字の再現を両立させています。
トナーセーブをしてもなるべく画像のバランスが失われにくくするために中間調をバランスよく明るくすることで調整します。このため、トナーの節約の量は印刷画像によってことなります。

100%黒の色には無効です。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXP では［詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション] タブの [トナーセーブ] をチェックします。

3章

3
章

～カラーについて～

カラーマッチングについて

カラーマッチング

データの作成から出力までに至る作業過程において、カラーを一貫した手法に基づいて管理することが重要になります。例えばスキャナやデジタルカメラやモニタ等は黒に対して「赤」「青」「緑」の３色の光を加えた配合率をRGBカラー空間上の値としてカラーを表現します（加法混色）。一方プリンタは白（白色光）に対して、「赤」「青」「緑」の３色を反射光から取り除く、「シアン」「マゼンタ」「イエロー」と「黒」の４色のトナーの配合率をCMYKカラー空間上の値としてカラーを表現します（減法混色）。
RGBカラー空間やCMYKカラー空間は、お使いの機器に依存したカラー空間であるために、カラー空間を変換する際にそれぞれの機器の特性を考慮しないと再現された色も異なった色になってしまいます。

データの作成から出力までカラーの一貫性を維持するには、機器によるカラーの違いを考慮してカラー変換する必要があります。この処理をカラーマッチングといいます。カラーマッチングを行うプログラムをカラーマネジメントシステム（CMS）といいます。

本プリンタでは、プリンタに内蔵のカラーマッチング（ASIC）を利用することができます。

カラーマッチングを使用しても、印刷色がモニタ上の色に比べくすんで見えることがあります。これはプリンタで再現できる色の範囲がモニタで再現できる色の範囲より狭いため、カラーマッチングを使用してもモニタ上の鮮やかなカラーが再現できないためです。

簡単にカラーマッチングしたい（プリンタに内蔵のASICカラーマッチング）

プリンタに搭載されている専用アクセラレータ（ASIC）を使用してカラーマッチングを行います。RGBカラースペースの印刷データをプリンタのCMYKカラースペースに変換する際にカラーマッチング処理が適用されます。

注 RGBカラースペースの印刷データに対して有効です。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［カラーモード］で［カラー（推奨）］を選択します。

メモ ［カラー（ユーザ設定）］にすると［カラー調整］、［黒の生成］、［明暗の調整］が設定できます。

パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい

カラー調整ユーティリティを使用して､画面上の特定の色とプリンタの出力が近づくようにカラーマッチングすることができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、30 ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- CMYK カラースペースの印刷データに対しては、カラーマッチングは適用されません。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。

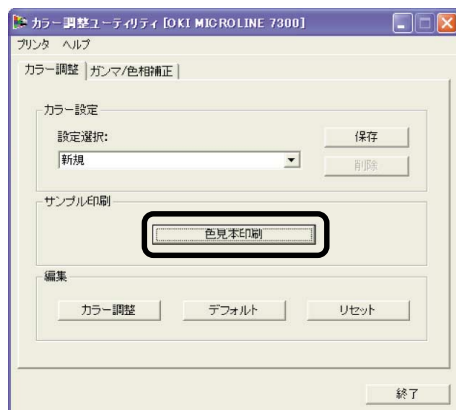
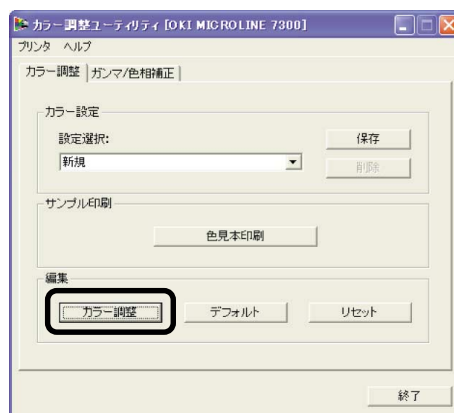
1 カラー調整ユーティリティで、カラー調整を行います。

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXP では［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

❷「プリンタ選択」画面が表示されたら、使用するプリンタを選択し､［OK］をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

メモ　インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

❸［カラー調整］タブで［色見本印刷］をクリックします。

「色見本サンプル」が印刷されます。

❹［カラー調整］をクリックします。

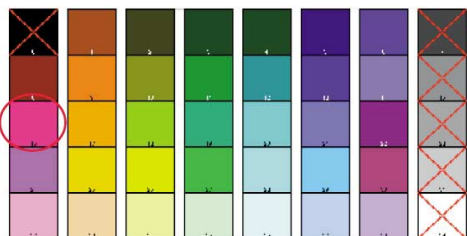
「パレットカラー調整」画面が表示されます。

❺［テスト印刷］をクリックします。

「調整対象色サンプル」が印刷されます。

3
章

❻ 「パレットカラー調整」画面のパレット（画面色）と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較します。変更したい色がある場合や「パレットカラー調整」画面の表示と近づけたい色がある場合、調整を行います。（以下は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です）

《調整対象色サンプル》

注 ×印がついている色は調整できません。

《「パレットカラー調整」画面》

❼ 「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

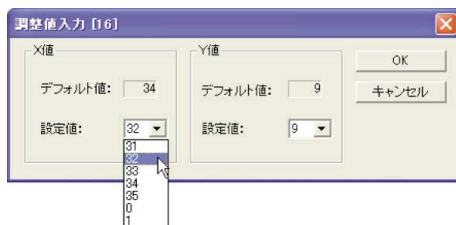
❽ X値、Y値のプルダウンで調整可能な範囲を確認します。

メモ 全体のバランスを考慮して、調整可能な範囲は色により異なります。

❾ 「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X方向（色相）、Y方向（明度）の値（X値、Y値）を確認します。

❿ 「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

⓫ 「調整値入力」画面で、❾で確認したX値とY値を選択し、[OK]をクリックします。

「パレットカラー調整」画面に戻ります。

⓬ ［テスト印刷］をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」と「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）とが一致しているか確認し、［設定］をクリックします。

他にも調整したい色がある場合は、❼〜⓬を繰り返します。

⓭ ［保存］をクリックします。

⓮ 「調整名保存」画面で、設定の名前を入力し、［OK］をクリックします。

⓯ ［設定選択］に保存したカラー調整名が表示されます。

注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［終了］をクリックしてください。

⓰ ［終了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

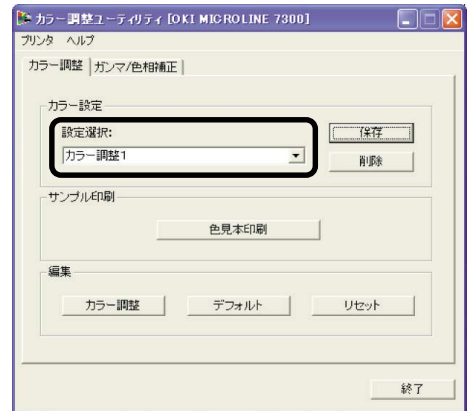
3章

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［カラーモード］で［カラー（ユーザ設定）］を選択します。

❺ ［カラー調整］で［ユーザー設定］にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［終了］をクリックしてください。

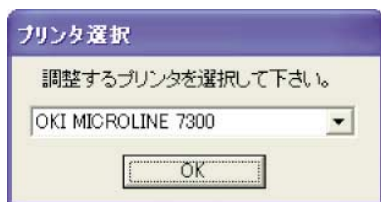
ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい

カラー調整ユーティリティを使用して、ガンマ値や色相を調整してカラーマッチングすることができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、30 ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- CMYK カラースペースの印刷データに対しては、カラーマッチングは適用されません。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。

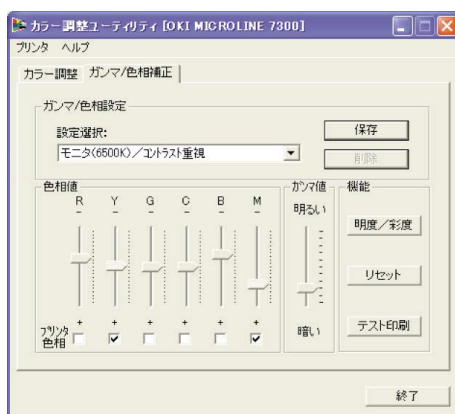
1 カラー調整ユーティリティで、ガンマ値・色相などを変更します。

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXP では［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

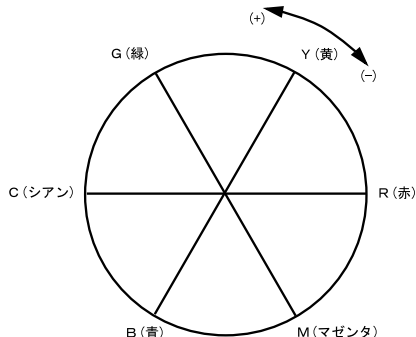
❷「プリンタ選択」画面が表示されたら、使用するプリンタを選択し、［OK］をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

メモ　インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

❸ ［ガンマ / 色相補正］タブをクリックします。［設定選択］で、補正したいカラー調整モードを選択します。

❹ ［ガンマ値］、［色相値］の各スライドバーの値を変更して調整します。

色相スライドバーの説明	
R…赤	C…シアン
Y…黄色	B…青
G…緑	M…マゼンタ

メモ

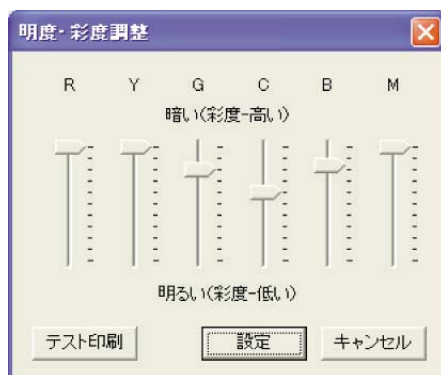
- ［ガンマ値］を上方向に調整するほど明るくなります。
- ［色相値］は色相環の順方向（＋）または逆方向（ー）に各色を調整します。例えば、Y（黄）のスライドバーを（＋）方向に動かすとG（緑）に近づき、（ー）方向に動かすとR（赤）に近づきます。

メモ
・［プリンタ色相］にチェックを付けると、プリンタの標準の色相に一致させることができ、以下のように印刷します。

色相	印刷トナー
R	イエロー50％＋マゼンタ50％
Y	イエロー100％
G	シアン50％＋イエロー50％
C	シアン100％
B	マゼンタ50％＋シアン50％
M	マゼンタ100％

❺ ［テスト印刷］をクリックします。

「調整確認サンプル」が印刷されます。

❻ 調整結果を確認します。

明度、彩度を調整する場合
☞ ❼に進みます。
調整を終了する場合
☞ ❿に進みます。

❼ ［明度／彩度］をクリックします。

「明度／彩度」画面が表示されます。

❽ 各スライドバーの値を変更して調整します。

メモ スライドバーを上方向に調整すると暗くなり、彩度は高くなります。

❾ ［テスト印刷］をクリックして調整結果を確認し、［設定］をクリックします。

❿ ［保存］をクリックします。

⓫ 「調整名保存」画面で、設定の名前を入力し、［OK］をクリックします。

⓬ ［設定選択］に保存したカラー調整名が表示されます。

注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［終了］をクリックしてください。

⓭ ［終了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

3章

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXPでは［詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [カラー］タブの［カラーモード］で［カラー（ユーザ設定）］を選択します。

❺ [カラー調整］で［ユーザー設定］にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了]をクリックしてください。

黒の部分の仕上りを変更したい

カラーで印刷するときの黒の部分の仕上りを変えられます。プリンタに内蔵のカラーマッチングで利用できます。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブで［カラー（ユーザ指定）］を選択し、［黒の生成］から適当な項目を選択します。

黒の生成

- 自動
  印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で黒を生成します。
- CMYK トナーで生成
  イメージ中の黒の生成方法を指定します。
  シアン、マゼンタ、イエロー、黒のトナーで黒を合成します。茶色に近い黒になります。
- 黒（K）トナーのみで生成
  黒トナーのみで黒を印刷します。

カラーデータをモノクロで印刷したい

印刷データに手を加えることなく、カラーデータをグレースケール（階調のある白黒）で印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

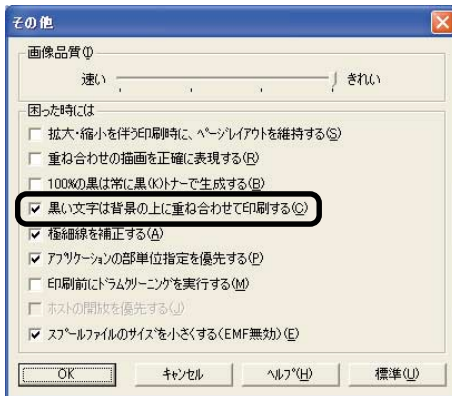
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［カラーモード］で［グレースケール］を選択します。

文字と背景の間の白すじをなくしたい（ブラックオーバープリント）

黒100%の文字を色の付いた背景上に描画する場合に、文字と背景部分を重ねあわせて印刷（オーバープリント）することができます。文字と背景の境界に白すじなどの隙間ができた場合に設定してください。

- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 文字が黒100%でない場合や、文字がアウトライン抽出等によりグラフィックス化されている場合やイメージとなっている場合には利用できません。
  例えば、WindowsXP/2000/NT4.0でMicrosoft Officeアプリケーションを使用する場合、True Typeフォントを使用して大きな文字を印刷すると、アプリケーション側で文字をグラフィックイメージに置き換えるため、ブラックオーバープリントが効かないことがあります。この場合はプリンタ内蔵フォントを指定してください。
- 背景の色が濃い場合（トナー層厚として240%を超える場合）にはトナーがきちんと定着しないことがあります。例えばシアン50%、マゼンタ50%、イエロー50%の背景色の上に黒100%の文字を描画すると、トナー層厚は50+50+50+100=250%となり、240%を越えることになります。

1. アプリケーションを起動します。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。
   （Windows2000では、この操作は必要ありません。）
4. ［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。
5. ［黒い文字は背景の上に重ねて印刷する］にチェックを付けます。

3章

色見本印刷して希望色の RGB 値を決めたい

色見本印刷 ユーティリティはプリンタでRGB色の見本を印刷するためのユーティリティです。印刷された色見本を見ることにより、希望する色を印刷するにはアプリケーションでどのようなRGB値の指定を行えばよいかを確認することができます。

- Windows95 では利用できません。
- 色見本印刷ユーティリティのセットアップについては、29 ページをご覧ください。

1 色見本を印刷します。

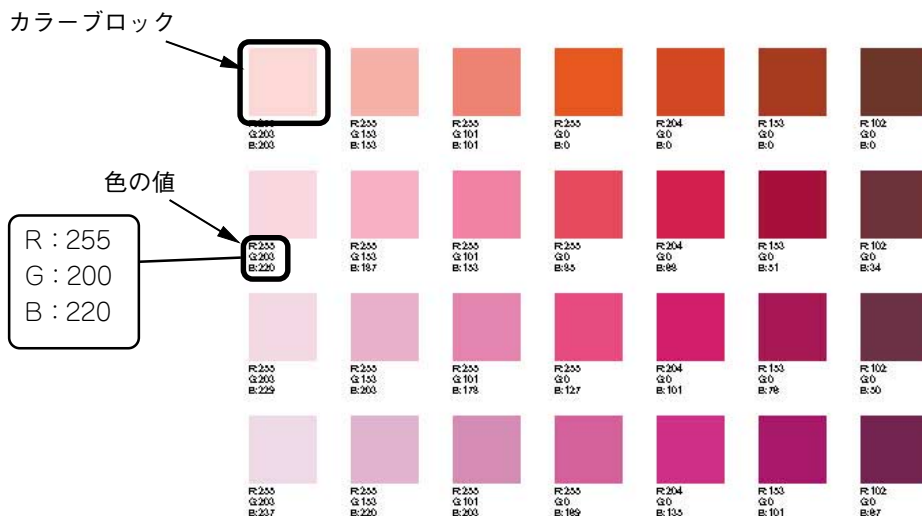
❶ ［スタート］-［プログラム］（Windows XP では［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［色見本印刷ユーティリティ］-［色見本印刷ユーティリティ］を選択します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ プリンタを選択します。

❹ ［OK］または［印刷］をクリックします。

色見本が 3 ページ印刷されます。

（サンプル）

メモ　カラーブロックの下に表示される RGB 値は、カラーブロックの R（赤）、G（緑）、B（青）の色の成分量（0 ～ 255）を表しています。

❺ 印刷された色見本から、印刷したい色を選択し、印刷されている RGB 値をメモします。

メモ　色見本に印刷したい色がない場合は、以下の手順で色見本のカスタマイズを行います。

❶ ［ファイル］メニューの［カスタム色見本］を選択します。

❷ 希望の色がモニタ画面で表示されるまで、3つのバーを調整し、[OK]をクリックします。

色相：赤から緑、または青から黄色など、色味を変更します。
彩度：鮮やかさを変更します。
明度：濃さを変更します。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ プリンタを選択します。

❺ ［OK］または［印刷］をクリックします。

プリンタから1ページ印刷されます。

❻ 色見本に希望する色が見つからない場合は、手順❶から繰り返します。

3章

2 アプリケーションから希望する色を印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ アプリケーション上で、テキストやグラフィックを選択し、印刷したい色の色見本のRGB値を変更します。

注　アプリケーション上での色の指定方法は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❸ 印刷します。

注　アプリケーションから希望する色を印刷する際、色見本を印刷したときに使用した設定値と同じプリンタドライバ設定値を使用してください。

色ずれ補正を微調整したい

シアン、マゼンタ、イエロー各色の黒に対する版ずれを色ずれと呼びます。
プリンタは自動色ずれ補正機能により定期的に補正を行っていますが、印刷条件によっては色ずれが気になる場合があります。
用紙送り方向の色ずれについては、自動補正結果に対してさらに手動で微調整することができます。実際の印刷結果で気になる部分を微調整してください。

ここでは、シアンを微調整する手順を説明します。調整したい色が他にもある場合は同様の手順で調整を行ってください。

1 シアンの色ずれを微調整します。

印刷結果をみて用紙送り方向に対してシアンが上方向にずれている場合

❶ 0 を数回押し、[カラー　メニュー] を表示します。

❷ 1 または 5 を数回押し、[シアン　イチズレ　ビチョウセイ／XX]（XXは現在設定されている値）を表示します。

❸ 2 または 6 を数回押し、現在設定されている値より数字を増やします。

メモ　設定値のプラスは黒を基準として画像が下方向に調整されます。

❹ 3 を押します。数字の右側に [*] が表示されます。

❺ 4 を押し、[オンライン] にします。

2 印刷します。

色ずれが気になる場合は上記手順を繰り返してください。

特定の色味を強くしたい、または弱くしたい

プリンタの色味を好みに合わせて調整する場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。
調整は、各色の淡い（Highlight）・濃い（Dark）・中間（Mid-tone）の3か所の部分を濃くしたり、薄くしたりすることで指定します。
ここでは、シアンの色の淡い部分を少し濃くする手順について説明します。シアンの他の部分や、他の色を調整したい場合は、それぞれの色について調整を行ってください。

プリントジョブアカウンティングで［ローカルプリント］が［印刷不可］、または［カラー印刷不可］に設定されている場合は印刷できません。

3章

1 カラー調整パターンを印刷します。

❶ トレイにA4用紙をセットします。

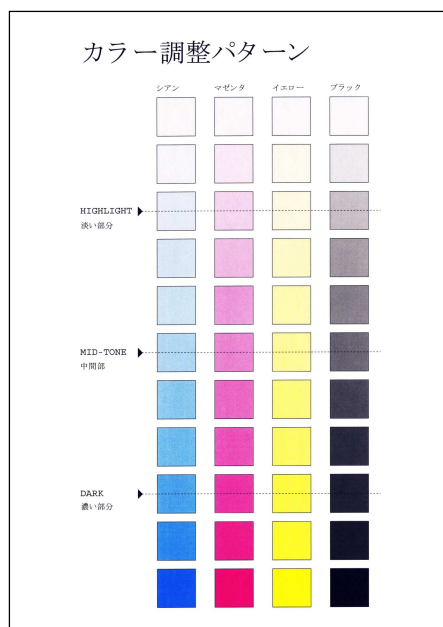
❷ 0 を数回押し、［カラー　メニュー］を表示します。

❸ 1 または 5 を数回押し、［カラー　チョウセイ／パターン　インサツ］を表示します。

❹ 3 を押します。

カラー調整パターン印刷が開始されます。

カラー調整パターンには四角が縦11行、横4列で配置されていて、縦11行は色の調子を表しており、［HIGHLIGHT 淡い部分］、［MID-TONE 中間部］、［DARK 濃い部分］とそれぞれの文字右側に破線が印刷されています。
横4列は左からシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックを表しており、［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］、［ブラック］と印刷されています。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

2 シアンの色の調子を調整します。

淡い部分の調整は、淡い部分（Highlight）の設定値を変更します。

❶ (0) を数回押し、［カラー　メニュー］を表示します。

❷ (1) または (5) を数回押し、［シアン　HIGHLIGHT／XX］（XXは現在設定されている値）を表示します。

3章

❸ (2) または (6) を数回押し、現在設定されている値より数字を増やします。

メモ　数字を増やすと濃い方向に、減らすと薄い方向に調整されます。

❹ (3) を押します。数字の右側に［*］が表示されます。

❺ (4) を押し、［オンライン］にします。

3 アプリケーションから印刷します。

印刷結果が好みに合わない場合は手順 1, 2 を繰り返してください。

特定の色だけで印刷したい（限定色印刷）

使用しない色のイメージドラムカートリッジを取り外して、特定の色だけで印刷することができます。

- 黒のイメージドラムカートリッジは必須です。取り外すことはできません。
- 封筒、はがき、往復はがき、ラベル紙、光沢紙および連量103kg（120g/m^2）を超える普通紙は、紙づまりが発生する可能性があります。
- イメージドラムの押さえが減るため、色ずれが悪化する可能性があります。
- 限定色印刷を行った場合、印刷品質、印刷精度は保証外となります。
- プリンタドライバの［カラー］タブの［カラー調整］で［調整なし］にチェックを付け、カラーマッチングなしで印刷することをお薦めします。
- 取り外したイメージドラムカートリッジは黒いビニール袋に包んで梱包箱の中で保管してください。他の色のイメージドラムカートリッジとして流用することはできません。
- CUSTOM COLOR を設定した場合、黄色、マゼンタ色、シアン色を使用しない設定にしても、イメージドラムカートリッジがセットしてあればその色を印刷します。
- MONOCROME を設定した場合は、モノクロ印刷になります。

1　操作パネルで限定色印刷と使用する色を設定します。

黒だけで印刷するには

❶ プリンタの電源を OFF にします。

❷ (1) と (5) を同時に押しながら電源を入れ、［ADMINISTRATOR　MENU］を表示するまで押し続けます。

❸ (0) を数回押し、［CUSTOM　PROCESS］を表示します。

❹ (1) または (5) を押し、［CUSTOM　PROCESS］を表示します。

❺ (2) または (6) を押し、［MONOCROME］を表示します。

❻ (3) を押します。値の右側に［*］が表示されます。

❼ (4) を押し、［オンライン］にします。

❽ プリンタの電源を OFF にします。

特定の色のイメージドラムカートリッジを使用せずに印刷するには

ここでは、黄色のイメージドラムカートリッジを使用しないときの設定手順を説明します。

❶ プリンタの電源をOFFにします。

❷ (1)と(5)を同時に押しながら電源を入れ、[ADMINISTRATOR　MENU]を表示するまで押し続けます。

❸ (0)を数回押し、[CUSTOM　PROCESS]を表示します。

❹ (1)または(5)を押し、[CUSTOM　PROCESS]を表示します。

❺ (2)または(6)を押し、[CUSTOM　COLOR]を表示します。

❻ (3)を押します。値の右側に[*]が表示されます。

❼ (1)または(5)を押し、[YELLOW　DRUM　CHECK]を表示します。

❽ (2)または(6)を押し、[DISABLE]を表示します。

❾ (3)を押します。値の右側に[*]が表示されます。

❿ (4)を押し、[オンライン]にします。

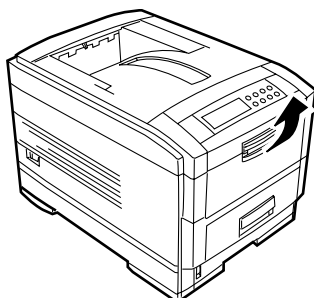
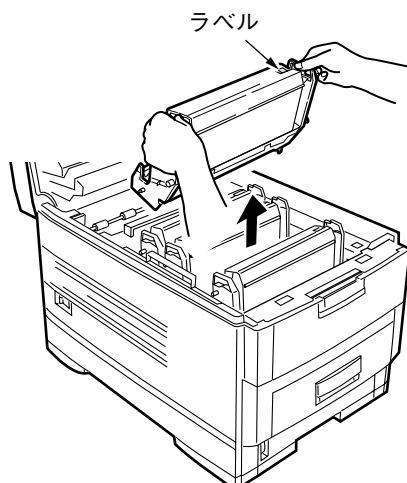
⓫ プリンタの電源をOFFにします。

注 プリンタの電源を再投入後に設定内容が有効になりますので、必ず一旦プリンタの電源をOFFにしてください。

---

2 トップカバーを開けます。

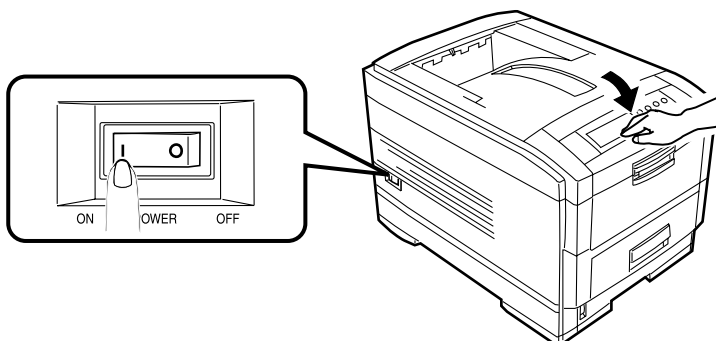
⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 使用しないイメージドラムカートリッジを取り外します。

❶ 取り外すイメージドラムカートリッジをラベルの色で確認します。

❷ イメージドラムカートリッジを取り出します。イメージドラムカートリッジを取り出すと、トナーカートリッジも一緒に取り出されます。

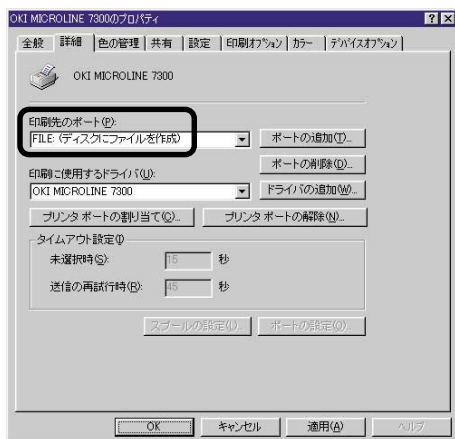
取り外したイメージドラムカートリッジは黒いビニール袋に包んで梱包箱の中で保管してください。

4 トップカバーを閉じ、プリンタの電源をONにします。

3
章

～ユーティリティ、添付ファイルについて～

印刷データをファイルに出力したい

印刷データをファイルに書き出して保存することができます。

WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［詳細］タブの［印刷先のポート］で［FILE:］を選択し、［OK］をクリックします。

❹ 印刷します。［ファイルへ出力］で［ファイル名］を入力し、［フォルダ］を選択し、［OK］をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0 プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 7300］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［ポート］タブの［印刷するポート］で［FILE:］を選択し、［OK］をクリックします。

❹ 印刷します。［ファイルへ出力］で［出力先ファイル名］を入力し、［OK］をクリックします。

プリントジョブアカウンティングの使用について

オプションのプリントジョブアカウンティングが必要です。

メモ　プリンタがプリントジョブアカウンティングに追加されている場合は、メニューマップ印刷で「JobAccounting = ON」と印刷されます。

ハードディスクおよびフラッシュメモリに最低限必要な空き容量

プリントジョブアカウンティングを使用するためには、ハードディスクの「キョウツウ」パーティション（ハードディスクを搭載しているときのみ）およびフラッシュメモリの「MIX」パーティションの空き容量が以下の条件を満たす必要があります。この条件のとき、ユーザIDの登録可能数とログの保存可能数は以下のとおりです。

ハードディスク *1			フラッシュメモリ	登録可能ユーザID数	保存可能ログ数
有 / 無	「キョウツウ」パーティション		「MIX」パーティション		
	サイズ	空き容量	空き容量		
無	ー	ー	1MB以上	5000ID *2	約240ログ *2
有	10%以上	2MB以上	500KB以上	5000ID	約500ログ

*1 ハードディスクは「PCL」、「キョウツウ」、「キョウツウ」の3つのパーティションに分割されており、出荷時またはハードディスク初期化時には各パーティションのサイズは下記のように割り当てられます。

PCL　=20%（2GB）
キョウツウ　=50%（5GB）
キョウツウ　=30%（3GB）

*2 ハードディスクを搭載していない場合は、ユーザIDとログは保存領域が同じため、両方の最大値まで保存できるわけではありません。

最大登録可能なユーザID数、および最大保存可能ログ数と必要なメモリ条件

ユーザIDの最大登録可能数およびログの最大保存可能数とそのときに必要なハードディスクの「キョウツウ」パーティションおよびフラッシュメモリの「MIX」パーティションのサイズは以下のとおりです。

ハードディスク			フラッシュメモリ	登録可能ユーザID数	保存可能ログ数
有 / 無	「キョウツウ」パーティション		「MIX」パーティション		
	サイズ	空き容量	空き容量		
無	ー	ー	4MB以上	5000ID	約1700ログ
有	10%以上	20MB以上	500KB以上	5000ID	約5000ログ

メモ　プリントジョブアカウンティングで「ログを格納するのに十分な領域がありません。」とエラーが表示された場合は以下を行ってください。

- ハードディスクの「キョウツウ」パーティションおよびフラッシュメモリの「MIX」パーティションの空き容量を確認します。空き容量を確認する方法は、「ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確認したい」（112ページ）をご覧ください。
- 上記のハードディスクおよびフラッシュメモリに最低限必要な空き容量を満たしていない場合は、ハードディスクの「キョウツウ」パーティションおよびフラッシュメモリの空き容量を確保します。空き容量を確保する方法は、「ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確保したい」（113ページ）をご覧ください。

3
章

～プリンタの動作について～

省電力モードに入るまでの時間を変更したい（パワーセーブ）

省電力モードに入るまでの時間を長くすると、印刷開始までの時間を短くできる場合があります。

```
ハ゜ワーセーフ゛　イコウシ゛カン
60フン                        ＊
```

「5フン」5分間データを受信しないと省電力モードになります。
「15フン」
「30フン」
*「60フン」
「240フン」

ここでは操作パネルで時間を変更する手順を説明します。

❶ (0) を数回押し、［システム　コウセイ　メニュー］を表示します。

❷ (1) または (5) を押し、［パワーセーブ　イコウ　ジカン］を表示します。

❸ (2) または (6) を押し、目的の値を表示します。

❹ (3) を押し、値の右端に［＊］を付けます。

❺ (4) を押し、［オンライン］にします。

メモ ［メンテナンスメニュー］の［パワーセーブ　キノウ］を［ムコウ］にすると省電力モードに入らなくなりますが、定着器を印刷可能温度に保つために電力を消費します。プリンタを使用しないときには電源を OFF にしてください。

プリンタの最大消費電力を抑えたい

プリンタの最大消費電力が1000W以上で問題がある場合には、下記手順で1000W未満に設定できる最大消費電力低減モードの設定を行ってください。
但し、最大消費電力低減モードでは立上げ時間や、連続印刷時間が多少長くなる場合があります。
設定の変更はアドミニストレータ・メニュー（Administrator Menu）から行います。

手順：操作パネルから［PEAK POWER CONTROL］設定を［LOW］に変更します。

❶ プリンタの電源をOFFにします。

❷ 1 と 5 を同時に押しながら電源を入れ、[ADMINISTRATOR MENU] を表示するまで押し続けます。

❸ 0 を数回押し、[PEAK POWER CONTROL］を表示します。

❹ 2 または 5 を押し、[LOW］を表示します。

❺ 3 を押し、値の右端に［✱］を付けます。

❻ 4 を押し、[イニシャルチュウ］を表示します。イニシャライズが行われます。

❼ ［オンライン］が表示されたら電源をOFFにします。

❽ 電源をONにします。

その他の設定を間違えて変更してしまった場合には、アドミニストレータメニュー一覧表（102ページ）を見て初期値に戻してください。

3章

アドミニストレータ・メニュー一覧表（初期設定に戻す場合の参考にしてください。）

カテゴリ	操作パネル表示		内　容
	設定項目(上段)	設定値(下段)	
OP MENU	ALL CATEGORY	ENABLE DISABLE	DISABLEの場合、全てのユーザメニューが表示されなくなります。 但し、HDD装着時にはPRINT JOB MENUは表示されます。
	PRINT JOB MENU	ENABLE DISABLE	DISABLEの場合、ユーザメニューの各カテゴリが表示されなくなります。 不用意に操作パネルから変更されて欲しくないプリンタの設定を非表示にすることで、誤って操作してしまわないようにできます。 各設定項目は、以下のメニューに対応します。 INFORMATION MENU →　「インフォメーション メニュー」 SHUTDOWN MENU →　「シャットダウン メニュー」 PRINT MENU →　「インサツ メニュー」 MEDIA MENU →　「メディア メニュー」 COLOR MENU →　「カラー メニュー」 SYSTEM CONFIG MENU →　「システム コウセイ メニュー」 PCL EMULATION MENU →　「PCL エミュレーション」 PARALLEL MEMU →　「セントロ メニュー」 USB MENU →　「USB メニュー」 NETWORK MENU →　「ネットワーク メニュー」 MEMORY MENU →　「メモリ メニュー」 DISK MAINTENANCE MENU →　「DISK メンテナンス」 SYSTEM ADJUST MENU →　「システム ホセイ メニュー」 MAINTENANCE MENU →　「メンテナンス メニュー」 USAGE MENU →　「ジュミョウ メニュー」
	INFORMATION MENU	ENABLE DISABLE	
	SHUTDOWN MENU	ENABLE DISABLE	
	PRINT MENU	ENABLE DISABLE	
	MEDIA MENU	ENABLE DISABLE	
	COLOR MENU	ENABLE DISABLE	
	SYSTEM CONFIG MENU	ENABLE DISABLE	
	PCL EMULATION MENU	ENABLE DISABLE	
	PARALLEL MENU	ENABLE DISABLE	
	USB MENU	ENABLE DISABLE	
	NETWORK MENU	ENABLE DISABLE	
	MEMORY MENU	ENABLE DISABLE	
	DISK MAINTENANCE	ENABLE DISABLE	
	SYSTEM ADJUST MENU	ENABLE DISABLE	
	MAINTENANCE MENU	ENABLE DISABLE	
	USAGE MENU	ENABLE DISABLE	
COLOR MENU	RESET C GAMMA FILTER RESET M GAMMA FILTER RESET Y GAMMA FILTER RESET K GAMMA FILTER	EXECUTE	使用しないでください。 （実行しても何もしません）
BLOCK DEVICE MENU	INITIAL LOCK	YES NO	YESにした場合、DISK MAINTENANCEカテゴリと「メモリ メニュー」カテゴリの「FLASH イニシャライズ」，「PS FLASH サイズ」の設定項目を表示しなくなります。 (オプションのHDDが装着されている場合のみ本設定値は機能します)
FILE SYSTEM MAINTENANCE	CHECK FILE SYSTEM	OFF HDD	HDDの内容が消去されますので使用しないでください。
	CHECK ALL SECTORS	OFF ON	HDDのファイルシステムの状態が不調の場合に使用します。 ONにした場合、処理完了までに数十分以上かかります。 ※本メニューを操作すると、フォントや大事なデータを保存していた場合、消えますのでご注意ください。
	HDD	ENABLE DISABLE	
PEAK POWER CONTROL	PEAK POWER CONTROL	NORMAL LOW	最大消費電力設定をＬＯＷにすると、最大消費電力低減モードになります。

印刷をキャンセルしたい

プリンタで処理中のデータをキャンセルすることができます。

1 プリンタの操作パネルで印刷をキャンセルします。

❶ 7 を押します。

プリンタは印刷ジョブの最後まで受け取ってキャンセルします。

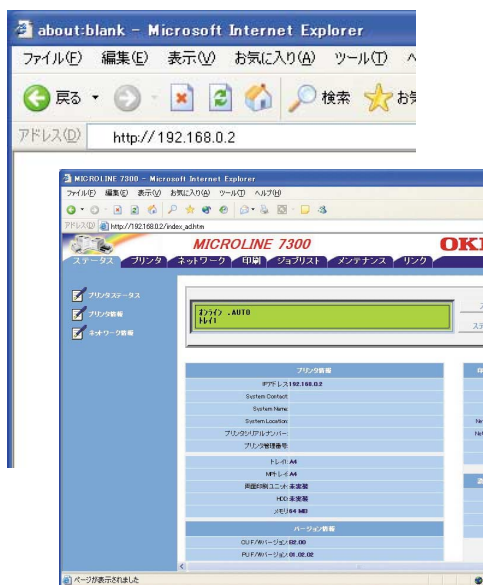
- プリンタで印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。
- [データ　クリアチュウ]が長く続く場合はコンピュータで印刷ジョブを削除してください。

コンピュータからプリンタの状態を確認したい

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態を確認できます。

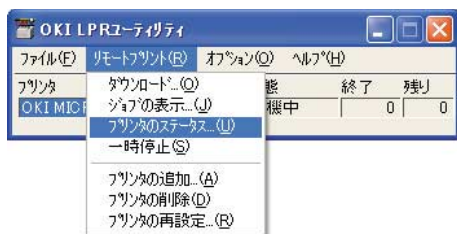
メモ　PrintSuperVision、ネットワークステータスモニタでも行うことができます。詳しくはユーザーズマニュアル（ネットワーク編）をご覧ください。

Web ブラウザを使う場合

注　TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Webブラウザを起動し、［アドレス］にプリンタのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

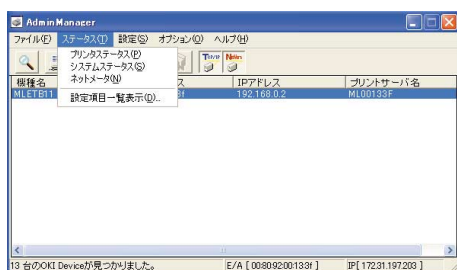
OKI LPR ユーティリティを使う場合

注　TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ OKI LPR ユーティリティを起動します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［プリンタのステータス...］または［ジョブの表示...］を選択します。

プリンタの表示パネルの内容が表示されます。

NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）を使う場合

注　TCP/IP または IPX/SPX でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ ［NIC セットアップユーティリティ（Admin Manager）］を起動します。

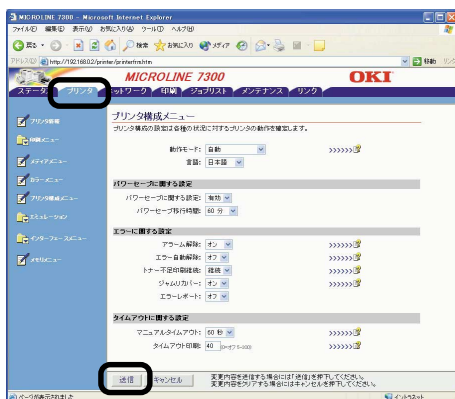
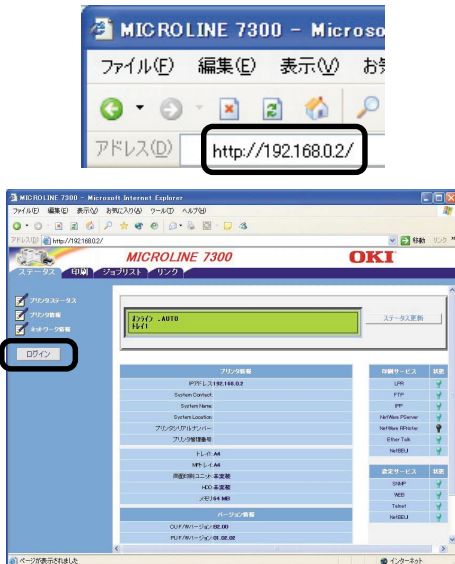
❷ ［ステータス］メニューの［プリンタステータス］を選択します。

プリンタステータス画面が表示されます。

コンピュータからプリンタの設定を変更したい

プリンタの設定の一部を変更することができます。

Web ブラウザを使う場合

注 TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Web ブラウザを起動します。

❷ ［アドレス］にプリンタの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。
「プリンタステータス」画面が表示されます。

❸ ［ログイン］をクリックします。

❹ ［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に「イーサネットアドレスの下 6 桁」を入力し、［OK］をクリックします。

メモ イーサネットアドレスは、メニューマップ印刷またはイーサネットボードの自己診断テスト印刷で確認できます。

❺ ［プリンタ］タブをクリックします。

❻ 左のフレームから設定変更したい項目をクリックします。

❼ 必要な変更をした後、［送信］をクリックします。

3章

プリンタ内蔵フォントを確認したい

プリンタに内蔵しているフォントを確認できます。

操作パネルを使う場合

プリンタに標準で内蔵しているフォント名を印刷します。

- A4 用紙以外で印刷を行うとすべての内容が印刷されないことがあります。
- プリントジョブアカウンティングで［ローカルプリント］が［印刷不可］または［カラー印刷不可］に設定されている場合には印刷できません。

❶ トレイに A4 用紙をセットします。

❷ 0 を数回押し、［インフォメーション　メニュー］を表示します。

❸ 1 または 5 を押し、［PCL　フォント　インサツ／ジッコウ］を表示します。

❹ 3 を押します。

フォント名が印刷されます。

パラレルインタフェースの転送モードを変更したい

コンピュータと転送モードを一致させる場合に変更してください。

双方向セントロを無効にするには

❶ 0 を数回押し、［セントロ　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、［ソウホウコウ　セントロ］を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、［ムコウ］を表示します。

❹ 3 を押し、値の右端に［＊］を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

❻ 電源を OFF/ON します。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

ECP を無効にするには

❶ 0 を数回押し、［セントロ　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、［ECP］を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、［ムコウ］を表示します。

❹ 3 を押し、値の右端に［＊］を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

❻ 電源を OFF/ON します。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

内蔵ハードディスクを初期化したい

内蔵ハードディスクを初期の状態に戻すことができます。
内蔵ハードディスクは3つのパーティションに分割されています。内蔵ハードディスクをイニシャライズすると、パーティションも分割し直します。特定のパーティションのみをフォーマットすることもできます。

メモ　内蔵ハードディスクのパーティションには［PCL］、［キョウツウ］、［キョウツウ］があります。

［PCL］
PCL モードのフォームを格納するエリアです。
［キョウツウ］
認証印刷、確認印刷でジョブを登録したり、エラーログを格納するエリアです。

注　内蔵ハードディスクを初期化すると、以下の内容が消去されます。初期化しても良いか十分検討してください。

- 確認印刷、認証印刷で登録したジョブ
- 登録したフォーム
- エラーログ

注　プリントジョブアカウンティングにプリンタがすでに追加されている場合は、内蔵ハードディスクの初期化をする前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタのハードディスクから一旦削除する必要があります。このため、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングからプリンタを削除してください。プリンタの削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

操作パネルを使う場合

イニシャライズ

1. 0 を数回押し、［DISK　メンテナンス］を表示します。
2. 1 または 5 を押し、［HDD　イニシャライズ／ジッコウ］を表示します。
3. 3 を押し、［ジッコウシマスカ？］を表示します。
4. 3 を押し、［スグニ　ジッコウシマスカ？］を表示します。
5. 3 を押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。

   注　ここで 7 を押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときにイニシャライズが行われます。

6. ［デンゲンヲ　オフシテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ］が表示されたら電源を OFF にします。
7. 電源を ON にします。イニシャライズが行われます。

特定のパーティションのフォーマット

❶ 0 を数回押し、［DISK　メンテナンス］を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、［HDD　フォーマット］を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、目的のパーティションを表示します。

❹ 3 を押し、［ジッコウシマスカ？］を表示します。

❺ 3 を押し、［スグニ　ジッコウシマスカ？］を表示します。

❻ 3 を押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。

注　ここで 7 を押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときにフォーマットが行われます。

❼ ［デンゲンヲ　オフシテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ］が表示されたら電源を OFF にします。

❽ 電源を ON にします。フォーマットが行われます。

OKI ストレージデバイスマネージャを使う場合

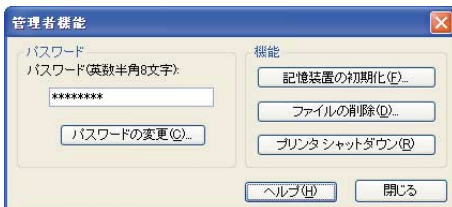
❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXP では［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷ ［プリンタの検索］画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸ ［閉じる］をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、［プリンタ］メニューから［管理者機能］を選択します。

❺ ［現在のパスワード］に管理者パスワードを入力します。デフォルトのパスワードは「PASSWORD」です。

❻ ［記憶装置の初期化］をクリックします。

❼ イニシャライズする場合は［ディスク全体の初期化］をクリックします。

特定のパーティションをフォーマットする場合はリストからフォーマットしたいパーティションを選択し、［パーティションの初期化］をクリックします。

パーティションの使用目的を変更する場合はリストからフォーマットしたいパーティションを選択し、［パーティションの使用用途］でパーティション種類を選択して［パーティションの初期化］をクリックします。

❽ 初期化確認画面で［はい］をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で［はい］をクリックします。

❿ 完了画面で［OK］をクリックします。

⓫ プリンタの電源をOFF/ONします。

プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい

プリンタの操作パネルから、プリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定できます。

注 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど、重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上、IP アドレスを設定してください。

メモ プリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、「NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）」で設定することもできます。「NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）」での設定方法は、ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）をご覧ください。

❶ (0) を数回押し、［NETWORK　MENU］を表示します。

❷ (1) または (5) を押し、［TCP/IP/ENABLE　＊］を表示します。

［TCP/IP/DISABLE　＊］と表示されている場合は、(2) または (6) を押して［TCP/IP/ENABLE］を表示し、(3) を押して値の右側に［＊］を付けます。

❸ (1) または (5) を押し、［IP　ADDRESS］を表示します。

❹ (2) または (6) を押し、IP アドレスの 1 桁目の値にします。

❺ (3) を押し、値の右端に［＊］を付けます。

❻ (1) を押し、IP アドレスの 2 桁目の値にカーソルを移動します。

以後、❸～❺を繰り返し、［SUBNET　MASK］（サブネットマスク）、［GATEWAY ADDRESS］（ゲートウェイアドレス）を設定します。

❼ (4) を押し、［オンライン］にします。（電源を入れなおす必要はありません。）

注 プリンタが設定した情報を保存します。最低 30 秒程度は電源を切らないでください。

ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確認したい

ハードディスクやフラッシュメモリの各パーティションの空き容量を確認することができます。

メモ 「OKIストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、28ページをご覧ください。

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXPでは［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［OKIストレージデバイスマネージャ］-［OKIストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷ ［プリンタの検索］画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸ ［終了］をクリックします。

❹ ［閉じる］をクリックします。

❺ 下のウィンドウでプリンタを選択し、［プリンタ］メニューから［リソースを表示する］を選択します。

❻ ハードディスクの場合は［DISK］を、フラッシュメモリの場合は［FLASH0］を選択します。

注 ハードディスクが搭載されていない場合は、［DISK］は表示されません。

❼ ［表示］メニューから［詳細］を選択します。

名前	サイズ	空き領域	ロケーション	用途
ボリューム 0:	2000576512	2000543744	HDD0	PCL
ボリューム 1:	5001453568	5001015296	HDD0	COMMON
ボリューム 2:	3000868864	3000811520	HDD0	COMMON

❽ 用途欄にパーティションの種別が表示され、空き容量欄にパーティションごとの空き容量がByte単位で表示されます。

ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確保したい

ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確保するにはいくつかの方法があります。

ハードディスクの場合

ハードディスクの不要なジョブを削除する

「確認印刷」、「認証印刷」または「プリンタに保存」指定をした印刷ジョブが、ハードディスクの「キョウツウ」パーティションに残ったままになっていると、ハードディスクの容量を圧迫します。これらのジョブを削除することによって、空き容量を確保することができます。「複数部数の文書を最初に確認してから印刷したい（確認印刷）」（59 ページ）、「パスワードを入力してから印刷したい（認証印刷）」（61 ページ）、「プリンタのハードディスクにジョブを保存して印刷したい」（64 ページ）をご覧ください。

「キョウツウ」パーティションの空き容量が確保されます。「PCL」パーティションの空き容量は変わりません。

ハードディスクのパーティションサイズを変更する

使用していないパーティションのサイズを小さくすることにより、目的のパーティションの空き容量を確保することができます。

パーティションのサイズを変更すると、以下の内容も消去されます。消去されてもよいか十分検討してください。

- ・「確認印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」で登録したジョブ
- ・登録したフォーム

プリントジョブアカウンティングにプリンタがすでに追加されている場合は、パーティションのサイズを変更する前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタのハードディスクから一旦削除する必要があります。このために、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングからプリンタを削除してください。プリンタの削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

❶ 0 を押し、［DISK　メンテナンス］を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、［パーティション　サイズ／ジッコウ］を表示します。

❸ 3 を押し、［PCL ／キョウツウ／キョウツウ］を表示します。

❹ 1 または 5 を押し、サイズを変更したいパーティションの下にカーソルを移動します。

❺ 2 または 6 を押し、サイズを変更します。サイズは全容量に対する割合（%）で指定します。

❻ 3 を押し、［ジッコウシマスカ？］を表示します。

❼ 3 を押し、［スグニ　ジッコウシマスカ？］を表示します。

❽ 3 を押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。

注 ここで 7 を押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときにサイズの変更が行われます。

❾ ［デンゲンヲ　オフシテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ］が表示されたら電源を OFF してください。

❿ 電源を ON にします。パーティションのサイズが変更されます。

ハードディスクの初期化をします

ハードディスクを初期の状態に戻すことができます。
ハードディスクの初期化を行う場合は、「内蔵ハードディスクを初期化したい」（108 ページ）をご覧ください。

フラッシュメモリの場合

フラッシュメモリの初期化をします

フラッシュメモリを初期の状態に戻すことができます。

フラッシュメモリを初期化すると、以下の内容も消去されます。消去されてもよいか十分検討してください。
・登録したフォーム

注 プリントジョブアカウンティングにプリンタがすでに追加されている場合は、フラッシュメモリを初期化する前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタのハードディスクから一旦削除する必要があります。このために、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングからプリンタを削除してください。プリンタの削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

❶ 0を押し、［メモリメニュー］を表示します。

❷ 1または5を押し、［FLASH イニシャライズ／ジッコウ］を表示します。

❸ 3を押し、［ジッコウシマスカ？］を表示します。

❹ 3を押し、［スグニ　ジッコウシマスカ？］を表示します。

❺ 3を押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。

注 ここで7を押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときにサイズの変更が行われます。

❻ ［デンゲンヲ　オフシテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ］が表示されたら電源を OFF してください。

❼ 電源を ON にします。初期化が実行されます。

3
章

～プリンタの設定項目について～

プリンタの設定項目一覧

「設定値」の網かけは初期の値です。
◎：プリンタドライバの設定が優先
○:プリンタの設定が優先またはプリンタで設定が必要
－：プリンタドライバ使用時は無効

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目（上段）	設定値（下段）		
インサツ　ジョブ メニュー*	パスワード セッテイ	****	認証印刷、確認印刷のパスワードを4桁の数字(0〜9)で設定します。 *：オプションのハードディスク装着時に表示。	○
	ジョブ セレクト	ジョブ　ナシ スベテノ　ジョブ （ファイル名）	印刷を行うジョブを設定します。 「ジョブナシ」以外は印刷可能なファイルがあるときに表示します。	○
インフォメーション メニュー 注: プリントジョブアカウンティングで［ローカルプリント］が［印刷不可］または［カラー印刷不可］に設定されている場合には印刷できません。	メニューマップ インサツ	ジッコウ	メニューリストを印刷します。	－
	ファイルリスト インサツ	ジッコウ	ジョブファイルリストを印刷します。	－
	PCL　フォント インサツ	ジッコウ	PCLのフォントリストを印刷します。	－
	DEMO1	ジッコウ	デモ印刷をします。	－
	エラーログ インサツ	ジッコウ	エラーログを印刷します。	－
シャットダウン メニュー*	シャットダウン スタート	ジッコウ	ファイルシステム保護のために電源オフシーケンスを行います。 *：オプションのハードディスク装着時に表示。	○
インサツ　メニュー	コピーマイスウ	1 ≀ 999	コピー枚数を設定します。	◎
	リョウメン インサツ*	オン オフ	両面印刷を指定します。 *：オプションの両面印刷ユニット装着時に表示。	◎
	トジカタ*	ヨコトジ タテトジ	両面印刷の綴じ方を指定します。 *：オプションの両面印刷ユニットを装着し、［リョウメン　インサツ］が［オン］のときに表示。	◎
	キュウシ　トレイ	トレイ1 トレイ2* トレイ3* MP　トレイ	給紙トレイを選択します。 *：トレイ2, 3は、オプションのセカンド/サードトレイユニット装着時に表示。	◎
	ジドウ　トレイ キリカエ	オン オフ	自動トレイ切替をするかどうか設定します。	◎
	トレイ　センタ クジュンジョ	シタ　ホウコウ ウエ　ホウコウ キュウシ　トレイ	自動トレイ選択/自動トレイ切り換え時の、選択順序を指定します。	○
	MP　トレイ　ノ ツカイカタ	トレイ　ト　シテ サイユウセン ヨウシチガイ　ノ　トキ シヨウシナイ	マルチパーパストレイの使い方を設定します。	○
	ヨウシチェック	ユウコウ ムコウ	用紙サイズのチェックをするかどうか設定します。	◎
	OHP　ケンシュツ	ユウコウ ムコウ	OHP自動検出機能の有効/無効を切り換えます。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目（上段）	設定値（下段）		
インサツ　メニュー	カイゾウド	600×1200DPI 600DPI	解像度を選択します。	◎
	トナーセーブモード	オン オフ	トナーセーブモードの有効/無効を切り替えます。	◎
	モノクロ　インサツ　ソクド	ジドウ カラー　インサツ　ソクド フツウ　インサツ　ソクド	モノクロ印刷速度を設定します。 ［カラー　インサツ　ソクド］はカラーの印刷速度になります。 ［フツウ　インサツ　ソクド］はモノクロの印刷速度になります。	○
	インサツ　ホウコウ	タテ ヨコ	印刷方向を設定します。	◎
	1ページ　ギョウスウ	5　ギョウ ～ 60　ギョウ ～ 64　ギョウ ～ 128　ギョウ	1ページに印刷できる行数を設定します。	−
	ヘンシュウ　サイズ	カセット　ヨウシ　サイズ LETTER EXECUTIVE LEGAL 14 LEGAL 13.5 LEGAL 13 A4 A5 A6 B5 カスタム COM-9　ENVELOPE COM-10　ENVELOPE MONARCH　ENVELOPE DL　ENVELOPE C5　ENVELOPE ハガキ オウフクハガキ フウトウ1 フウトウ2 フウトウ3 フウトウ4	コンピュータから用紙サイズを指定しなかった場合の用紙の編集サイズを設定します。［カセット　ヨウシ　サイズ］を選択すると、現在選択されているトレイの用紙サイズを編集サイズとします。	−
メディア　メニュー	トレイ1　メディアタイプ	フツウシ レターヘッド OHP ボンドシ サイセイシ アツガミ アライカミ コウタクシ	トレイ1の用紙種類を設定します。	◎

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目（上段）	設定値（下段）		
メディア　メニュー	トレイ1　メディウェイト	ジドウ ウスイカミ フツウシ ヤヤアツイカミ アツイカミ ヨリアツイカミ ゴクアツイカミ	トレイ1の用紙厚さを設定します。	◎
	トレイ2　メディアタイプ*	フツウシ レターヘッド ボンドシ サイセイシ アツガミ アライカミ コウタクシ	トレイ2の用紙種類を設定します。 *：オプションのセカンド/サードトレイユニット装着時に表示。	◎
	トレイ2　メディアウェイト*	ジドウ ウスイカミ フツウシ ヤヤアツイカミ アツイカミ ヨリアツイカミ ゴクアツイカミ	トレイ2の用紙厚さを設定します。 *：オプションのセカンド/サードトレイユニット装着時に表示。	◎
	トレイ3　メディアタイプ*	フツウシ レターヘッド ボンドシ サイセイシ アツガミ アライカミ コウタクシ	トレイ3の用紙種類を設定します。 *：オプションのセカンド/サードトレイユニット装着時に表示。	◎
	トレイ3　メディアウェイト*	ジドウ ウスイカミ フツウシ ヤヤアツイカミ アツイカミ ヨリアツイガミ ゴクアツイカミ	トレイ3の用紙厚さを設定します。 *：オプションのセカンド/サードトレイユニット装着時に表示。	◎
	MP　トレイヨウシサイズ	A4 A5 A6 B5 LEGAL14 LEGAL13.5 LEGAL13 LETTER EXECUTIVE カスタム COM-9　ENVELOPE　タテオクリ COM-10　ENVELOPE　タテオクリ MONARCH　ENVELOPE　タテオクリ DL　ENVELOPE　タテオクリ C5　ENVELOPE　タテオクリ ハガキ オウフクハガキ フウトウ1　タテオクリ フウトウ2　タテオクリ フウトウ3　タテオクリ フウトウ4　タテオクリ	マルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目（上段）	設定値（下段）		
メディア　メニュー	MP　トレイ　メディアタイプ	フツウシ レターヘッド OHP ラベルシ ボンドシ サイセイシ アツガミ アライカミ コウタクシ	マルチパーパストレイの用紙種類を設定します。	◎
	MP　トレイ　メディアウェイト	ジドウ ウスイカミ フツウシ ヤヤアツイカミ アツイカミ ヨリアツイカミ ゴクアツイカミ	マルチパーパストレイの用紙厚さを設定します。	◎
	カスタムヨウシ　サイズ	インチ ミリメートル	カスタム用紙を設定するときの単位を設定します。	◎
	ヨウシハバ　サイズ	76　ミリメートル ～ 210　ミリメートル ～ 216　ミリメートル	カスタム用紙の用紙幅を設定します。 「カスタムヨウシ　サイズ」で［インチ］を選択するとインチに換算した値になります。	◎
	ヨウシナガサ　サイズ	127　ミリメートル ～ 297　ミリメートル ～ 1200　ミリメートル	カスタム用紙の用紙長を設定します。 「カスタムヨウシ　サイズ」で［インチ］を選択するとインチに換算した値になります。	◎
カラー　メニュー	ジドウ　ノウド　ホセイ　モード	ジドウ シュドウ	濃度補正と階調補正を自動で行うか設定します。	○
	ノウド　ホセイ	ジッコウ	実行を選択すると、プリンタは直ちに濃度補正を行います。アイドル状態で実行してください。	○
	カラー　チョウセイ	パターン　インサツ	カラー調整パターンを印刷します。 注：プリントジョブアカウンティングで［ローカルプリント］が［印刷不可］または［カラー印刷不可］に設定されている場合には印刷できません。	○
	シアン　HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○
	シアン　MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○
	シアン　DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目（上段）	設定値（下段）		
カラー　メニュー	マゼンタ HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○
	マゼンタ　MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○
	マゼンタ　DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○
	イエロー HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○
	イエロー　MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○
	イエロー　DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○
	ブラック HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○
	ブラック　MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目（上段）	設定値（下段）		
カラー　メニュー	ブラック　DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○
	シアン　ノウド	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。	○
	マゼンタ　ノウド	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。	○
	イエロー　ノウド	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。	○
	ブラック　ノウド	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。	○
	ジドウ　イロズレ　ホセイ	ジッコウ	このメニューを実行すると、プリンタは自動色ずれ補正動作を実行します。アイドル状態で実行してください。	○
	シアン　イロズレ　ビチョウセイ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの画像位置ズレを微調整します。	○
	マゼンタ　イロズレ　ビチョウセイ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの画像位置ズレを微調整します。	○
	イエロー　イロズレ　ビチョウセイ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの画像位置ズレを微調整します。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目（上段）	設定値（下段）		
カラー　メニュー	UCR	スクナイ フツウ オオイ	カラー印刷するときの墨版（黒）の量を選択できます。墨版の量を多くすると他の3色のトナー量の節約にもなります。	○
	CMY　100%ノウド	ムコウ ユウコウ	CMY100%階調値に対する100%出力を有効とするかどうかを選択します。	○
システム　コウセイメニュー	パワーセーブイコウジカン	5　フン 15　フン 30　フン 60　フン 240　フン	省電力モードに入るまでの時間を設定します。	○
	アラーム　カイジョ	オン ジョブ	復旧可能エラー表示の解除タイミングを設定します。 ［オン］は「オンライン」スイッチを押すまでエラーを表示します。［ジョブ］は次のジョブを受信するまでエラーを表示します。	○
	エラー　ジドウカイジョ	オン オフ	メモリオーバフロー発生時、自動的にプリンタを復旧させるかを設定します。	○
	マニュアルタイムアウト	60　ビョウ 30　ビョウ オフ	手差し印刷時の用紙がセットされるのを待つ時間を設定します。	○
	タイムアウトインサツ	オフ 5　ビョウ ～ 40　ビョウ ～ 300　ビョウ	データを受信しなくなってから強制印刷するまでの時間を設定します。	○
	トナーフソクインサツケイゾク	ケイゾク チュウシ	［トナー　フソク］が表示されたときに印刷を継続させるかどうか設定します。 チュウシの場合は［***　トナーフソク］（***はトナー色）が表示されるとオフライン状態になります。	○
	ジャム　リカバー	オン オフ	紙づまりの後、つまったページから印刷するかどうか設定します。	○
	ゲンゴ	ニホンゴ エイゴ	操作パネルの表示言語を設定します。	○

3章

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目（上段）	設定値（下段）		
PCL　エミュレーション	ショウ　フォント	ナイゾウ　フォント DIMMOフォント ダウンロード　フォント	使用するフォントの場所を指定します。［ダウンロードフォント］はRAMにフォントがダウンロードされている場合に表示されます。	－
	フォント　No.	I000 〜 C001 〜	使用するフォントの番号を選択します。	－
	フォント　ピッチ	0.44 CPI 〜 10.00 CPI 〜 99.99 CPI	フォントの幅を設定します。 （単位：character/inch） ［フォントNo.］で選択されたフォントが固定スペーシングのアウトラインフォントの場合に表示されます。	－
	フォント　サイズ	4.00　ポイント 〜 12.00　ポイント 〜 999.75　ポイント	フォントの高さを設定します。 （単位：ポイント） ［フォントNo.］で選択されたフォントが比例スペーシングのアウトラインフォントの場合に表示されます。	－
	シンボルセット	WIN3.1J 〜	シンボルセットを選択します。	－
	A4　インジ　ハバ	78　ケタ 80　ケタ	A4用紙の自動改行する桁数を設定します。	－
	ハクシ　ページジョガイ	オフ オン	空白ページを印刷しないようにするか設定します。	－
	CR　ドウサ	CR　ノミ CR+LF	CRコード受信時の動作を設定します。	－
	LF　ドウサ	LF　ノミ LF+CR	LFコード受信時の動作を設定します。	－
	インサツ　リョウイキ	ノーマル 1/5　インチ 1/6　インチ	用紙の印刷不可能領域を設定します。	－
	イメージ　クロ　センタク	コンゴウ　クロ タンショク　クロ	イメージデータの黒をCMYK混色で印刷するか、ブラックトナーのみで印刷するか設定します。	◎
	ペンハバ　ホセイ	オン オフ	細い線を見えるように補正します。	◎
セントロ　メニュー	セントロ	ユウコウ ムコウ	パラレルインタフェースの有効／無効を設定します。	○
	ソウホウコウセントロ	ユウコウ ムコウ	双方向通信の有効／無効を設定します。	○
	ECP	ユウコウ ムコウ	ECPモードの有効／無効を設定します。	○
	ACK　ハバ	セマイ フツウ ヒロイ	互換モードのACK幅を設定します。	○
	ACK/BUSY　タイミング	ACK IN BUSY ACK WHILE BUSY	互換モードのBUSY信号とACK信号の出力順序を設定します。	○
	I-PRIME	3　マイクロビョウ 50　マイクロビョウ ムコウ	I-PRIME信号の有効時間／無効を設定します。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目（上段）	設定値（下段）		
USB　メニュー	USB	ユウコウ ムコウ	USBインタフェースの有効／無効を設定します。	○
	ソフト　リセット	ユウコウ ムコウ	ソフトリセットコマンドの有効／無効を設定します。	○
NETWORK MENU	TCP/IP	ENABLE DISABLE	TCP/IPプロトコルの有効/無効を設定します。	○
	NETBEUI	ENABLE DISABLE	NetBEUIプロトコルの有効/無効を設定します。	○
	NETWARE	ENABLE DISABLE	NetWareプロトコルの有効/無効を設定します。	○
	FRAME TYPE	AUTO 802.2 802.3 ETHERNETII SNAP	フレームタイプを設定します。	○
	IP ADDRESS SET	AUTO MANUAL	IPアドレスの設定方法を設定します。 TCP/IPがDISABLEの場合は表示されません。	○
	IP ADDRESS	192.168.100.100	IPアドレスを設定します。 TCP/IPがDISABLEの場合は表示されません。 初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○
	SUBNET MASK	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。 TCP/IPがDISABLEの場合は表示されません。 初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○
	GATEWAY ADDRESS	192.168.100.254	ゲートウェイアドレスを設定します。 TCP/IPがDISABLEの場合は表示されません。 初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○
	INITIALIZE NIC？	EXECUTE	ネットワークメニューの初期化を行うかを指定します。	○
	WEB/IPP	ENABLE DISABLE	WEB/IPPの有効/無効を設定します。	○
	TELNET	ENABLE DISABLE	TELNETの有効/無効を設定します。	○
	FTP	ENABLE DISABLE	FTPの有効/無効を設定します。	○
	SNMP	ENABLE DISABLE	SNMPの有効/無効を設定します。	○
	LAN	NORMAL SMALL	NORMAL：一般にはこの設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが2,3台の小さなLANに接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL：コンピュータが2,3台の小さなLANから大型のLANまで対応しますが、スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。	○
	HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	HUB LINK SETTINGを設定します。	○

3章

カテゴリ	操作パネル表示		内 容	Win
	設定項目（上段）	設定値（下段）		
メモリ メニュー	ジュシン バッファ サイズ	ジドウ 0.5MB 1MB 2MB 4MB 8MB 16MB 32MB	受信バッファサイズを設定します。 装着しているメモリ容量により設定値が異なります。	○
	FLASH イニシャライズ	ジッコウ	FLASHメモリのイニシャライズを行います。	○
DISK メンテナンス* *1：プリントジョブアカウンティングで「HDD/FLASHの初期化を禁止する」に設定している場合は非表示。 *2：オプションのハードディスク装着時に表示。	HDD イニシャライズ	ジッコウ	ハードディスクのパーティション分割を行い、各パーティションをフォーマットします。	○
	パーティションサイズ	ジッコウ	パーティションサイズの変更を行います。	○
	PCL/キョウツウ/キョウツウ	nnn%/ mmm% lll%	変更後のパーティションサイズを割合で指定します。	○
	HDD フォーマット	PCL キョウツウ キョウツウ	指定パーティションのフォーマットを行います。	○
システム ホセイ メニュー	X ホセイ	0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル 〜 +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル 〜 -0.25 ミリメートル	全体の印刷位置を0.25mm単位で横方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○
	Y ホセイ	0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル 〜 +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル 〜 -0.25 ミリメートル	全体の印刷位置を0.25mm単位で縦方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○
	リョウメンインサツ X ホセイ	0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル 〜 +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル 〜 -0.25 ミリメートル	両面印刷の裏面全体の印刷位置を0.25mm単位で横方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○
	リョウメンインサツ Y ホセイ	0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル 〜 +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル 〜 -0.25 ミリメートル	両面印刷の裏面全体の印刷位置を0.25mm単位で縦方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○
	トレイ1 リーガル14 ヨウシ	LEGAL14 LEGAL13.5	トレイ1のリーガル用紙のサイズを設定します。	○
	トレイ1 A5/A6 ヨウシ	A5/A6 ハガキ	トレイ1のA5/A6用紙または往復はがき/はがきを設定します。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目（上段）	設定値（下段）		
システム　ホセイ　メニュー	トレイ2　リーガル14　ヨウシ*	LEGAL 14 LEGAL 13.5	トレイ2のリーガル用紙のサイズを設定します。 *：オプションのセカンド/サードトレイユニット装着時に表示。	○
	トレイ3　リーガル14　ヨウシ*	LEGAL 14 LEGAL 13.5	トレイ3のリーガル用紙のサイズを設定します。 *：オプションのセカンド/サードトレイユニット装着時に表示。	○
	PCL　トレイ2　ID#*	1 ∫ 5 ∫ 59	PCLコマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ2指定の#を指定します。 *：オプションのセカンド/サードトレイユニット装着時に表示。	○
	PCL　トレイ3　ID#*	1 ∫ 20 ∫ 59	PCLコマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ3指定の#を指定します。 *：オプションのセカンド/サードトレイユニット装着時に表示。	○
	PCL　MP　トレイ　ID#	1 ∫ 4 ∫ 59	PCLコマンドでの給紙先指定コマンドで、マルチパーパストレイ指定の#を指定します。	○
	ドラムクリーニング	オフ オン	印刷前にイメージドラムのクリーニング動作を行います。画質改善の効果がある場合があります。	◎
	ヘキサ　ダンプ	ジッコウ	16進ダンプで印刷します。16進ダンプの印刷を終了するには、電源をOFFにします。	○
メンテナンス　メニュー	EEPROM　リセット	ジッコウ	メニューの設定値を初期化します。	○
	メニュー　セッテイヲ　ホゾン	ジッコウ	現在のメニュー設定を保存します。	○
	ホゾンシタ　メニュー　セッテイニモドス	ジッコウ	保存しているメニュー設定に変更します。（保存しているメニュー設定があるときに表示されます。）	○
	パワーセーブ　キノウ	ユウコウ ムコウ	印刷しないとき、省電力状態にするどうか設定します。省電力状態に移行するまでの時間は［システムコウセイメニュー］の［パワーセーブ　イコウジカン］で設定します。	○
	フツウシ　ブラック　セッティング	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。かすれる場合に値を変更します。	○
	フツウシ　カラー　セッティング	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。かすれる場合に値を変更します。	○
	OHP　ブラック　セッティング	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。OHPシートに印刷してかすれる場合に値を変更します。	○
	OHP　カラー　セッティング	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。OHPシートに印刷してかすれる場合に値を変更します。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目（上段）	設定値（下段）		
ジュミョウ　メニュー	トータル　ページ　カウント	nnnnnn	総印刷枚数を表示します。	○
	トレイ1　ページ　カウント	nnnnnn	トレイ1の総印刷枚数を表示します。	○
	トレイ2　ページ　カウント*	nnnnnn	トレイ2の総印刷枚数を表示します。 *：オプションのセカンド/サードトレイユニット装着時に表示。	○
	トレイ3　ページ　カウント*	nnnnnn	トレイ3の総印刷枚数を表示します。 *：オプションのセカンド/サードトレイユニット装着時に表示。	○
	MPトレイ　ページ　カウント	nnnnnn	マルチパーパストレイの総印刷枚数を表示します。	○
	カラー　ページ　カウント	nnnnnn	カラーページ印刷を行ったページ数を表示します。	○
	モノクロ　ページ　カウント	nnnnnn	モノクロページ印刷を行ったページ数を表示します。	○
	ブラック　ドラム　ユニット	ノコリ　××%	黒のドラムの残り寿命を表示します。	○
	シアン　ドラム　ユニット	ノコリ　××%	シアンのドラムの残り寿命を表示します。	○
	マゼンタ　ドラム　ユニット	ノコリ　××%	マゼンタのドラムの残り寿命を表示します。	○
	イエロー　ドラム　ユニット	ノコリ　××%	イエローのドラムの残り寿命を表示します。	○
	ベルト ユニット	ノコリ　××%	ベルトの残り寿命を表示します。	○
	テイチャクキ　ユニット	ノコリ　××%	定着器の残り寿命を表示します。	○
	ブラック　トナー　ザンリョウ	10K=xxx% 5K=xxx%	黒のトナーの残量を表示します。	○
	シアン　トナー　ザンリョウ	10K=xxx% 5K=xxx%	シアンのトナーの残量を表示します。	○
	マゼンタ　トナー　ザンリョウ	10K=xxx% 5K=xxx%	マゼンタのトナーの残量を表示します。	○
	イエロー　トナー　ザンリョウ	10K=xxx% 5K=xxx%	イエローのトナーの残量を表示します。	○

＊ トナー残量は目安です。10Kは大容量トナーカートリッジ、5Kは通常のトナーカートリッジを示します。イメージドラムカートリッジの交換時に使用途中のトナーカートリッジを付けると、正しい残量は表示されません。

現在の設定を確認します（メニューマップ印刷）

❶ トレイに A4 用紙をセットします。

❷ (0) を数回押し、［インフォメーション　メニュー］を表示します。

❸ (1) または (5) を押し、［メニューマップ　インサツ／ジッコウ］を表示します。

❹ (3) を押します。

メニューマップ印刷が開始されます。

注 プリントジョブアカウンティングで［ローカルプリント］が［印刷不可］または［カラー印刷不可］に設定されている場合には、印刷できません。

（サンプル）

MenuMap　　MICROLINE 7300

Printer Serial Number:N30515　04 012 B0329223
CU version:t0605 [I00.64 S2.2.5h B02.39(FB) PPC750CXe 450MHz 00083214 00020010 F32 J0]
PU version:00.00.81 [PI02.09 LO00.08.13 DU00.71.65]
PCL Program version:01.26 [04.16 X00.27 P F]
Total Memory Size:128 MB　トレイ1:A4 縦送り　DIMM Slot A:CU Program ROM
Flash Memory:4 MB [F32]　DIMM Slot B:Heisei font [PCL:04.01]
HDD:uninstalled
JP1
C:0 M:0 Y:0 K:0

インフォメーションメニュー

項目	設定
メニューマップ印刷	
ファイルリスト印刷	
PCLフォント印刷	
DEMO1	
エラーログ印刷	

印刷メニュー

項目	設定
コピー枚数	1
両面印刷	オフ
給紙トレイ	トレイ1
自動トレイ切り替え	オン
トレイ選択順序	下方向
MPトレイの使い方	用紙違いの時
用紙チェック	有効
OHP 検出	有効
解像度	600DPI
トナーセーブモード	オフ
モノクロ印刷速度	自動
印刷方向	縦
1ページ行数	64 行
編集サイズ	カセット用紙サイズ

メディアメニュー

項目	設定
トレイ1用紙タイプ	普通紙
トレイ1用紙厚	自動
MPトレイ用紙サイズ	A4 縦送り
MPトレイ用紙タイプ	普通紙
MPトレイ用紙厚	自動
用紙サイズ設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル

カラーメニュー

項目	設定
自動濃度補正モード	自動
濃度補正	
カラー調整	
シアン HIGHLIGHT	0
シアン MID-TONE	0
シアン DARK	0
マゼンタ HIGHLIGHT	0
マゼンタ MID-TONE	0
マゼンタ DARK	0
イエロー HIGHLIGHT	0
イエロー MID-TONE	0
イエロー DARK	0
ブラック HIGHLIGHT	0
ブラック MID-TONE	0
ブラック DARK	0
シアン濃度	0
マゼンタ濃度	0
イエロー濃度	0
ブラック濃度	0
自動色ずれ補正	
シアン位置ずれ微調整	0
マゼンタ位置ずれ微調整	0
イエロー位置ずれ微調整	0
UCR	少ない
CMY100%濃度	無効

システム構成メニュー

項目	設定
パワーセーブ移行時間	60 分
アラーム解除	オン
エラー自動解除	オフ
マニュアルタイムアウト	60 秒
タイムアウト印刷	40 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
言語	日本語

PCL エミュレーション

項目	設定
使用フォント	DIMM0 フォント
フォントNo.	C001
フォントサイズ	12.00 ポイント
シンボルセット	WIN3.1J
A4印字幅	78 桁
白紙ページ除外	オフ
CR 動作	CR のみ
LF 動作	LF のみ
印刷領域	ノーマル
イメージ黒選択	混合黒
ペン幅補正	オン

セントロ メニュー

項目	設定
セントロ	有効
双方向セントロ	有効
ECP	有効
ACK幅	狭い
ACK/BUSYタイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効

USBメニュー

項目	設定
USB	有効
ソフトリセット	無効

メモリメニュー

項目	設定
受信バッファサイズ	自動
FLASH イニシャライズ	

設定値を変更します

❶ ⓪ を押し、設定する「カテゴリ」を表示します。

❷ ① または ⑤ を押し、設定する「項目」を表示します。

❸ ② または ⑥ を押し、「設定値」を表示します。

❹ ③ を押し、設定値の右側に［＊］を付けます。

メモ　FLASH イニシャライズ、HDD イニシャライズ、パーティション、HDD フォーマットの設定値の変更では「ジッコウシマスカ？」と表示されます。実行してもよいかもう一度ご確認ください。
実行する場合は ③ を押します。続いて「スグニジッコウシマスカ？」と表示されます。
実行する場合は ③ を押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。［デンゲンヲ　オフシテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ］が表示されたら電源を OFF/ON します。各変更が行われます。

❺ ④ を押し、［オンライン］にします。

注　「セントロメニュー」、「USB メニュー」、「NETWORK MENU」カテゴリの設定値を変更したときは、電源を OFF/ON してください。

現在のメニュー設定を保存します

プリンタの操作パネルでの設定を保存できます。

❶ (0) を数回押し、[メンテナンス　メニュー] を表示します。

❷ (1) または (5) を押し、[メニュー　セッテイヲ　ホゾン／ジッコウ] を表示します。

❸ (3) を押し、[ジッコウシマスカ?] を表示します。

❹ (3) を押します。

設定値が保存されます。

3 章

メモ　現在の設定を、保存されている設定に変更することができます。

❶ (0) を数回押し、[メンテナンス　メニュー] を表示します。

❷ (1) または (5) を押し、[ホゾンシタ　メニュー　セッテイニ　モドス／ジッコウ] を表示します。

❸ (3) を押し、[ジッコウシマスカ?] を表示します。

❹ (3) を押します。

設定値が、保存されている設定に変更されます。

設定値を初期化します

❶ 0 を数回押し、[メンテナンス　メニュー] を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、[EEPROM　リセット／ジッコウ] を表示します。

❸ 3 を押します。

注 「NETWORK MENU」カテゴリの初期化はカテゴリ内の [INITIALIZE] で行ってください。

4 困ったときには

操作パネルのメッセージ

プリンタの操作パネルに表示されるメッセージと対処方法を説明します。
ここで説明する処置をしても良くならない場合は、お客様相談センター（セットアップ編）へご連絡ください。

ｍｍｍ：用紙サイズ
ｐｐｐ：メディアタイプ

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ nnn	パネル表示	内　容
－	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	操作パネルのテストを行っています。しばらくお待ちください。
－	ＲＡＭ チェックチュウ *************************	RAM のチェック中です。
－	イニシャルチュウ	プリンタの初期化中です。
－	インサツチュウ	印刷しています。
－	オフライン	オフラインです。印刷する場合は ④（オンライン）スイッチを押してオンラインにしてください。
－	オンライン	オンラインです。印刷データを受信できます。
－	ショリチュウ	データ受信中または受信したデータを処理しています。
－	テ゛ ータ クリアチュウ	受信したデータをキャンセルしてます。 （103 ページ参照）
－	テ゛ ータ クリアチュウ（インサツキョカナシ）	プリントジョブアカウンティングで印刷が許可されていないユーザからジョブが送信され、ジョブがキャンセルされました。 (1) 使用制限で印刷不可が設定されているユーザのジョブ (2) 使用制限でカラー印刷不可が設定されているユーザのカラージ ョブ (3) 設定された制限値を超えたユーザのジョブ "
－	テ゛ ータ クリアチュウ（シ゛ ャム）	受信したデータをキャンセルしてます。（紙づまり復旧後の動作）
－	テ゛ ータ クリアチュウ（ハ゛ ッファフル）	プリントジョブアカウンティングのログフル時の操作が「ジョブをキャンセルする」に設定されているとき、ログを格納する領域が足りなくなり、ジョブがキャンセルされました。
－	テ゛ ータ シ゛ ュシンチュウ	データ受信中です。
－	テ゛ ータ アリ	受信したデータが残っています。次に送られてくるデータを待っています。
－	コヒ゜ ー nnn/mmm	コピー部数が 2 部以上のとき、現在印刷しているコピー部数を表示します。
－	チョウアイ ｉｉｉ ／ｊｊｊ	丁合印刷をしています。 （58 ページ参照）
－	カラー チョウセイチュウ	色ずれ調整中です。
－	ウォーミンク゛ アップ゜	ウォーミングアップ動作中です。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ nnn	パネル表示	内　容
ー	クーリンク゛ タ゛ ウン	クーリングダウン中です。
ー	ノウト゛ ホセイチュウ	自動濃度補正中です。
ー	ハ゜ ワーセーフ゛	省電力モード中です。（100 ページ参照）
ー	ファイル アクセスチュウ	ファイルシステムへのアクセス中です。または、プリントジョブアカウンティングでハードディスクやフラッシュメモリにアクセスしています。ハードディスクやフラッシュメモリが破損する場合がありますので、表示中は電源を OFF しないでください。
ー	ヨウシアツ ニンシキチュウ	用紙厚検知中です。
ー	イエロー　トナーセンサー エラー	トナーセンサーに異常が発生しています。イエローのトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。（セットアップ編を参照）
ー	マゼンタ　トナーセンサー エラー	トナーセンサーに異常が発生しています。マゼンタのトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。（セットアップ編を参照）
ー	シアン　トナーセンサー エラー	トナーセンサーに異常が発生しています。シアンのトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。（セットアップ編を参照）
ー	ブラック　トナーセンサー エラー	トナーセンサーに異常が発生しています。黒のトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。（セットアップ編を参照）
ー	イエロー　トナーコウカン シ゛ュンヒ゛	トナー残量が少なくなっています。イエローの新しいトナーカートリッジを準備してください。（セットアップ編を参照）
ー	マゼンタ　トナーコウカン シ゛ュンヒ゛	トナー残量が少なくなっています。マゼンタの新しいトナーカートリッジを準備してください。（セットアップ編を参照）
ー	シアン　トナーコウカン シ゛ュンヒ゛	トナー残量が少なくなっています。シアンの新しいトナーカートリッジを準備してください。（セットアップ編を参照）
ー	ブラック　トナーコウカン シ゛ュンヒ゛	トナー残量が少なくなっています。黒の新しいトナーカートリッジを準備してください。（セットアップ編を参照）
ー	イエロー　ト゛ラムコウカン シ゛ュンヒ゛	イメージドラムカートリッジの寿命が近づいています。イエローの新しいドラムを準備してください。（セットアップ編を参照）
ー	マゼンタ　ト゛ラムコウカン シ゛ュンヒ゛	イメージドラムカートリッジの寿命が近づいています。マゼンタの新しいドラムを準備してください。（セットアップ編を参照）
ー	シアン　ト゛ラムコウカン シ゛ュンヒ゛	イメージドラムカートリッジの寿命が近づいています。シアンの新しいドラムを準備してください。（セットアップ編を参照）
ー	ブラック　ト゛ラムコウカン シ゛ュンヒ゛	イメージドラムカートリッジの寿命が近づいています。黒の新しいドラムを準備してください。（セットアップ編を参照）
ー	MP トレイ ヨウシカ゛ アリマセン	トレイに用紙がありません。必要に応じて用紙を補充してください。
ー	トレイ 1 ヨウシカ゛ アリマセン	トレイに用紙がありません。必要に応じて用紙を補充してください。
ー	トレイ 2 ヨウシカ゛ アリマセン	トレイに用紙がありません。必要に応じて用紙を補充してください。
ー	トレイ 3 ヨウシカ゛ アリマセン	トレイに用紙がありません。必要に応じて用紙を補充してください。
ー	トレイ 1 ヨウシ マモナク オワリマス	トレイの用紙がまもなく無くなります。
ー	トレイ 2 ヨウシ マモナク オワリマス	トレイの用紙がまもなく無くなります。
ー	トレイ 3 ヨウシ マモナク オワリマス	トレイの用紙がまもなく無くなります。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ nnn	パネル表示	内　容
–	キョカサレナイ ID. インサツトリケシ	プリントジョブアカウンティングで「データ クリアチュウ（インサツキョカナシ）」によりジョブがキャンセルされた後、表示されます。④（オンライン）スイッチを押すまで表示され続けます。
–	ジ゛ヨフ゛ オフセット ホーム エラー	ジョブオフセットホーム検出センサに異常が発生しています。ジョブオフセット機能が使えません。
–	チョウアイ エラー：ヘ゜ージ゛カ゛ オオスギ゛マス	丁合印刷のためのメモリが不足しています。
–	デ゛ィスク オヘ゜レーション エラー ｎｎ	内蔵ハードディスクに不正なアクセスがありました。
–	デ゛ィスク カキコミキンシ	内蔵ハードディスクに書き込めません。
–	デ゛ィスクファイルシステム フル	内蔵ハードディスクがいっぱいです。
–	テイチャクキヲ コウカンシテクダ゛サイ	定着器ユニットの交換時期です。定着器ユニットを交換してください。（15 ページ参照）
–	ヘ゛ルト コウカン ジュンビ	ベルトユニットの寿命が近づいています。ベルトユニットを準備してください。（12 ページ参照）
–	ヨウシアツ キテイカ゛イ	用紙厚センサーの測定値が規定外です。定着が正常に行われないことがあります。再度印刷を行い、繰り返し発生するようであればお客様相談センター（セットアップ編）へご連絡ください。もしくはマニュアルモードでご使用ください。
–	ヨウシセンサ キテイカ゛イ	用紙厚センサーの自動初期化時にエラーが発生しました。定着が正常に行われないことがあります。再度印刷を行い、繰り返し発生するようであればお客様相談センター（セットアップ編）へご連絡ください。もしくはマニュアルモードでご使用ください。
–	ロク゛ハ゛ッファフル . インサツトリケシ	プリントジョブアカウンティングで「データ クリアチュウ（バッファフル）」によりジョブがキャンセルされた後、表示されます。④（オンライン）スイッチを押すまで表示され続けます。
–	オンラインSW ヲ オシテクダ゛サイ ムコウデ゛ータ	無効データを受信しました。④（オンライン）スイッチを押してください。
–	ｍｍｍ ヲ MP トレイニ イレテ オンライン スイッチヲ オシテクダ゛サイ	手差し印刷を行います。表示されているサイズの用紙をマルチパーパストレイに入れて、④（オンライン）スイッチを押してください。
126	デ゛ンケ゛ンヲキリ シハ゛ラク オマチクダ゛サイ 126 ：ケツロ エラー	装置が結露しています。電源を切り、しばらく放置してください。（セットアップ編を参照）
310	カハ゛ーヲ シメテクダ゛サイ 310 ：トップ カハ゛ーオープ゜ン	カバーが開いています。印刷をするときはカバーを閉めてください。
311	カハ゛ーヲ シメテクダ゛サイ 311 ：フロントカハ゛ーオープ゜ン	カバーが開いています。印刷をするときはカバーを閉めてください。
320	テイチャクキヲ セットシナオシテクダ゛サイ 320 ：テイチャクキ エラー	定着器ユニットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。（15 ページ）
321	デ゛ンケ゛ンヲキリ シハ゛ラク オマチクダ゛サイ 321 ：MOTOR OVERHEAT	モータ過熱エラーです。電源を切り、しばらく放置してください。
325	カハ゛ーカイヘイ シテクダ゛サイ 325 ：ヨウシアツ エラー	用紙厚センサーエラーです。トップカバーを開閉してください。規定外の用紙厚さを検出しました。用紙を確認してください。
326	カハ゛ーカイヘイ シテクダ゛サイ 326 ：ヨウシアツ エラー	用紙厚センサーエラーです。トップカバーを開閉してください。極厚い紙印刷中に規定外の用紙厚さを検出しました。用紙を確認してください。
330	ヘ゛ルトヲ セットシナオシテクダ゛サイ 330 ：ヘ゛ルト エラー	ベルトユニットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。（12 ページ参照）
340	ト゛ラムヲ セットシナオシテクダ゛サイ 340 ：イエロー ト゛ラム エラー	イエローイメージドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。（セットアップ編を参照）

注　寒いところから暖かい室内へプリンタを搬入した場合などに、外気温とプリンタの装置温度の違いによって、プリンタ内部に結露が発生する場合があります。
操作パネルに結露メッセージが表示された場合は電源を切って、プリンタが室温に馴染むまで、数時間から半日程度放置後、電源を入れてください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ nnn	パネル表示	内　容
341	ト゛ラムヲ セットシナオシテクタ゛サイ 341 ：マゼンタ ト゛ラム エラー	マゼンタイメージドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。 （セットアップ編を参照）
342	ト゛ラムヲ セットシナオシテクタ゛サイ 342 ：シアン ト゛ラム エラー	シアンイメージドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。 （セットアップ編を参照）
343	ト゛ラムヲ セットシナオシテクタ゛サイ 343 ：ブラック ト゛ラム エラー	黒イメージドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。　（セットアップ編を参照）
350	アタラシイ ト゛ラムヲ イレテクタ゛サイ 350 ：イエロー ト゛ラム シ゛ュミョウ	イエローイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。 （セットアップ編を参照）
351	アタラシイ ト゛ラムヲ イレテクタ゛サイ 351 ：マゼンタ ト゛ラム シ゛ュミョウ	マゼンタイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。 （セットアップ編を参照）
352	アタラシイ ト゛ラムヲ イレテクタ゛サイ 352 ：シアン ト゛ラム シ゛ュミョウ	シアンイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。 （セットアップ編を参照）
353	アタラシイ ト゛ラムヲ イレテクタ゛サイ 353 ：ブラック ト゛ラム シ゛ュミョウ	黒イメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。 （セットアップ編を参照）
355	アタラシイ　ベルトヲ　イレテクダサイ 355：ベルト ジュミョウ	ベルトユニットの交換時期です。ベルトユニットを交換してください。　（12 ページ参照）
356	アタラシイ　ベルトヲ　イレテクダサイ 356：ベルト ジュミョウ	ベルトユニットの交換時期です。ベルトユニットを交換してください。　（12 ページ参照）
370	チェック DUPLEX 370 ：ヨウシ シ゛ャム	両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しました。つまった用紙を取り除いてください。奥の方に用紙があります。
371	チェック DUPLEX 371 ：ヨウシ シ゛ャム	両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しました。つまった用紙を取り除いてください。中心付近に用紙があります。
372	チェック DUPLEX 372 ：ヨウシ シ゛ャム	両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しました。つまった用紙を取り除いてください。手前の方に用紙があります。
380	フロント カハ゛ーヲ アケテクタ゛サイ 380：ヨウシ シ゛ャム	用紙走行中に紙づまりが発生しました。サイドカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。MP トレイ付近で紙づまりが発生している場合もあります。
381	トップ カハ゛ーヲ アケテクタ゛サイ 381：ヨウシ シ゛ャム	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。ドラムの下に用紙があります。
382	トップ カハ゛ーヲ アケテクタ゛サイ 382：ヨウシ シ゛ャム	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。定着器付近に用紙があります。
383	トップ カハ゛ーヲ アケテクタ゛サイ 383：ヨウシ シ゛ャム	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。定着器から両面印刷ユニット入り口付近に用紙があります。
390	チェック MP トレイ 390 ：ヨウシ シ゛ャム	トレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。つまった用紙を取り除いてください。
391	チェック トレイ 1 391 ：ヨウシ シ゛ャム	トレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。つまった用紙を取り除いてください。
392	チェック トレイ 2 392 ：ヨウシ シ゛ャム	トレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。つまった用紙を取り除いてください。
393	チェック トレイ 3 393 ：ヨウシ シ゛ャム	トレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。つまった用紙を取り除いてください。
400	トップカハ゛ーヲ アケテクタ゛サイ 400 ：ヨウシサイス゛ エラー	用紙のサイズが違っています。トップカバーを開けて用紙を取り除き、正しいサイズの用紙を入れてください。
401	トップカハ゛ーヲ アケテクタ゛サイ 401 ：ヨウシ シ゛ュウソウ	用紙が何枚か重なって給紙されています。トップカバーを開けて用紙を取り除いてください。
410	トナーヲ イレテクタ゛サイ 410 ：イエロー	イエロートナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けるとイメージドラムカートリッジの故障の原因になります。 （セットアップ編を参照）

エラーコード nnn	パネル表示	内　容
411	トナーヲ イレテクダ゛サイ 411 ：マゼンタ	マゼンタトナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けるとイメージドラムカートリッジの故障の原因になります。 （セットアップ編を参照）
412	トナーヲ イレテクダ゛サイ 412 ：シアン	シアントナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けるとイメージドラムカートリッジの故障の原因になります。（セットアップ編を参照）
413	トナーヲ イレテクダ゛サイ 413 ：ブラック	黒トナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けるとイメージドラムカートリッジの故障の原因になります。（セットアップ編を参照）
420	メモリーヲ ツイカシテクダ゛サイ 420 ：メモリーオーハ゛ーフロー	メモリ不足です。④（オンライン）スイッチを押してください。必要に応じて増設メモリをお求めください。
430	カセットヲ イレテクダ゛サイ 430 ：トレイ 1 カ゛ アリマセン	トレイのカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
431	カセットヲ イレテクダ゛サイ 431 ：トレイ 2 カ゛ アリマセン	トレイのカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
432	カセットヲ イレテクダ゛サイ 432 ：トレイ 3 カ゛ アリマセン	トレイのカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
440	カセットヲ イレテクダ゛サイ 440 ：トレイ 1 カ゛ アイテイマス	トレイのカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
441	カセットヲ イレテクダ゛サイ 441 ：トレイ 2 カ゛ アイテイマス	トレイのカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
450	ヨウシヲ トリノゾ゛イテクダ゛サイ 450 ：トレイ 1 キテイカ゛イ サイズ゛	トレイで使用できないサイズの用紙がセットされています。用紙ガイドを所定の位置にセットしてください。
451	ヨウシヲ トリノゾ゛イテクダ゛サイ 451 ：トレイ 2 キテイカ゛イ サイズ゛	トレイで使用できないサイズの用紙がセットされています。用紙ガイドを所定の位置にセットしてください。
452	ヨウシヲ トリノゾ゛イテクダ゛サイ 452 ：トレイ 3 キテイカ゛イ サイズ゛	トレイで使用できないサイズの用紙がセットされています。用紙ガイドを所定の位置にセットしてください。
460	mmm ／ppp ヲ イレテクダ゛サイ 460 ：MP トレイ サイズ゛ カ゛ チカ゛イマス	用紙のサイズが違っています。表示されているサイズの用紙を入れてください。
460	mmm ／ppp ヲ イレテクダ゛サイ 460 ：MP トレイ ヨウシカ゛ チカ゛イマス	用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙を入れてください。
461	mmm ／ppp ヲ イレテクダ゛サイ 461 ：トレイ 1 サイズ゛ カ゛ チカ゛イマス	用紙のサイズが違っています。表示されているサイズの用紙を入れてください。
461	mmm ／ppp ヲ イレテクダ゛サイ 461 ：トレイ 1 ヨウシカ゛ チカ゛イマス	用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙を入れてください。
462	mmm ／ppp ヲ イレテクダ゛サイ 462 ：トレイ 2 サイズ゛ カ゛ チカ゛イマス	用紙のサイズが違っています。表示されているサイズの用紙を入れてください。
462	mmm ／ppp ヲ イレテクダ゛サイ 462 ：トレイ 2 ヨウシカ゛ チカ゛イマス	用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙を入れてください。
463	mmm ／ppp ヲ イレテクダ゛サイ 463 ：トレイ 3 サイズ゛ カ゛ チカ゛イマス	用紙のサイズが違っています。表示されているサイズの用紙を入れてください。
463	mmm ／ppp ヲ イレテクダ゛サイ 463 ：トレイ 3 ヨウシカ゛ チカ゛イマス	用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙を入れてください。
480	ヨウシヲ トリノゾ゛イテクダ゛サイ 480 ：スタッカー フル	フェイスダウンスタッカ（トップカバーの上）が用紙でいっぱいです。用紙を取り除いてください。
490	mmm ヲ イレテクダ゛サイ 490 ：MP トレイ ヨウシカ゛ アリマセン	トレイに用紙がありません。表示されているサイズの用紙を入れてください。
491	mmm ヲ イレテクダ゛サイ 491 ：トレイ 1 ヨウシカ゛ アリマセン	トレイに用紙がありません。表示されているサイズの用紙を入れてください。
492	mmm ヲ イレテクダ゛サイ 492 ：トレイ 2 ヨウシカ゛ アリマセン	トレイに用紙がありません。表示されているサイズの用紙を入れてください。
493	mmm ヲ イレテクダ゛サイ 493 ：トレイ 3 ヨウシカ゛ アリマセン	トレイに用紙がありません。表示されているサイズの用紙を入れてください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ nnn	パネル表示	内　容
	ﾌﾟﾘﾝﾀｦ ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ ｎｎｎ ：エラー ｻｰﾋﾞｽ ｺｰﾙ ｎｎｎ ：エラー	プリンタに異常が発生してます。プリンタの電源をOFF/ONしてください。復旧しない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。 ｎｎｎ が下記の場合は、次の処置も行ってください。 030　スロット１のメモリチェックエラーです。 031　スロット２のメモリチェックエラーです。 032　スロット３のメモリチェックエラーです。 030～032 の場合、メモリを取り付け直してください。増設メモリは純正品を使用してください。
		035　スロット１のメモリが規定と異なります。 036　スロット２のメモリが規定と異なります。 037　スロット３のメモリが規定と異なります。 035 ～037 の場合、増設メモリは純正品を使用してください。
		065　イーサネットボードの規格が異なっています。正しいものを取り付けてください。
		111　別機種用の両面印刷ユニットが検出されました。電源を OFF にしてユニットを取り外し、正しいものを取り付けてください。
		112　別機種用のトレイユニット２、３が検出されました。電源を OFF にしてユニットを取り外し、正しいものを取り付けてください。
		123　湿度センサエラーです。電源を入れ直してください。
		130　電源を OFF にし、しばらく放置してください。（セットアップ編を参照）
		140　イエローのイメージドラムカートリッジを取り付け直してください。
		141　マゼンタのイメージドラムカートリッジを取り付け直してください。
		142　シアンのイメージドラムカートリッジを取り付け直してください。
		171　定着器が正しくセットされていない可能性があります。定着器を取り付け直してください。（17 ページ参照）
		173　定着器が正しくセットされていない可能性があります。定着器を取り付け直してください。（17 ページ参照）
		175　定着器が正しくセットされていない可能性があります。定着器を取り付け直してください。（17 ページ参照）
		177　定着器が正しくセットされていない可能性があります。定着器を取り付け直してください。（17 ページ参照）
		181　オプションの両面印刷ユニットを取り付け直してください。 182～183 オプションのセカンド/サードトレイユニットを取り付け直してください。
		300　イーサネットボードの初期化エラーです。イーサネットボードを初期化してください。初期化の方法はユーザーズマニュアル（ネッワーク編）を参照してください。

故障かな？と思ったとき

電源をONにしても「オンライン」にならない。		
電源コードが抜けています。	☞	電源をOFFにしてから、電源コードをしっかり差し込んでください。
停電しています。	☞	コンセントに電気がきているか、停電していないか確認してください。

印刷処理を開始しない。		
エラーが表示されています。	☞	プリンタの操作パネルにエラーが表示されている場合は「操作パネルのメッセージ」をご覧ください。（134ページ）
プリンタケーブルが外れています。	☞	プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞	予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
プリンタケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞	IEEEstd1284-1994準拠のパラレルケーブルまたはUSB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
プリンタの印刷機能に問題がある可能性があります。	☞	プリンタのメニューマップ印刷ができるか確認してください。（129ページ）
インタフェースが無効になっています。	☞	プリンタのメニュー設定で、使用しているインタフェースを［ユウコウ］にしてください。（130ページ）
プリンタドライバが選択されていません。	☞	プリンタドライバを選択してください。Windowsの場合は［通常使うプリンタ］にしてください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞	プリンタケーブルを接続した出力ポートを選択してください。

印刷処理が中断する。		
プリンタケーブルが断線しています。	☞	プリンタケーブルを取り替えてください。
コンピュータのタイムアウトにかかっています。	☞	タイムアウトを長く設定してください。

異常音がする。		
プリンタが傾いています。	☞	安定した水平な場所に設置してください。
プリンタ内部に用紙くずや異物があります。	☞	プリンタ内部を点検し、取り除いてください。
トップカバーが開いています。	☞	トップカバーの左右を押して閉じてください。

すぐに印刷を開始しない。印刷を開始するのに時間がかかる。		
省電力モードから復帰するためにウォーミングアップを行っています。	☞	プリンタのメニュー設定で、［パワーセーブ］を［ムコウ］にすると、ウォーミングアップ時間を短くできる場合があります。（100ページ）
イメージドラムカートリッジのクリーニング動作を行っていることがあります。	☞	印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。
定着器の温度を調整しています。	☞	しばらくお待ちください。
他のインタフェースからのデータを処理しています。	☞	印刷処理が中断するまでお待ちください。

用紙送りがおかしい

紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。斜めに引き込まれる。		
プリンタが傾いています。	☞	安定した水平な場所に設置してください。
用紙が薄すぎるか厚すぎます。	☞	プリンタに適した用紙を使用してください。 （150ページ）
用紙が湿気が含んでいたり、静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。 （155ページ）
用紙に折り目やシワや反りがあります。	☞	プリンタに適した用紙を使用してください。 反りがある場合は修正してください。 （150ページ）
裏面が印刷された用紙を使用しています。	☞	一度印刷した用紙は用紙カセットからは印刷できません。マルチパーパストレイから印刷してください。 （セットアップ編 61ページ）
用紙がそろっていません。	☞	用紙の上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙を1枚だけセットしています。	☞	用紙は複数枚でセットしてください。
用紙カセット、マルチパーパストレイに用紙が入ったまま追加しています。	☞	先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙がまっすぐにセットされていません。	☞	用紙カセットの用紙ストッパと用紙ガイドを用紙に合わせてください。マルチパーパストレイの手差しガイドを用紙に合わせてください。
はがきや封筒のセット方向が間違っています。	☞	正しくセットしてください。 （36、39ページ）
封筒、ラベル紙を用紙カセットにセットできません。	☞	封筒、ラベル紙は用紙カセットから印刷できません。マルチパーパストレイにセットし、フェイスアップスタッカへ排出してください。 （セットアップ編 56ページ）
給紙ローラが汚れています。	☞	水でしめらせた柔らかい布等で拭き取ってください。
給紙部品が摩耗しています。	☞	給紙部品を交換してください。 （19ページ）

用紙が送られない。		
プリンタドライバの［給紙方法］の選択が間違っています。	☞	用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。
プリンタドライバの［給紙方法］で［手差し］を選択しています。	☞	マルチパーパストレイに用紙をセットして、④（オンライン）スイッチを押してください。または［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択してください。 （セットアップ編 61ページ）

つまった用紙を取り除いても復旧しない。		
用紙を取り除くだけでは復旧しません。	☞	トップカバーを開閉してください。

用紙がまるまってしまう。シワが出る。		
用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。 （155ページ）
薄い用紙を使用しています。	☞	プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を1つ薄い紙の値にしてください。 （33ページ）

4章

定着器ユニットのローラへ用紙が巻きつく。		
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞	プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。（33ページ）
薄い紙を使用しています。	☞	より厚手の用紙を使用してください。
推奨紙以外のOHPシートを使用しています。	☞	推奨紙を使用してください。推奨紙以外を使用すると種類によっては定着器ユニットのローラに巻きつく可能性があります。（150ページ）
用紙先端部にベタに近い塗りつぶしがあります。	☞	用紙先端部に余白を入れてみてください。両面印刷の場合、後端部にも余白を入れてみてください。

Windows から印刷できない

アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

パラレル接続でセットアップできない。	
WindowsNT4.0でプラグアンドプレイでセットアップできません。	☞ プラグアンドプレイでセットアップできるのはWindowsMe/98/ 95/2000/XPです。WindowsNT4.0はプリンタの追加からセットアップしてください。 （セットアップ編 37ページ）
コンピュータが双方向パラレルインタフェースをサポートしていません。	☞ 双方向パラレルインタフェースをサポートしているコンピュータを使用してください。
パラレルケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞ IEEEstd1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルを使用してください。
インタフェースが無効になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で［セントロ］を［ユウコウ］にしてください。 （130ページ）
セットアップ手順が間違っています。	☞ セットアップ編の2章をご覧ください。
パラレルケーブルが外れています。	☞ パラレルケーブルを差し込んでください。
パラレルケーブルに問題があります。	☞ 予備のパラレルケーブルがあれば取り替えてみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブルなどを使用しています。	☞ プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に［検索場所の指定］、［場所の指定］が表示されます。	☞ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。（例：「D:¥WIN9598¥PCL¥JPN」） （セットアップ編 43、44ページ）
セットアップを中断しました。	☞ もう一度初めからセットアップしてください。 （セットアップ編 25ページ）

4章

USB接続でセットアップできない。		
Windows95/NT4.0でセットアップできません。	☞	USB接続できるのWindowsMe/98/2000/ XPです。Windows95/NT4.0はパラレルで接続してください。（セットアップ編 45ページ）
Windows95/3.1からアップグレードしたWindowsMe/98を使用しています。	☞	動作保証できません。WindowsMe/98をクリーンインストールしたコンピュータを使用してください。
コンピュータがUSBインタフェースに対応していません。	☞	デバイスマネージャでUSBコントローラが表示されるか確認してください。
USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞	USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
インタフェースが無効になっています。	☞	プリンタのメニュー設定で［USB］を［ユウコウ］にしてください。（130ページ）
セットアップ手順が間違っています。	☞	セットアップ編の2章をご覧ください。
USBケーブルが外れています。	☞	USBケーブルを差し込んでください。
USBケーブルに問題があります。	☞	予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	☞	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に ［検索場所の指定］、［場所の指定］が表示されます。	☞	「プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。（例：「D:¥WIN9598¥PCL¥JPN」）（セットアップ編 43、44ページ）
セットアップを中断しました。	☞	もう一度初めからセットアップしてください。（セットアップ編 25ページ）
WindowsXP/Me/98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」や「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されません。	☞	セットアップ編の2章をご覧ください。

印刷できない。		
プリンタの電源がOFFになっています。	☞	プリンタの電源をONにしてください。（セットアップ編 21ページ）
インタフェースが無効になっています。	☞	プリンタのメニュー設定で［セントロ］または［USB］を［ユウコウ］にしてください。（130ページ）
プリンタケーブルが外れています。	☞	プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞	予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブル、USBハブを使用しています。	☞	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞	プリンタケーブルを接続した出力ポートを指定してください。
他のインタフェースからの印刷を処理しています。	☞	処理が完了するまでお待ちください。
プリンタドライバが［通常使うプリンタ］になっていません。	☞	［通常使うプリンタ］にしてください。
双方向パラレルまたはUSBで動作する他のプリンタドライバがインストールされています。	☞	他のプリンタドライバを削除してみてください。
印刷が自動的にキャンセルされます。	☞	プリントジョブアカウンティングを使用している場合、プリントジョブアカウンティングの印刷制限または、プリンタのログバッファがいっぱいになってる可能性があります。詳しくは、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

メモリ不足になる。		
複数のアプリケーションを同時に起動してます。	☞	使用していないアプリケーションを終了してください。

印刷が遅い。		
印刷処理をコンピュータ側でも行っています。	☞	処理速度の速いコンピュータを使用してください。
［印刷オプション］の［きれい］を選択しています。	☞	プリンタドライバの［印刷オプション］で［ふつう］または［はやい］を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞	印刷データを簡単にしてください。
パラレルインタフェースで接続しています。	☞	コンピュータのパラレルポートのBIOS設定を「ECP」モードに変更してみてください。

ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。		
セットアップ、印刷方法などに問題があります。	☞	ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）の「困ったときには」をご覧ください。

印刷が不鮮明なとき

縦方向に白いスジが入る。

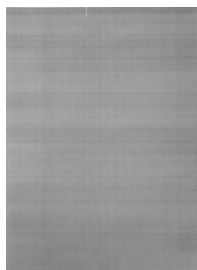
見本	原因	対処
	LEDヘッドが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。（20ページ）
	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。（セットアップ編 82ページ）
	異物がつまっています。	☞ イメージドラムカートリッジを交換してください。（セットアップ編 86ページ）

縦方向にかすれる。

見本	原因	対処
	LEDヘッドが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。（20ページ）
	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。（セットアップ編 82ページ）
	用紙がプリンタに適していません。	☞ 推奨紙を使用してください。（150ページ）

印刷が薄い。

見本	原因	対処
	トナーカートリッジが正しくセットされていません。	☞ トナーカートリッジを取り付け直してください。（セットアップ編 82ページ）
	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。（セットアップ編 82ページ）
	用紙が湿気を含んでいます。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。（155ページ）
	用紙がプリンタに適していません。	☞ 推奨紙を使用してください。（150ページ）
	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。（33ページ）
	再生紙を使用しています。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。（33ページ）

部分的にかすれる。ベタを印刷すると白い点や線が現れる。

	用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。（155ページ）
	［セッティング］の設定が不適切です。	☞	プリンタのメニュー設定で［フツウシ　ブラック　セッティング］または［フツウシ　カラー　セッティング］の値を変更してみてください。 OHPシートに印刷している場合は、［OHP　ブラック　セッティング］または［OHP　カラー　セッティング］の値を変更してみてください。（130ページ）

縦方向にスジが入る。

	イメージドラムカートリッジに傷がついています。	☞	イメージドラムカートリッジを交換してください。（セットアップ編 86ページ）
	トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。（セットアップ編 82ページ）

横方向にスジや点が周期的に入る。

	約94mm周期の場合は、イメージドラム（緑の筒の部分）に傷または汚れがついています。	☞	柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、イメージドラムカートリッジを交換してください。（セットアップ編 86ページ）
	約44mm周期の場合は、イメージドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。	☞	トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。
	約113mm周期の場合は、定着器ユニットに傷がついています。	☞	定着器ユニットを交換してください。（15ページ）
	イメージドラムカートリッジが光にさらされました。	☞	イメージドラムカートリッジをプリンタの内部に戻し、数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラムカートリッジを交換してください。（セットアップ編 86ページ）

白地の部分が薄く汚れる。

	用紙が静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。（155ページ）
	厚い用紙を使用しています。	☞	より薄手の用紙を使用してください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。（セットアップ編 82ページ）

文字の周辺がにじむ。		
	LEDヘッドが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまた柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。（20ページ）

はがき、封筒または光沢紙（コート紙）を印刷すると全体的に薄く汚れる。擦ると文字の周辺が汚れる。		
	はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞ プリンタの故障ではありません。
	光沢紙（コート紙）に印刷すると薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞ プリンタの故障ではありません。光沢紙（コート紙）はなるべく使用しないでください。

擦るとトナーがとれる。	
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ ［メディアウェイト］を［ジドウ］に設定するか、プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。（33ページ）
再生紙を使用しています。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。（33ページ）

光沢にムラが出る。	
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ ［メディアウェイト］を［ジドウ］に設定するか、プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］を1つ薄い紙の値にしてください。（33ページ）

思った色合いで印刷されない。	
トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。（セットアップ編 82ページ）
［黒の生成方法］の設定がアプリケーションに合っていません。	☞ プリンタドライバの［黒の生成］で［CMYKトナーで生成］または、［黒トナーのみで生成］を選択してみてください。
カラー調整を変更しています。	☞ プリンタ内蔵のカラーマッチングにしてください。詳しくは「簡単にカラーマッチングしたい（プリンタ内蔵のASICカラーマッチング）」をご覧ください。（78ページ）
カラーバランスがとれていません。	☞ プリンタの操作パネルで濃度補正を実行してください。
色ずれが起こっています。	☞ トップカバーを開閉してください。または、プリンタの操作パネルで色ずれ補正調整をしてください。（90ページ）

5 使用できる用紙について

使用できる用紙

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

用紙の種類、サイズ、厚さについて

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法や排出方法に制限があったり、プリンタのメニュー設定の［メディアウェイト］、［メディアタイプ］で設定する内容が異なります。詳しくは「手動で用紙の厚さを設定したい」（33ページ）と「給紙方法と排出方法を決めます」（セットアップ編）をご覧ください。

種類	サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ
普通紙	A4	210×297	連量55～172kg(64～200g/m^2) 用紙カセットの場合、連量55～151kg(64～176g/m^2) 両面印刷(オプション)の場合、連量70～90kg(81～105g/m^2) 使用できる用紙サイズは、「A4、A5、A6、B5、レター、リーガル(13インチ)、リーガル(13.5インチ)、リーガル(14インチ)、エグゼクティブ」です。
	A5	148×210	
	A6	105×148	
	B5	182×257	
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
	リーガル(13インチ)	215.9×330.2(8.5×13)	
	リーガル(13.5インチ)	215.9×342.9(8.5×13.5)	
	リーガル(14インチ)	215.9×355.6(8.5×14)	
	エグゼクティブ	184.2×266.7(7.25×10.5)	
	カスタム	幅　76.2～215.9 長さ127～1200	連量55～172kg(64～200g/m^2) ただし長尺用紙は連量110kg(128g/m^2)
はがき	はがき	100×148	官製はがき
	往復はがき	148×200	
封筒	封筒1(長形3号)	120×235	85g/m^2の紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	封筒2(長形4号)	90×205	
	封筒3(洋形4号)	105×235	
	封筒4(A4サイズ)	210×297	
	Com-9	98.4×225.4(3.875×8.875)	24lbの紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	Com-10	104.8×241.3(4.125×9.5)	
	DL	110×220(4.33×8.66)	
	C5	162×229(6.38×9.02)	
	Monarch	98.4×190.5(3.875×7.5)	
ラベル紙	A4	210×297	0.13～0.2mm
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
OHPシート	A4	210×297	0.1～0.12mm
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
部分印刷用紙	ー	ー	連量55～172kg(64～200g/m^2)
カラー用紙	ー	ー	連量55～172kg(64～200g/m^2)

普通紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

- 推奨紙：J 紙（富士ゼロックス）、両面印刷の場合は JD 紙（富士ゼロックス）
- 用紙の厚さが連量 55 ～ 172kg（64 ～ 200g/m²）の用紙
- 電子写真プリンタ用紙（トナーを用いるプリンタで使用する用紙です）
- 電子写真コピー用紙（トナーを用いる一般の複写機などで使用する用紙です）
  カラー電子写真プリンタ用紙、カラー電子写真コピー紙を推奨します。
- 電子写真プリンタ再生紙（トナーを用いるプリンタで使用する再生紙です）
  推奨再生紙　銘柄名： REFOREST 100（日本製紙製）
  　　　　　　　　　　やしまR 100（丸住製紙製）
  　　　　　　再生紙では、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンタ再生紙であることを確認の上、使用してください。

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（210 度）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 官製はがき、および折っていない官製往復はがき

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用官製はがき
- 2mm 以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。

封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式 PPC 用紙で作られた封筒
- 長形封筒は坪量 85g/m^2 の紙でフラップ部が折れていない封筒
- 洋形封筒は坪量 85g/m^2 の紙でフラップ部がきちんと折れている封筒
- Com-9、Com-10、Monarch、C5、DL は、24lb の紙でフラップ部がきちんと折れている封筒

以下の封筒は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒

- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり約5mmは印刷品位が低下することがあります。
- フラップ部や折り目がきちんと折れていない封筒は、吸入不良やしわの原因となります。折り目はきちんと折り直してお使いください。
- 封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙：LBP-A6XX（コクヨ製）（総厚：147μm）
- 用紙サイズは A4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンタ用または乾式 PPC 用のラベル紙
- プリンタの熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが 0.13 ～ 0.2mm のラベル紙
- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙

- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- ラベル紙の先端に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

OHPシート

次の条件に合ったOHPシートを使用してください。

- 推奨紙 ： MLOHP01
- 用紙サイズはA4、レターのみ
- 電子写真プリンタ用または乾式PPC用に作られたOHPシート
- プリンタの熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きないOHPシート
- 用紙の厚さが0.10～0.12mmのOHPシート

- OHPシートは透明なプラスチックでできているため、印刷品質が低下することがあります。
- 印刷後はうねりが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 表面に滑りやすいコーティングをしたOHPシートは滑って吸入できないことがあります。
- 推奨紙以外のOHPシートを使用すると、種類によっては定着器ユニットのローラに巻きついたりしてプリンタが故障するおそれがあります。
- OHP装置は透過型を使用してください。反射型では良好な投影が得られないことがあります。

5章

部分印刷用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で210℃、0.2秒間に耐えるもの

印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
書き出し位置精度：±2mm、用紙の斜行：±1mm/100mm、画像伸縮：±1mm/100mm（連量70kgの場合）

カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で210℃に耐えるもの
- 用紙特性が白色紙と同じで、電子写真プリンタ用の用紙

長尺用紙

次の条件に合った長尺用紙を使用してください。

- 推奨紙：しらおい（日本製紙製）　連量 110kg（128g/m²）
- 用紙サイズは 215.9 × 1200mm

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（210 度）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度 20℃、湿度 50%RH の環境

次のような場所はさけてください

- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

注 長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

付　録

仕様

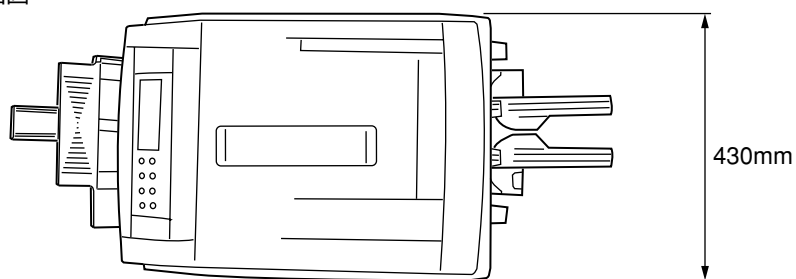
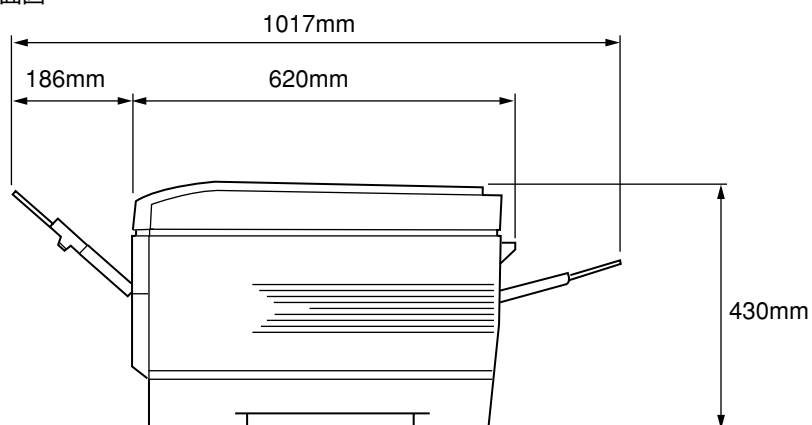
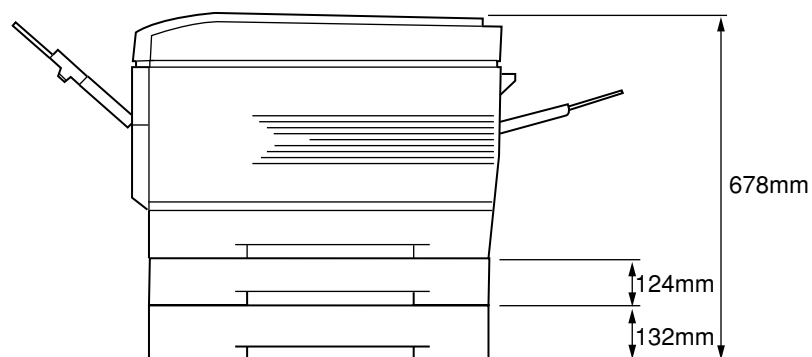
主な仕様

項目	仕様
印刷方式	LED(発光ダイオード)を露光光源とする乾式電子写真記録方式
解像度	600ドット/インチ
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、黒の4色
CPU	PowerPC750プロセッサ(450MHz)
RAM容量*1	64MB(最大1024MB)
HDD容量*2	約10GB(オプション)
印刷言語	PCL5c
対応OS	WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0日本語版　詳しくは動作環境をご覧ください。
内蔵フォント	日本語2書体、欧文80書体
インタフェース	IEEEstd1284-1994準拠パラレル、USB 100BASE-TX/10BASE-T
印刷速度 *3 (マルチパーパストレイを除く)	カラー　：20ページ/分（普通紙、A4コピーモード時）、8ページ/分（OHPシート）、 12ページ/分（官製はがき・ラベル紙）、16ページ/分（両面印刷時：普通紙、A4時） モノクロ：24ページ/分（普通紙、A4コピーモード時）、12ページ/分、（OHPシート）、 12ページ/分（官製はがき・ラベル紙）、18ページ/分（両面印刷時：普通紙、A4時）
用紙サイズ *4	A4、A5、A6、B5、レター、リーガル13インチ、リーガル13.5インチ、リーガル14インチ、エグゼクティブ、カスタム、はがき、往復はがき、封筒（9種）
用紙種類 *4	普通紙（連量55～172kg）、官製はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート
給紙方法 *4	用紙カセットによる自動給紙、マルチパーパストレイによる自動給紙と手差給紙 セカンド/サードトレイユニット（オプション）
給紙容量	用紙カセット　：普通紙530枚／連量70kg　総厚53mm以下（用紙ニアエンド検知機能あり） マルチパーパストレイ　：普通紙100枚／連量70kg　総厚10mm以下　はがき40枚、封筒10枚／坪量85g/m2
排出方法 *4	フェイスアップ（表排出）／フェイスダウン（裏排出）
排出容量	フェイスアップ：約100枚／連量70kg　フェイスダウン：約500枚／連量70kg（スタッカフル検知機能あり）
印刷保証範囲	用紙の端から6.35mm以上（封筒などの特殊な用紙は除く）
印刷精度	書き出し位置精度 ±2mm　用紙の斜行 ±1mm/100mm　画像伸縮 ±1mm/100mm（連量70kgの場合）
ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ時間	電源投入後90秒以内（25℃）
電源	AC100V±10%、50/60Hz±2Hz
消費電力	動作時　：最大1,500W、平均500W(25℃) 待機時　：最大1,200W、平均150W(25℃) 節電モード時　：最大45W
突入電流	80A以下(25℃)
使用環境条件	動作時：10～32℃／20～80%RH（最高湿球温度25℃、最高乾球湿球温度差2℃） 停止時：0～43℃／10～90%RH（最高湿球温度26.8℃、最高乾球湿球温度差2℃）
印刷品質保証条件	温度10℃時　湿度30～73%RH、温度32℃時　湿度30～54%RH、 湿度30%RH時　温度10～32℃、湿度80%RH時　温度10～27℃、 カラー印刷時　温度17～27℃、湿度50～70%RH
標準使用条件	平均電源ON時間　：220H／月　平均印刷枚数　：5,000枚／月
消耗品・ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾕﾆｯﾄ	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ、ベルトユニット、定着器ユニット、給紙部品
装置寿命	5年または60万枚(平均印刷枚数：10,000枚／月)
総重量 *5/本体重量 *6	約47.5kg/約40.3kg

*1：最大メモリにするには、標準メモリを取り外す必要があります。
*2：HDD容量は改良のため変更する場合があります。
*3：用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により、印刷速度は変わります。
*4：用紙のサイズ、種類、厚さにより、給紙方法、排出方法に制限があります。
*5：本体および消耗品を含みます。オプション、用紙重量は含みません。
*6：本体のみ、消耗品を含みません。

付録

外形寸法

平面図

側面図

オプション装着時

パラレルインタフェース仕様

基本仕様

IEEEstd1284-1994準拠パラレルインタフェース

コネクタ

プリンタ側　36極レセプタクル(メス)
57RE-40360-830B-D29型
(第一電子工業製または相当品)

ケーブル側　36極プラグ(オス)
57FE-30360型
(第一電子工業製または相当品)

ケーブル

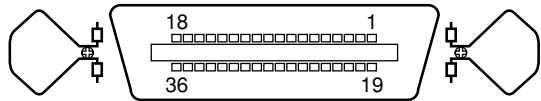
1.8m以下のIEEEstd 1284-1994 適合ケーブル
または相当品
(シールドされているケーブル線を使用してください。)

伝送モード

コンパチブル
ニブル
ECP

インタフェースレベル

ローレベル　＋0.0～＋0.8V
ハイレベル　＋2.4～＋5.0V

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピンNo.	信号名	方　向	機　能
1	nStrobe (HostClk)	TO PRINTER	データを読み込むためのパルスです。後縁でデータを読み込みます。
2 3 4 5 6 7 8 9	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	Bi-direction	8ビットのパラレルデータです。ハイレベルが“1”、ローレベルが“0”です。
10	nAck(PtrClk)	FROM PRINTER	データの受信完了を示す信号です。
11	Busy(PtrBusy)	FROM PRINTER	プリンタがデータを受け取れる状態かどうかを示す信号です。ハイレベルのときはデータを受け取れません。
12	PError(AckDataReq)	FROM PRINTER	ハイレベルのときは、用紙のエラーを示します。
13	Select(Xflag)	FROM PRINTER	パラレルインタフェースが有効な場合、常にハイレベルです。
14	nAutoFd(HostBusy)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。
15	−	−	使用していません。
16	GND	−	信号グランド
17	FG	−	シャーシグランド
18	＋5V	FROM PRINTER	外部へ電源を供給できません。
19～30	GND	−	信号グランド
31	nInit(nInit)	TO PRINTER	ローレベルで、プリンタが初期化されます。
32	nFault(nDataAvail)	FROM PRINTER	プリンタがアラーム状態のときローレベルになります。
33	GND	−	信号グランド
34	−	−	使用していません。
35	HILEVEL	FROM PRINTER	プリンタ内部で3.3KΩで+5Vにプルアップされています。
36	nSelectIn (IEEE1284 active)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。コンパチブルモード時はローレベルでなければなりません。

- カッコ内はニブルモードの信号名です。
- コンパチブルモードの機能のみ説明しています。
- 米国電気電子技術者協会が規定するIEEEstd1284-1994のニブルモードをサポートしています。この規格に適合しないコンピュータやケーブルを使用すると、予期しない動作をすることがあります。

USB インタフェース仕様

基本仕様

USB

コネクタ

プリンタ側　B レセプタクル(メス)
アップストリームポート
UBB-4R-D14T-1
(日本圧着端子製造株式会社製)相当品

ケーブル側　B プラグ(オス)

ケーブル

2m 以下の USB2.0 仕様のケーブル
(シールドされているケーブル線を使用してください。)

伝送モード

フルスピード(最大 12Mbps+0.25%)

電力制御

セルフパワーデバイス

コネクタピン配列

インタフェース信号

	信号名	機　能
1	Vbus	電源（+5V）（赤）
2	D-	データ転送用（白）
3	D+	データ転送用（緑）
4	GND	信号グランド（黒）
Shell	Shield	

ネットワークインタフェース仕様

基本仕様

ネットワークプロトコル

TCP/IP 仕様　ネットワーク層
ARP、RARP、IP、ICMP
トランスポート層
TCP、UDP
アプリケーション層
LPR、FTP、TELNET、HTTP、IPP、BOOTP、SMTP、WINS、DHCP、SNMP、

NetBEUI仕様　SMB、NetBIOS

NetWare 仕様　リモートプリンタモード
（最大８プリントサーバ）
プリントサーバモード
（最大８ファイルサーバ・32 キュー）
暗号化パスワードに対応
（プリントサーバモード時）
NetWare6J/5J/4.1J
（NDS、バインダリ）
SNMP

コネクタ

100 BASE-TX / 10 BASE-T（自動切り替え、同時使用不可）

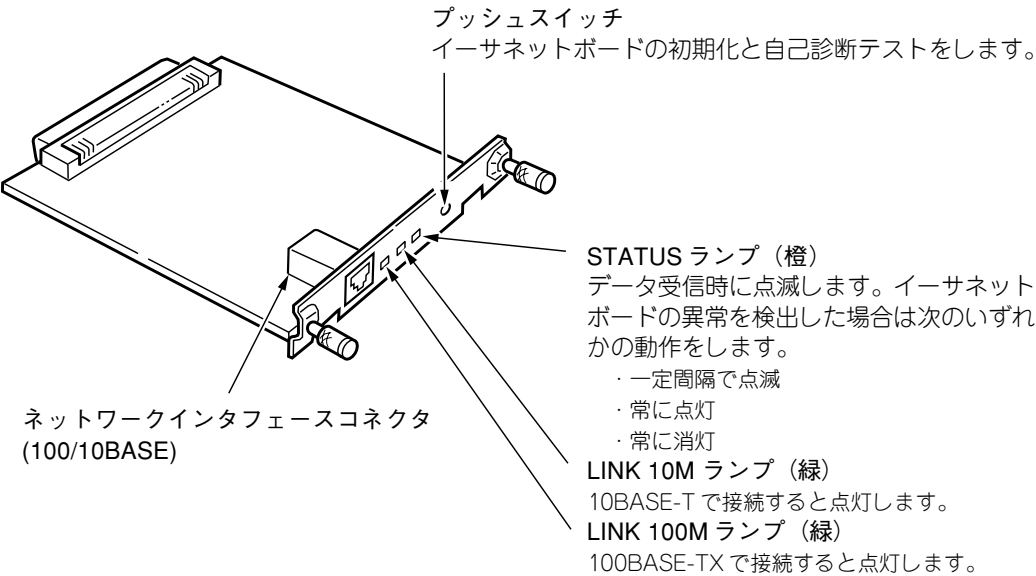
ケーブル

RJ-45 コネクタ付き非シールドツイストペアケーブル

コネクタピン配列

インタフェース信号

ﾋﾟﾝNo.	信号名	方　向	機　　能
1	TXD+	FROM PRINTER	送信データ+
2	TXD-	FROM PRINTER	送信データ-
3	RXD+	TO PRINTER	受信データ+
4	–	–	使用していません。
5	–	–	使用していません。
6	RXD-	TO PRINTER	受信データ-
7	–	–	使用していません。
8	–	–	使用していません。

イーサネットボードの各部説明

フォントサンプル

日本語2書体

平成明朝体TMW3
株式会社　沖データ

平成角ゴシック体TMW5
株式会社　沖データ

欧文84書体

- OCR-A、OCR-B、USPS POSTNET Bar Codes、Line Printer は Windows 環境では使用できません。
- ビットマップフォントと USPS POSTNET Bar Codes は、固定サイズです。

Scalable Font（80書体）

Font No.	
I 000	Courier
I 001	**Courier Bold**
I 002	*Courier Italic*
I 003	***Courier Bold Italic***
I 004	CG Times
I 005	**CG Times Bold**
I 006	*CG Times Italic*
I 007	***CG Times Bold Italic***
I 008	CG Omega
I 009	**CG Omega Bold**
I 010	*CG Omega Italic*
I 011	***CG Omega Bold Italic***
I 012	Coronet
I 013	**Clarendon Condensed**
I 014	Univers Medium
I 015	**Univers Bold**
I 016	*Univers Medium Italic*
I 017	***Univers Bold Italic***
I 018	Univers Medium Condensed
I 019	**Univers Bold Condensed**
I 020	*Univers Medium Condensed Italic*
I 021	***Univers Bold Condensed Italic***
I 022	Antique Olive
I 023	**Antique Olive Bold**
I 024	*Antique Olive Italic*
I 025	Garamond Antique
I 026	Garamond Halbfett
I 027	*Garamond Kursiv*

Font No.	
I 028	*Garamond Kursiv Halbfett*
I 029	Marigold
I 030	Albertus Medium
I 031	**Albertus Extra Bold**
I 032	Letter Gothic
I 033	**Letter Gothic Bold**
I 034	*Letter Gothic Italic*
I 035	Arial
I 036	**Arial Bold**
I 037	*Arial Italic*
I 038	***Arial Bold Italic***
I 039	Times New
I 040	**Times New Bold**
I 041	*Times New Italic*
I 042	***Times New Bold Italic***
I 043	ITC Avant Garde Gothic Book
I 044	**ITC Avant Garde Gothic Demi**
I 045	*ITC Avant Garde Gothic Book Oblique*
I 046	***ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique***
I 047	ITC Bookman Light
I 048	**ITC Bookman Demi**
I 049	*ITC Bookman Light Italic*
I 050	***ITC Bookman Demi Italic***
I 051	CourierPS
I 052	**CourierPS Bold**
I 053	*CourierPS Oblique*
I 054	***CourierPS Bold Oblique***
I 055	Helvetica

付録

Font No.

I 056 **Helvetica Bold**

I 057 *Helvetica Oblique*

I 058 ***Helvetica Bold Oblique***

I 059 Helvetica Narrow

I 060 **Helvetica Narrow Bold**

I 061 *Helvetica Narrow Oblique*

I 062 ***Helvetica Narrow Bold Oblique***

I 063 New Century Schoolbook Roman

I 064 **New Century Schoolbook Bold**

I 065 *New Century Schoolbook Italic*

I 066 ***New Century Schoolbook Bold Italic***

I 067 Palatino Roman

I 068 **Palatino Bold**

Font No.

I 069 *Palatino Italic*

I 070 ***Palatino Bold Italic***

I 071 Times Roman

I 072 **Times Bold**

I 073 *Times Italic*

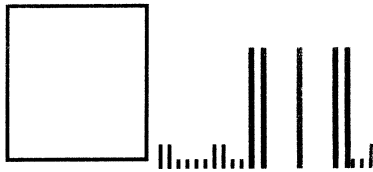
I 074 ***Times Bold Italic***

I 075 *ITC Zapf Chancery Medium Italic*

I 076 Symbol

I 077 SymbolPS

I 078 Wingdings

I 079 ITC Zapf Dingbats

ビットマップ フォント（3書体）

Font No.

I 080 Line Printer
ABCDEfghij12345

I 081 OCR-A
ABCDEfghij12345

I 082 OCR-B
ABCDEfghij12345

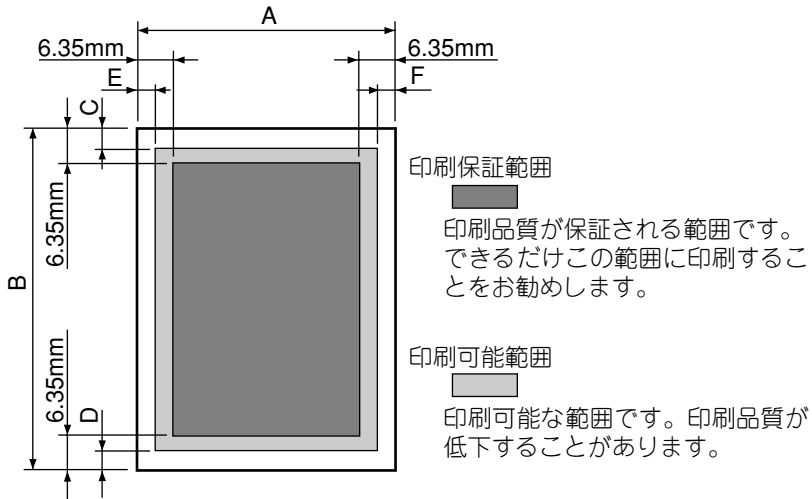
USPS POSTNET Bar Codes

Font No.

I 083 USPS POSTNET Bar Codes

印刷範囲と印刷精度

プリンタドライバの印刷範囲は次のとおりです。
実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

- 印刷精度は、書き出し位置 ±2mm、用紙の斜行 ±1mm/100mm、画像伸縮 ±1mm/100mm（連量 70kg の場合）です。
- 両面印刷時の表裏の印刷位置精度は±2.5mm です。

単位：mm

用紙サイズ	幅	長さ	上余白	下余白	左余白	右余白
	A	B	C	D	E	F
A4	210	297	4.23	4.23	4.23	4.23
A5	148	210	4.23	4.23	4.23	4.23
A6	105	148	4.23	4.23	4.23	4.23
B5	182	257	4.23	4.23	4.23	4.23
レター	215.9	279.4	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13インチ）	215.9	330.2	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13.5インチ）	215.9	342.9	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（14インチ）	215.9	355.6	4.23	4.23	4.23	4.23
エグゼクティブ	184.2	266.7	4.23	4.23	4.23	4.23
カスタム	76.2〜215.9	127〜1,200	4.23	4.23	4.23	4.23
はがき	100	148	4.23	4.23	4.23	4.23
往復はがき	148	200	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒1（長形3号）	120	235	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒2（長形4号）	90	205	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒3（洋形4号）	105	235	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒4（A4サイズ）	210	297	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-9	98.4	225.4	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-10	104.8	241.3	4.23	4.23	4.23	4.23
DL	110	220	4.23	4.23	4.23	4.23
C5	162	229	4.23	4.23	4.23	4.23
Monarch	98.4	190.5	4.23	4.23	4.23	4.23

文字コード表

- アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションは独自の文字コード表を使用することがあります。
- 漢字コード表は「プリンタソフトウェアCD-ROM」のML_COLOR¥DOCフォルダにPDFファイルで入っています。

シンボルセット

WIN3.1J
PC-8
PC-8 Dan/Nor
PC-8 TK
PC-775
PC-850
PC-852
PC-855
PC-857 TK
PC-858
PC-866
PC-869
PC-1004
Pi Font
Plska Mazvia
PS Math
PS Text
Roman-8
Roman-9
Roman Ext
Sebro Croat1
Sebro Croat2
Spanish
Ukrainian
VN Int'l
VN Math
VN US
Win 3.0
Win 3.1 Blt
Win 3.1 Cyr
Win 3.1 Grk
Win 3.1 Heb
Win 3.1 L1
Win 3.1 L2
Win 3.1 L5
Wingdings
Dingbats MS
Symbol
OCR-A
OCR-B
HP ZIP
USPSFIM
USPSSTP
USPSZIP
ISO Swedish1
ISO Swedish2
ISO Swedish3
ISO-2 IRV
ISO-4 UK
ISO-6 ASC
ISO-10 S/F
ISO-11 Swe
ISO-14 JASC
ISO-15 Ita
ISO-16 Por
ISO-17 Spa
ISO-21 Ger
ISO-25 Fre
ISO-57 Chi
ISO-60 Nor
ISO-61 Nor
ISO-69 Fre
ISO-84 Por
ISO-85 Spa
Kamenicky
Legal
Math-8
MC Text
MS Publish
PC Ext D/N
PC Ext US
PC Set1
PC Set2 D/N
PC Set2 US
Bulgarian
CWI Hung
DeskTop
German
Greek-437
Greek-437 Cy
Greek-737
Greek-928
Hebrew NC
Hebrew OC
IBM-437
IBM-850
IBM-860
IBM-863
IBM-865
ISO Dutch
ISO L1
ISO L2
ISO L5
ISO L6
ISO L9

PCL平成半角（WIN3.1J）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				ｰ	ﾀ	ﾐ		
1			!	1	A	Q	a	q			｡	ｱ	ﾁ	ﾑ		
2			"	2	B	R	b	r			｢	ｲ	ﾂ	ﾒ		
3			#	3	C	S	c	s			｣	ｳ	ﾃ	ﾓ		
4			$	4	D	T	d	t			､	ｴ	ﾄ	ﾔ		
5			%	5	E	U	e	u			･	ｵ	ﾅ	ﾕ		
6			&	6	F	V	f	v			ｦ	ｶ	ﾆ	ﾖ		
7			'	7	G	W	g	w			ｧ	ｷ	ﾇ	ﾗ		
8			(	8	H	X	h	x			ｨ	ｸ	ﾈ	ﾘ		
9			)	9	I	Y	i	y			ｩ	ｹ	ﾉ	ﾙ		
A			*	:	J	Z	j	z			ｪ	ｺ	ﾊ	ﾚ		
B			+	;	K	[	k	{			ｫ	ｻ	ﾋ	ﾛ		
C			,	<	L	¥	l	|			ｬ	ｼ	ﾌ	ﾜ		
D			-	=	M	]	m	}			ｭ	ｽ	ﾍ	ﾝ		
E			.	>	N	^	n	~			ｮ	ｾ	ﾎ	ﾞ		
F			/	?	O	_	o				ｯ	ｿ	ﾏ	ﾟ		

Symbol

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	≅	Π	‾	π				°	ℵ	∠	◊	
1			!	1	Α	Θ	α	θ			ϒ	±	ℑ	∇	〈	〉
2			∀	2	Β	Ρ	β	ρ			′	″	ℜ	®	®	∫
3			#	3	Χ	Σ	χ	σ			≤	≥	℘	©	©	⌠
4			∃	4	Δ	Τ	δ	τ			⁄	×	⊗	™	™	⎮
5			%	5	Ε	Υ	ε	υ			∞	∝	⊕	∏	∑	⌡
6			&	6	Φ	ς	φ	ϖ			ƒ	∂	∅	√	⎛	⎞
7			∋	7	Γ	Ω	γ	ω			♣	•	∩	⋅	⎜	⎟
8			(	8	Η	Ξ	η	ξ			♦	÷	∪	¬	⎝	⎠
9			)	9	Ι	Ψ	ι	ψ			♥	≠	⊃	∧	⎡	⎤
A			∗	:	ϑ	Ζ	ϕ	ζ			♠	≡	⊇	∨	⎢	⎥
B			+	;	Κ	[	κ	{			↔	≈	⊄	⇔	⎣	⎦
C			,	<	Λ	∴	λ	|			←	…	⊂	⇐	⎧	⎫
D			−	=	Μ	]	μ	}			↑	⏐	⊆	⇑	⎨	⎬
E			.	>	Ν	⊥	ν	∼			→	⎯	∈	⇒	⎩	⎭
F			/	?	Ο	_	ο				↓	↵	∉	⇓	⎪	

Wingdings

索　引

キ

ク

コ

シ

ス

索引

セ

ソ

チ

テ

ト

ナ

ニ

ネ

ノ

ハ

索引

ラ

リ